AVN-R10/AVN-R10W/AVN-D10/AVN-D10W

メモリーナビゲーション内蔵　SD/DVD/Bluetooth/Wi-Fi/地上デジタルTV 7型WVGA AVシステム

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

Future Link®

お買い上げいただき、ありがとうございます

お客さまや他の人々の安全や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを次のように表記します。

⚠ 警 告 … 人が死亡または重傷を負う可能性がある内容

⚠ 注 意 … 人が傷害を負う可能性がある内容

⚠ 重 要 … 機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたい内容

- 製品に添付されている各種説明書は必ずお読みください。
  指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱説明書で使用している画面と実際の画面はデータの作成時期・種類等によって異なることがあります。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

クイックガイド　～このナビでできること～

ナビゲーションの基本操作や、目的地案内などの基本的な操作を記載しています。
まずはじめに、お読みください。

10

さまざまな機能の設定についてはこちら 28

ナビゲーション機能についてはこちら 66

オーディオ機能についてはこちら 89

ナビから電話の操作をするにはこちら(ハンズフリー機能) 118

外部機器についてはこちら 126

つながるサービス/エコ/バックアップ/配信データ/
システムチェックについてはこちら 157

ソフトウェア更新についてはこちら 168

地図データ更新についてはこちら 170

知っておいて頂きたい参考情報を記載しています 172

01 目次

安全上のご注意 **6**
ナビゲーション本体についてのご注意 6
本書の見方 **9**

クイックガイド P.10

まず、はじめに **10**
電源を入れる 10
本体について 10
マイク&スイッチについて 11
画面を消す 11
ナビと連携してドライブをもっと楽しく 11
メディアの出し入れ 12
つながるサービスについて 13
画面を操作する 14
カンタン初期設定 **16**
メニュー画面 **18**
地図画面の見方 **20**
ドライブレコーダー画面 **22**
情報画面 **23**
設定画面 **24**
文字の入力方法について **25**
ナビの基本機能 **26**

設定 P.28

ディスプレイ・画面の設定 **28**
ディスプレイの角度を調整する 28
画質を設定する 28
ライト点灯時の画面を設定する 28
画面のテーマカラーを設定する 28
映像画面に時刻を表示する 29
ピクチャーインピクチャーを表示する 29
オープニング画像を設定する 30
音量を設定する **31**
オーディオの音量を調整する 31
音声案内の音量を調整する 31
スイッチの操作音を調整する 32
ハンズフリーの音量を調整する 32
セキュリティ（ESN）を設定する **33**
ESNとは 33
ESNの設定～ロック解除の流れについて 33
ESNを設定する 34
ロックを解除する 34
ESNの設定を解除する 35
ナビゲーションの設定を変更する **36**
地図デザインを設定する 36
自車位置マークを設定する 36
ナビ詳細設定を変更する 37
地点を設定する **40**
メモリ地点について 40
メモリ地点を登録する 40
迂回メモリ地点について 40
迂回メモリ地点を登録する 41
オーディオの設定を変更する **42**
ラジオアンテナを上げる／下げる 42
SDカードへの録音設定を変更する 42
テレビのホームプリセットを設定する 42
DVD初期設定を変更する 44
音質を調整する 45
Bluetooth®機器を設定する **48**
Bluetooth®機能について 48
Bluetooth®機器を登録する 48
接続するBluetooth®機器を変更する 49
Bluetooth®機器の接続を切る 49
登録したBluetooth®機器の
登録を削除する 49
登録したBluetooth®機器の
情報を確認・変更する 50
Bluetooth®機能の設定を
確認・変更する 51
Wi-Fi®機器を設定する **52**
Wi-Fi®接続について 52
表示されるアイコンについて 53
Wi-Fi®のON/OFFを切り替える 53
Wi-Fi®通信機器に接続する 53
Wi-Fi®接続する
ネットワークを追加する 54
簡単設定からWi-Fi®接続する 54
Wi-Fi®の設定を変更する 55
メンテナンス機能を設定する **56**
メンテナンス機能について 56
メンテナンス項目を設定する 56
メンテナンス時期を更新する 57
メンテナンス設定を消去する 57
販売店を設定する 57
販売店を修正・消去する 57
エコ機能を設定する **58**
エコ機能について 58
燃費を計算する 58
燃費を設定する 58
外部機器を設定する **59**
バックアイカメラを設定する（別売） 59
カメラ機能拡張BOXを設定する（別売） 60
フロントアイカメラを設定する（別売） 60
ETCを設定する（別売） 61

ETC2.0サービスを設定する（別売）……61
ドライブレコーダーの設定をする……62
ステアリングスイッチを設定する……63
設定を初期化する……64

ナビゲーション P.66

地図の表示を切り替える……66
地図の縮尺を切り替える……66
地図の向きを切り替える……66
案内図を切り替える……67
拡大図を非表示にする……67
施設マークを表示する……67
施設表示画面の項目を変更する……68
施設の情報を見る……68
ハイウェイモード画面の見方……69
目的地を探す……70
名称で探す……70
住所で探す……70
履歴で探す……71
電話番号で探す……71
メモリ地点から探す……72
施設／ジャンルで探す……73
追加施設から探す……73
マップコードで探す……74
緯度経度から探す……74
フリーワード検索から探す……74
自宅に帰る……75
提携駐車場を探す……75
目的地周辺の駐車場を探す……76
地図画面から探す……77
インターチェンジを指定する……77
目的地を追加する……78
目的地の順番を並べ替える……78
通過する道路を指定する……78
通過する道路を修正する……79
通過する道路指定を解除する……79
目的地を決めてルートを探索する……80
ルート情報（案内道路情報）の表示……80
到着予想時刻／残距離表示を切り替える……80
全ルートを再表示する……81
目的地案内を止める／再開する……81
目的地を削除する……81
目的地の履歴を削除する……81
ルートを再探索する……82
ルートを自動で再探索する……82
ルートの探索条件を変える……82
区間ごとの探索ルート条件を変える……82
地点を編集する……83
メモリ地点を修正する……83
メモリ地点を消す……83
迂回メモリ地点を修正する……83
迂回メモリ地点を消す……83
VICS機能について……84
VICSについて……84
VICS WIDEについて……84
統計データについて……84
VICS情報の提供内容について……85
VICS文字情報・図形情報を表示する……85
VICS交通情報の表示を設定する……85
VICS割り込み情報を設定する……85
VICS交通情報の表示について……86
緊急情報の表示について……87
気象・災害情報エリアの表示について……87
受信する放送局を変更する……88

オーディオ P.89

はじめに……89
再生できるオーディオの仕様について……89
ラジオを聞く……90
ラジオを聞く……90
交通情報放送を聞く……90
音楽ディスクを聞く……91
音楽ディスクを聞く……91
CDからSDカードへ録音する……93
SDカードへの録音について……93
データベースについて……94
SDカードへ録音する……94
手動で録音する……94
タイトル情報を取得する……95
録音した音楽情報を編集する……96
録音した音楽を削除する……96
マイベストについて……97
マイベストを作成する……97
マイベストを編集する……97
SDカードの容量を確認する……97
DVDを見る……98
操作画面（VIDEOモード）……98
操作画面（VRモード）……100
言語コード一覧……102
USBメモリの音楽を聞く／動画を見る……103
操作画面（音楽）……103
操作画面（動画）……104
SDカードの音楽を聞く／動画を見る……105
操作画面（音楽）……105

操作画面（動画）……106
テレビを見る……107
緊急警報放送（EWS）を受信した場合は……107
こんなメッセージが表示されたときは……107
テレビを見る……108
番組を選ぶ……111
iPodの音楽を聞く……112
iPodについて……112
操作画面……113
AUXを聞く/VTRを見る（外部入力）……114
Bluetooth®オーディオを聞く……116
Bluetooth®機器を接続する……116
操作画面……117

電話を使う(ハンズフリー) P.118

ハンズフリー接続する……118
ハンズフリーについて……118
電話帳データについて……118
携帯電話の電話帳データ転送について……119
手動で接続する……119
電話帳データを転送する……120
電話帳/履歴データの転送方法を設定する……120
PBAPに対応している携帯電話の場合……120
OPPに対応している携帯電話の場合……120
電話帳・履歴データを編集する……121
電話帳データを入力する……121
電話帳データを編集する……121
電話帳データを削除する……121
履歴データから登録する……122
履歴データを削除する……122
お気に入りを登録する……122
お気に入りを削除する……122
電話をかける・切る・受ける……123
電話をかける……123
電話を切る……123
電話を受ける……123
着信中・通話中画面……124
操作画面（着信中）……124
操作画面（通話中）……125

外部機器をつなげる P.126

バックアイカメラを使う……126
バックアイカメラ……126
カメラ機能拡張BOXについて……126
フロントアイカメラを使う……128
フロントアイカメラ……128
ETCを使う……129
ETCについて……129
ETC2.0サービスを使う……130
ETC2.0サービスについて……130
割込情報について……130
ビーコンについて……130
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する……131
ドライブレコーダーを使う……132
ドライブレコーダーについて……132
お使いになる前に……132
映像の録画について……135
ソフトウェアを更新する……137
スマートフォン用ビューアーアプリ（DR Viewer A）を利用する……137
パソコン用ビューアーソフトの操作方法……138
Q&A……150
ステアリングスイッチを使う……154
ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作……154
オーディオ機能の操作……154
ハンズフリー機能の操作……156
地図画面の操作……156

便利な機能 P.157

つながるサービスを利用する……157
ログインする……157
つながるサービス（通信サービス）の有効期限について……157
配信メッセージについて……158
Q&A……160
エコ機能を使う……161
平均燃費、燃費の履歴をグラフで表示する……161
履歴を編集する……161
エコ運転評価を表示する……161
バックアップ機能を使う……162
バックアップ機能について……162
SDカードにバックアップ……162
サーバーにバックアップする……164
配信データをダウンロードする……165
施設情報をダウンロードする……165
ダウンロードした施設情報を削除する……165
自車位置マークをダウンロードする……165

システムチェック画面を確認する 166

ソフトウェア更新 P.168

ナビのソフトウェアを更新する 168
ソフトウェアを更新する 168
ソフトウェアのライセンス情報を確認する 169

地図更新 P.170

地図データを更新する 170
自動地図更新について 170
地図データ年度更新サービスについて 171

ご参考 P.172

対応メディア・データの仕様 172
再生できる圧縮ファイルと対応メディア 172
再生できる圧縮ファイルの仕様について 173
ディスクの仕様 176
USBメモリの仕様 179
SDカードの仕様 180
iPodの仕様 181
Bluetooth®の仕様 181
オープニング画像用データの仕様 182
Wi-Fi®の仕様 182
知っておいていただきたいこと 183
道路管理者等からのお知らせとお願い 183
GPSの測位について 185
本機で使用するデータについて 185
免責事項 185
再生時の注意事項について 186
液晶パネルについて 186
電装品の使用について 186
Bluetooth®機器使用上の注意事項について 186
Bluetooth®とWi-Fi®の同時使用について 187
ディスクの取り扱いについて 187
お手入れについて 188
本機のお手入れについて 188
アンテナのお手入れについて 188
バッテリーの交換について 189
バッテリーの交換時について 189
バッテリーの交換について 189
地図収録データについて 190
地図データについて 190
地図データベースについて 190
市街図収録都市リスト 191
契約約款/商標について 193
VICS情報有料放送サービス契約約款 193
Wi-Fi®連携サービス利用規約 194
Gracenote®データベースについて 195
Gracenote®データベースのご利用について 195
商標・著作権について 196
お問い合わせ先について 197
修理に関するお問い合わせ 197
メールでのお問い合わせ 197
故障とお考えになる前に 197
VICS・ITSスポットのお問い合わせ先について 198
仕様 199
さくいん 201

01 安全上のご注意

ナビゲーション本体についてのご注意

⚠警告

- **本機はDC12V⊖アース車専用です**
  大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。
  火災の原因となります。
- **実際の交通規則に従って走行してください**
  ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- **運転者は走行中に操作をしないでください**
  必ず安全な場所に停車させてから操作してください。
  交通事故の原因となります。
- **本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。**
  交通事故の原因となります。
  禁止された場所に駐・停車することは法律で禁止されています。
- **運転者は走行中に画面を注視しないでください**
  前方不注意となり事故の原因となります。
  運転者が走行中に画面を注視することは法律で禁止されています。
- **運転者は走行中にテレビやビデオを見ないでください**
  前方不注意となり事故の原因となります。
  テレビやビデオは安全のため、走行中は表示されません。
  テレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させて、サイドブレーキをかけてください。
- **運転者は走行中に携帯電話（スマートフォン）や外部入力機器を操作しないでください**
  交通事故の原因となります。
  運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。
- **運転中は、安全運転の妨げにならない音量に設定してください**
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスクやSDカードの差し込み口に異物を入れないでください**
  火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しないでください**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れないでください**
  発煙、発火、感電の原因となります。

⚠ 警 告

- **故障や異常の状態のまま使用しないでください**
  次のような異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、販売店に相談してください。
  ・音が出ない
  ・水がかかった
  ・煙が出る
  ・変な匂いがする
  ・音声が割れる、ゆがむ
  事故、火災、感電の原因となります。
- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください**
  落雷により感電の危険性があります。
- **ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **取り付け場所を変更するときは、安全のためお求めの販売店へ依頼してください**
  取り外し、取り付けには専門技術が必要です。誤った取り扱いをすると、火災や故障の原因となります。
- **接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。**
  SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
  SRSエアバッグ展開場所については、車の説明書をご覧ください。
- **ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で固定してください。**
  運転に支障をきたし、交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

- **本機に強い衝撃を与えないでください**
  故障の原因となります。
- **ディスク差し込み口に手や指を入れないでください**
  けがの原因となることがあります。
- **ディスプレイの角度調整時や収納時に、手や指を挟まないようにご注意ください**
  けがをしたり、故障の原因となります。
- **ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください**
  そのまま放置しておくと、故障の原因となります。
- **ディスプレイを手で閉じないでください**
  ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- **ディスプレイを開けたときに、ディスプレイの上にコップや缶などの物を置かないでください**
  ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- **メディアを出し入れするとき以外はディスプレイを閉じてください**
  熱やホコリにより、故障の原因となることがあります。
- **本機の放熱部に手を触れないでください**
  放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- **エンジンをかけた状態でご使用ください**
  バッテリー上がりの原因となります。
- **本機を車載用以外で使用しないでください**
  感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、音量に注意してください**
  突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります**
  とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- **携帯電話やiPodなどの外部機器や、メディアを車内に放置しないでください**
  直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障するおそれがあります。

⚠ 重 要

- ディスプレイを開けるときは、本機がシフトレバーに当たらないように、切り替えてから操作してください。
- ディスプレイの角度を調整するときは、シフト操作の妨げにならない位置に設定してください。
- 接続コードや外部入力機器に手や足などを引っ掛けたりしないよう注意してください。
  接続コードや外部入力機器の破損につながるおそれがあります。

02 本書の見方

各スイッチの操作を次のように表記します。

「音声出力」…タブスイッチ(画面に表示されるスイッチ)

案内音声設定…タッチスイッチ(画面に表示されるスイッチ)

現在地…パネルスイッチ(パネルに配置されたスイッチ)

操作の前に

準備や条件など、操作する前に
知っておいていただきたいこと

操作手順

操作手順はスイッチを並べて表記します。
(例) 現在地 ⇨「ナビ」⇨ 設定 ⇨…⇨ 案内開始

ワンポイント

機能の仕様やアドバイスなど
知っておいていただきたいこと

06 オーディオの

ラジオアンテナを上げる／下げる

操作の前に

- ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げる場合は、【ラジオアンテナを上げる】に設定してください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡
「車両システム」➡
ラジオアンテナ設定 ➡
ラジオアンテナを上げる、または
ラジオアンテナを下げる

ワンポイント

- ラジオアンテナを下げた状態では、FM VICS情報（→P.84）を受信できません。FM VICS情報を受信する場合、ラジオアンテナを【ラジオアンテナを上げる】に設定してください。

SDカードへの録音設定を変更する

操作手順

MENU ➡ DISC ➡ 三機能 ➡
CD 録音設定 ➡ 録音方法を選択

- すべてを自動で録音：CDを再生すると同時に、すべての曲を録音
- すべてを手動で録音：録音開始の操作をすると、すべての曲を録音
- 選択した曲のみを録音：曲を選択して録音

まず、はじめに

電源を入れる

エンジンスイッチを ACCまたはONにする

⇨

◆ オープニング画面

⇨

初めて本機を起動したときは、カンタン初期設定画面（→P.16）が表示されます。

エンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、本機の電源が切れます。

プログラム読み込み画面⇒オープニング画面の順に表示されます。
プログラム読み込み画面表示中は、本機を操作しないでください。

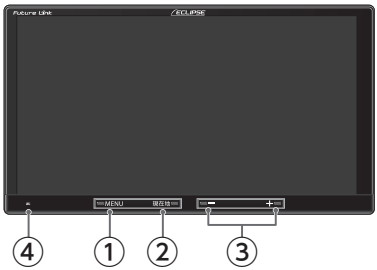
前回、最後に表示していた画面が表示されます。

ワンポイント

- エンジンスイッチがONの状態では、ナビの電源を切ることができません。

本体について

■ AVN-D10/AVN-R10



■ AVN-D10W/AVN-R10W

① **MENU**
- ・メニュー画面を表示
- ・オーディオOFF（消音）**長押し**
- ・ディスプレイを閉じる（→P.12）

② **現在地**
- ・現在地を表示（→P.20）
- ・フロントアイカメラ（別売）の映像を表示 **長押し**
- ・ディスプレイを閉じる（→P.12）

③ **-** **+**
オーディオやハンズフリーの音量を調整

④ **セキュリティインジケータ**
ESN設定時、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると点滅（→P.34）

マイク&スイッチについて

マイク&スイッチのスイッチを押すことで次の操作ができます

・ハンズフリーの電話を受ける、切る（→P.123）
・ドライブレコーダーの録画映像保護（→P.135）※

ワンポイント

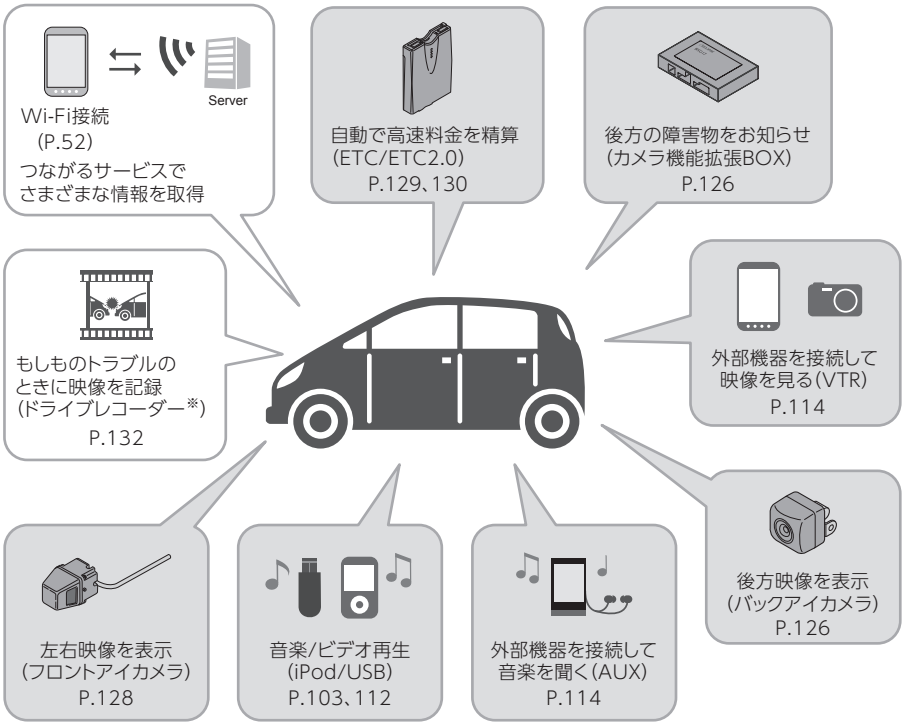
● 10秒以上長押しすると本機を再起動します。

画面を消す

MENU ⇨ 設定 ⇨ 画面OFF

● 現在地 / MENU のいずれかを押すと画面を再表示します。

ナビと連携してドライブをもっと楽しく

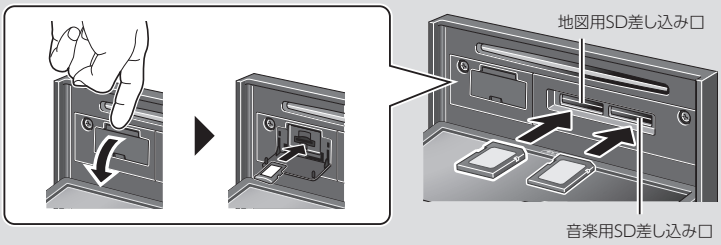


※ AVN-D10/AVN-D10Wのみ

メディアの出し入れ

MENU ⇨ EJECT ⇨ DISC / 地図/AV / ドライブレコーダー※のいずれかを選択 ⇨ メディアを入れる ⇨ MENU 、または 現在地

※ AVN-D10/AVN-D10Wのみ
ドライブレコーダー用SDの出し入れの際は、フタを開けてください。
MENU 、または 現在地 を押す前にフタを"カチッ"と音がするまで閉めてください。



ワンポイント

- 地図用SDを取り出した状態で、車のバッテリーとの接続が断たれた場合、エンジンスイッチをACC、またはONにするとメッセージが表示されます。
  次の手順で地図用SDを入れてください。

  現在地 ⇨ 地図用SDを、地図用SD差し込み口に入れる

⚠ 注 意

- メディアの差し込み途中に、MENU 、または 現在地 を押さないようご注意ください。
  ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。
- 本機からメディアを取り出すときは水平方向に引き出してください。
  ディスクに傷がつき、音とびしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。
- メディアを取り出す際には必ず取り出す対象のスイッチを押してください。
  データが破損するおそれがあります。

⚠重要

- メディアが押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。
  本機およびメディアが破損するおそれがあります。
- 地図用SD差し込み口に同梱の地図用SD以外のSDメモリーカードを挿入しないでください。
- 地図用SDのフォーマット（初期化）は行わないでください。
  本機がご利用いただけなくなります。

つながるサービスについて

本機は、Wi-Fi機器を使用して、当社のつながるサービス Future Link® を利用することができます。

Wi-Fiの接続方法については、**「Wi-Fi® 接続について」** P.52をご覧ください。

自動地図更新※	全国の道路の地図差分データ（更新が必要な部分のみを収録したデータ）を配信し、本機の地図データを更新します。(→P.170)
サーバー情報検索※	サーバーの最新情報を利用した目的地検索ができます。 ・フリーワード検索(→P.74) ・住所(→P.70)／電話番号(→P.71)／ジャンル検索(→P.73) ・周辺施設表示(→P.68)
目的地周辺駐車場検索※	目的地の2km手前で、最新の目的地周辺駐車場の満空情報を表示します。(→P.76)
配信メッセージ	お得なキャンペーン情報など、本機に関する情報をお知らせします。(→P.158)
Gracenote データベース（CDDB）取得	MUSIC JUKEでタイトル情報が付与されなかった音楽データに対し、サーバーから情報をダウンロードして、付与することができます。(→P.95)
施設情報配信	施設情報をサーバーからダウンロードして、本機に追加できます。追加した施設は、目的地に設定したり施設マークを表示できます。(→P.165)
自車位置マーク配信	自車位置マークをサーバーからダウンロードして、本機に追加できます。(→P.165)
データバックアップ	メモリ地点などのドライブ情報をサーバーにバックアップすることができます。 本機を買い替えたとき、データ移行もできます。(→P.164) ご利用前に「MyPage」ユーザー登録、および本機でのログイン操作が必要になります。（→P.157）

※サービスの有効期限があります。期限は2022年10月末日までです。

有効期限については、**「つながるサービス（通信サービス）の有効期限について」** P.157をご覧ください。
サービスは予告なく終了する場合があります。

Future Link®

「人」「クルマ」「社会」のデータをつなぎ合わせて、
新たなモビリティライフを提供する
車載情報機器・サービスのコンセプトです。

画面を操作する

⚠重要

- 画面保護のため、指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端の硬いものや、とがったもので操作しないでください。
  故障の原因となります。
- 本機のタッチパネルは静電容量方式を採用していますので、使用時は下記にご注意ください。
  - ・手袋などを着用して操作したり、市販のフィルム等を貼ると、反応しなくなることがあります。
  - ・タッチパネルや指が濡れた状態では、タッチスイッチが正常に動作しない場合があります。
    動作異常が起きた場合は、濡れた部分を拭き取り、エンジンスイッチをOFF(LOCK)にし、
    再度エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響でタッチ操作
  不能などの異常が発生する場合があります。
  その場合、電気機器を遠ざけるか、使用を控えてください。
  例）インバータ、イオン発生器など

■ 操作条件について

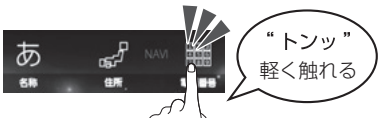
走行中は安全上の配慮から操作できない機能があります。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作を行ってください。

● 操作できないスイッチは色が変わり、選択することができません。

ワンポイント

● 地図画面のスライド・フリック操作のする／しないを設定できます。
「ナビ詳細設定を変更する」（→P.37）

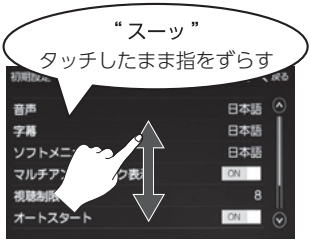
■ タッチ操作



● ○○（タッチスイッチ）で記載した手順は、
タッチ操作で操作してください。

●地図画面でタッチ操作すると、タッチした
場所が画面の中心となるように地図が
動きます。

■ スライド操作



●画面にタッチしたまま指をずらすと、
指の動きにあわせて、画面が動きます。

■ フリック操作

●画面にタッチし指を軽くはじくように払うと、
払った方向に画面が動きます。

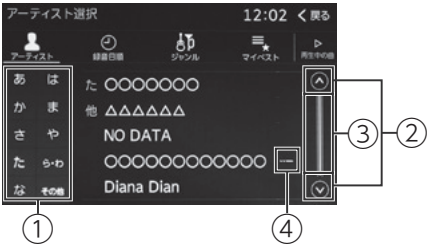
■ ドラッグ操作

●画面にタッチしたままなぞると、
指の動きに合わせて、スイッチが動きます。

■ ピンチ操作

●画面に2本の指をタッチしたまま広げる
（ピンチアウト）と、地図が拡大し、
狭める（ピンチイン）と、地図が縮小します。

■ リスト画面の操作



番号	内容
①	・ あ ～ ら・わ のいずれかにタッチすると、行を切り替え ・ 続けてタッチすると、「あ→い→う」とリストを移動
②	1ページずつリストを移動
③	タッチや、フリック、スライド操作をすると、リストを移動
④	・ リストに表示されている名称の文字数が多い場合、表示範囲を切り替え ・ 再度タッチすると、先頭に戻る

■ タブの切り替え

番号	内容
①	タブが表示されている場合、タブを表示したまま画面を切り替え

カンタン初期設定

まずはじめに、ナビの操作に必要な
初期設定を行います。

カンタン初期設定画面は初めて本機を起動したときに表示されます。

オープニング画面が表示されたあと
カンタン初期設定画面が表示されます。

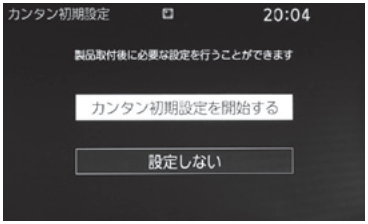
⬇

下記 手順1 へ

(はじめに設定しなくてもナビを使えます。)

● カンタン初期設定で設定しなかった項目は設定画面(→P.24)からも設定することができます。

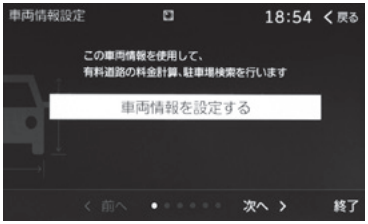
1 開始画面



① カンタン初期設定を開始する にタッチ。

● 設定しない ：次回起動時に「カンタン初期設定」が表示されなくなる。

2 車両情報の設定

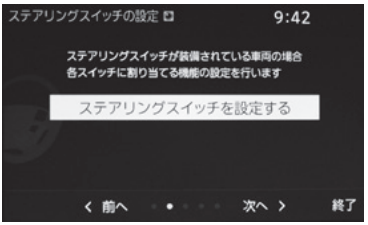


① 車両情報を設定する にタッチ。

● 設定方法は、(→P.39) を参照ください。

② 次へ> にタッチ。

3 ステアリングスイッチの設定



① ステアリングスイッチを設定する にタッチ。

● 設定方法は、(→P.63) を参照ください。

② 次へ> にタッチ。

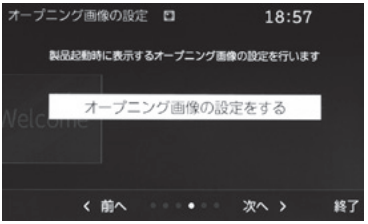
4 販売店の登録

① 販売店を登録する にタッチ。

● 設定方法は、(→P.57) を参照ください。

② 次へ> にタッチ。

5 オープニング画像の設定



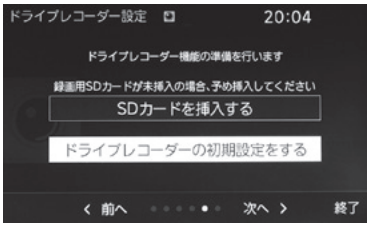
① オープニング画像の設定をする にタッチ。

● 設定方法は、(→P.30) を参照ください。

② 次へ> にタッチ。

- AVN-D10・AVN-D10Wの場合は、手順6へ
- 別売のバックアイカメラが接続されている場合は、手順7へ
- 別売のカメラ機能拡張BOXが接続されている場合は、手順8へ
- 上記以外は、手順9へ

6 ドライブレコーダーの設定



ドライブレコーダー用SDを入れる

① SDカードを挿入する にタッチ。

- すでにドライブレコーダー用SDを入れている場合は、スイッチが表示されません。

② ドライブレコーダー用SDを入れる。

③ ディスプレイを閉じる にタッチ。

ドライブレコーダーの初期設定をする

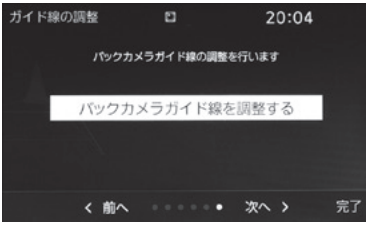
① ドライブレコーダーの初期設定をする にタッチ。

- 設定方法は、(→P.62)を参照ください。

② 次へ> にタッチ。

- 別売のバックアイカメラが接続されている場合は、手順7へ
- 別売のカメラ機能拡張BOXが接続されている場合は、手順8へ
- 上記以外は、手順９へ

7 バックアイカメラの設定

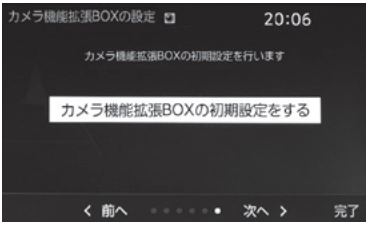


① バックカメラガイド線を調整する にタッチ。

- 設定方法は、(→P.59) を参照ください。

② 完了 にタッチ。（手順9へ）

8 カメラ機能拡張BOXの設定

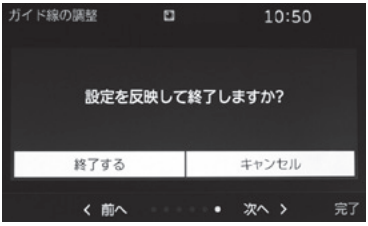


① カメラ機能拡張BOXの初期設定をする にタッチ。

- 設定方法は、別売のカメラ機能拡張BOXの取扱説明書を参照ください。

② 完了 にタッチ。

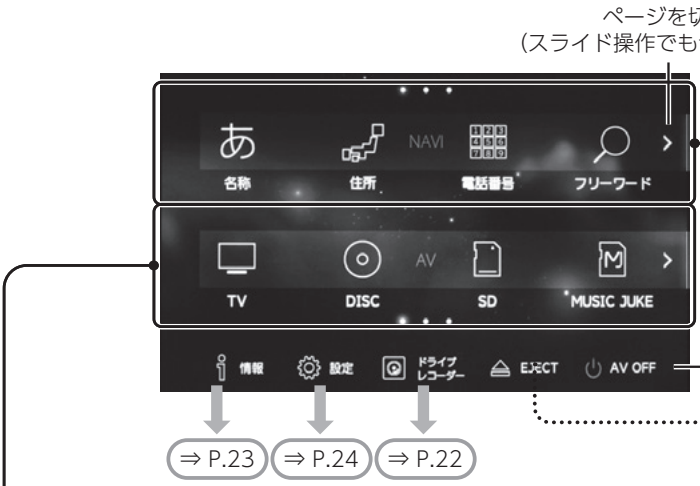
9 完了



① 終了する にタッチ。

メニュー画面

MENU を押す



オーディオメニュー

各オーディオソース画面を表示します。

- TV — テレビを受信 (→P.108)
- DISC — 音楽ディスク/DVDを再生 (→P.91、98、100)
- SD — SDカードに収録した音楽や動画を再生 (→P.105、106)
- MUSIC JUKE — 音楽CDからSDカードに録音した音楽を再生 (→P.105)
- USB / iPod — USBメモリやiPodに収録した音楽や動画 (USBメモリのみ) を再生 (→P.103、104、113)
- AM / FM — ラジオを受信 (→P.90)
- Bluetooth Audio — Bluetooth機器に収録した音楽を再生 (→P.117)
- 外部入力 — VTR機器、ポータブル機器を再生 (→P.115)
- 交通情報 — 交通情報を受信 (→P.90)
- 並び替え — 各オーディオソースの並び替え

ナビゲーションメニュー

さまざまな方法で目的地を検索・設定します。

- 名称：施設名や地名を入力して検索 (→P.70)
- 住所：住所を選択して検索 (→P.70)
- 電話番号：電話番号を入力して検索 (→P.71)
- フリーワード：さまざまな単語から検索 (→P.74)
- 履歴：過去に目的地設定した履歴から検索 (→P.71)
- ジャンル：施設のジャンルから検索 (→P.73)
- メモリ地点：登録したメモリ地点を目的地に設定 (→P.72)
- 追加施設：ダウンロードした施設を目的地に設定 (→P.73)
- マップコード：マップコードを入力して検索 (→P.74)
- 緯度経度：緯度経度を入力して検索 (→P.74)
- 自宅：登録した自宅を目的地に設定 (→P.75)
- 並び替え：各検索方法の並び替え

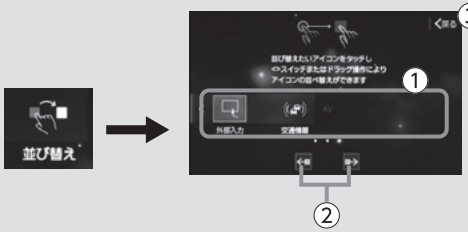
■ ディスプレイの角度を変えたり、メディアを出し入れする

ディスプレイの角度を調整（→P.28）

メディアの出し入れ（→P.12）

● メディアが挿入中の場合は、アイコンが緑色で表示されます。

■ メニュー画面のスイッチを並び替える



① 移動したいスイッチにタッチ

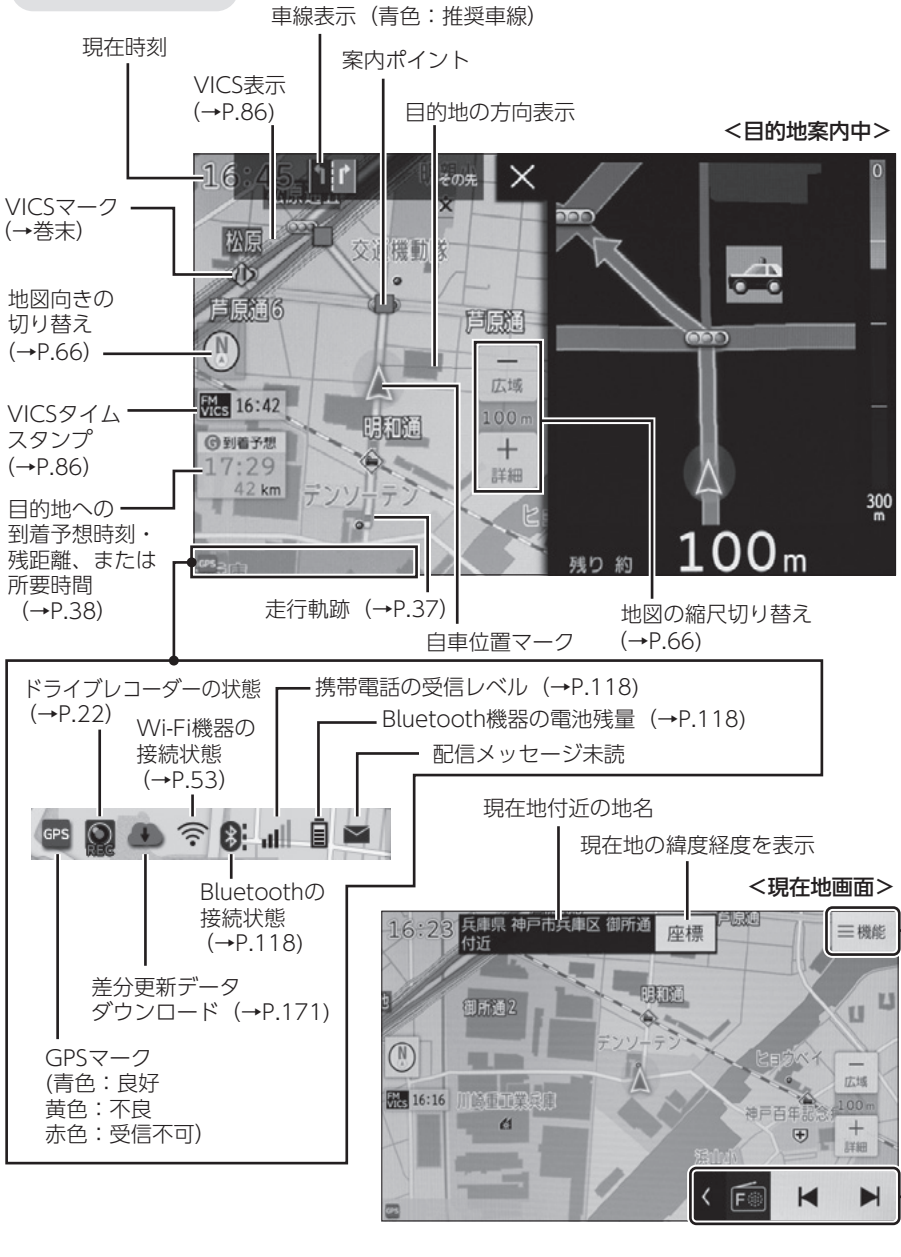
② スイッチを移動

● ドラッグ操作でもスイッチを移動できます。(→P.15)

③ 完了したらタッチ

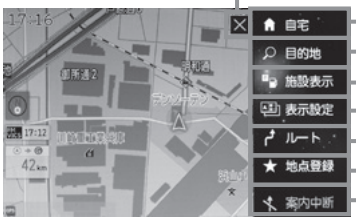
地図画面の見方

現在地 を押す



ナビメニュー　目的地の検索・設定や地図の表示の設定などができます。

ナビメニューを閉じる



- 自宅を目的地に設定（→P.75）
  自宅を登録する（→P.26）
- 目的地を検索（→P.70）
- 地図に施設マークを表示（→P.67）
- 地図の表示設定（→P.67、69、85、161）
  VICS交通情報の表示設定（→P.85）
- 案内ルートを変更（→P.81、82）
- 現在地をお気に入りの地点（メモリ地点）に登録（→P.40）
- ルート案内を中断/再開

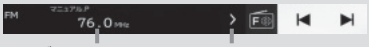
オーディオコントローラー　オーディオの操作ができます。

●映像を伴わないオーディオソースの場合

オーディオ操作画面を表示

- ラジオの周波数、曲（ファイル）を切り替え
- タッチし続けると、曲（ファイル）を早送り/早戻し
- "ピッ"と音がするまでタッチすると、ラジオの放送局を自動で選局

放送局名、曲名などの情報を表示



オーディオ操作画面を表示　情報を非表示

初めて操作したときは、メッセージが表示されます。

- OK：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない
- 次回表示しない：次回からこのメッセージを表示しない

●映像を伴うオーディオソースの場合

オーディオ操作画面を表示

- TVの放送局、DVDのチャプターを切り替え
- タッチし続けると、映像を早送り/早戻し

ピクチャーインピクチャーを表示（→P.29）

初めて操作したときは、メッセージが表示されます。

- OK：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない
- 次回表示しない：次回からこのメッセージを表示しない

●オーディオコントローラーにタッチし、右にフリックすると非表示にできます。

オーディオコントローラーを表示

ドライブレコーダー画面

AVN-D10/AVN-D10Wのみ

車を安全な場所に停止 ⇨ MENU ⇨ **ドライブレコーダー**

⇒メッセージを確認し、次のいずれかにタッチ

- **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない
- **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
- **キャンセル**：メニュー画面に戻る

メニュー画面

ドライブレコーダー画面

ドライブレコーダーの状態を表示（→P.150）

- ：録画中
- ：録画準備中
- ／ ：エラー表示

⇒ P.137 ⇒ P.62 ⇒ P.62

イベント保護映像の再生

画像から選択

地図から選択

チャプター映像の再生

リストから選択

映像再生画面

再生中の映像をスマートフォンに転送（→P.138）

画質調整画面を表示（→P.28）

録画時の走行速度

録画日時

早送り／スロー再生

早戻し

一時停止／再生

アイコンについて

- ：車両前方を撮影
- ：車両後方を撮影
- ：自動保護された録画※
- ：手動保護された録画※

※ リストから選択した場合は、表示されません。

ワンポイント

- 録画映像再生中は、録画できません。
- 録画映像再生中に走行すると、映像再生画面が解除されます。
- 録画映像再生中オーディオ音声はミュート（消音）され、録画映像の音声が再生されます。
- 映像再生画面から他の画面に切り替えた後、再度映像再生画面に切り替わるのに数十秒かかる場合があります。

情報画面

MENU ⇨ 情報 にタッチ

メニュー画面

情報画面

ページを切り替え

電話
ダイヤル画面を表示
(→ P.123)
※マイク＆スイッチ接続時のみ

お知らせ
メッセージ一覧画面を表示
(→ P.159)

通信サービス
通信サービス画面を表示
(→ P.157)

ユーザー登録/ログイン
MyPageユーザー登録/
ログイン画面を表示（→ P.157）

地図データ
地図データ画面を表示
(→ P.171)

ETC2.0/VICS
VICS画面を表示
(→ P.85、88、131)
※別売のETC2.0（DSRC）ユニット接続時

VICS
VICS画面を表示
(→ P.85、88)
※別売のETC2.0（DSRC）ユニットが接続されていない場合

メンテナンス情報
メンテナンス情報画面を表示
(→ P.56)

SYSTEM CHECK
システムチェック画面を表示
(→ P.166)

バックアップ
バックアップ画面を表示
(→ P.164)

ソフトウェア更新
ソフトウェア更新
画面を表示
(→ P.168、169)

エコ
エコナビ情報画面を表示
(→ P.161)

オープンソフトウェア情報
オープンソフトウェア
情報画面を表示
(→ P.169)

ETC
ETCメニュー画面を表示（→ P.129）
※別売のETCユニット/
ETC2.0（DSRC）ユニット接続時

ⓘ 通信サービス利用規約
通信サービスの利用規約画面を表示（→ P.52）
※利用規約未同意時

設定画面

MENU ⇨ 設定 にタッチ

メニュー画面

設定画面

⇒ P.28　⇒ P.11　⇒ P.16

音声出力

案内音声設定	→ P.31
操作音設定	→ P.32
ハンズフリー音量設定	→ P.32

ナビ

ルート編集	→ P.77、79
メモリ地点登録・編集	→ P.40、83
ナビ詳細設定	→ P.37

デザイン

オープニング画像設定	→ P.30
テーマカラー設定	→ P.28
地図デザイン設定	→ P.36
自車位置マーク設定	→ P.36

無線通信

Wi-Fi	→ P.53
Wi-Fiネットワーク一覧	→ P.53
Wi-Fi簡単接続	→ P.54
Wi-Fi詳細設定	→ P.55
Bluetooth機器登録・接続	→ P.48

車両システム

ステアリングスイッチ設定	→ P.63
ラジオアンテナ設定	→ P.42
カメラ設定	→ P.59※1 → P.60※2

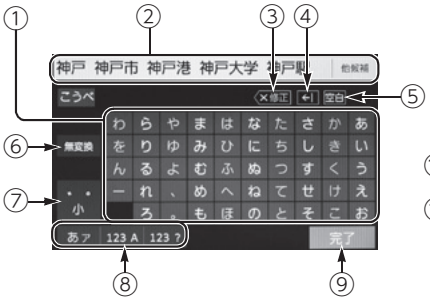
※1 別売のバックアイカメラ接続時のみ
※2 別売のカメラ機能拡張BOXや
フロントアイカメラ接続時のみ

セキュリティ

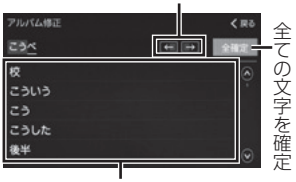
ESN設定	→ P.34
設定初期化	→ P.64

文字の入力方法について

■かな・漢字入力時



■アルファベット・数字入力時

番号	内容
①	文字を入力
②	変換候補から変換する漢字を選択 ・ 変換候補にない漢字に変換する場合は、**他候補**にタッチすると、変換リストを表示 変換する文字の範囲を変更  全ての文字を確定 変換する漢字を選択
③	一文字ずつ消去
④	カーソル位置を移動
⑤	カーソル位置に空白を入力
⑥	かな入力時、ひらがなのままで確定
⑦	濁音、半濁音、促音を切り替え

番号	内容
⑧	入力モードを「ひらがな」に切り替え
	入力モードを「カタカナ」に切り替え
	入力モードを「アルファベット」「数字」に切り替え
	入力モードを「数字」「記号」に切り替え
⑨	入力を完了
⑩	全角と半角を切り替え
⑪	大文字と小文字を切り替え

ナビの基本機能

自宅を登録

自宅の場所を登録しておくと、お出かけ先から自宅に帰るルートがカンタンに設定できます。

① MENU を押す。
② 設定 にタッチ。
③ 「ナビ」にタッチ。
④ メモリ地点登録・編集 にタッチ。
⑤ 自宅の 登録 にタッチ。
⑥ 登録方法を選択。
⑦ セット にタッチ。

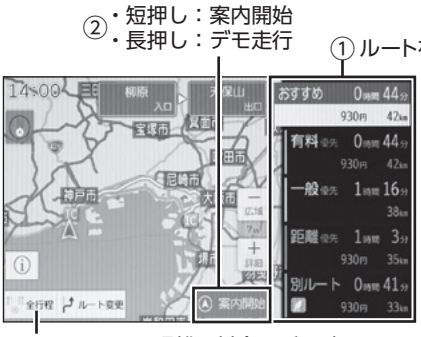
目的地を検索 (⇒P.70)

ここでは、名称で検索する例をご紹介します。

① MENU を押す。
② 名称 にタッチ。
③ 施設名称や地名を入力。
④ 検索 にタッチ。

⑤ 目的地を選択　⑥ 目的地を決定

ルートを確認・選択 5つのルートを比較して選ぶことができます。



5つのルートの距離・料金・所要時間・エコ度を表示

おすすめ	時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルート
有料優先	有料道路を優先的に利用するルート
一般優先	なるべく有料道路を利用しないルート
距離優先	距離の短いルート
別ルート	おすすめで探索されたルートと違う道を利用するルート

ルート案内

ルート案内中は下記のような画面でドライブをサポートします。

拡大図

交差点や高速の入り口などが近づくと自動で拡大表示

ターンリスト

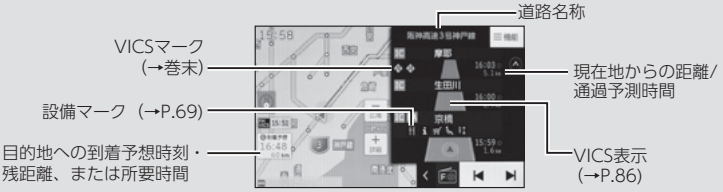
3つ先までの分岐ポイントを表示

レーンリスト

推奨レーンがある場合、700m手前から推奨レーンを表示

ハイウェイモード

高速道路走行時に渋滞情報や、サービスエリア・パーキングエリアの情報を表示



案内を中断・再開することができます。

① 現在地 にタッチ。
② ☰機能 にタッチ。
③ 案内中断 にタッチ。案内を中断中に 案内再開 にタッチすると案内を再開します。

メモリ地点を登録 (⇒P.40)

お気に入りの場所を登録しておくと、次回から目的地がカンタンに設定できます。

① MENU を押す。
② 設定 にタッチ。
③ ナビ にタッチ。
④ メモリ地点登録・編集 にタッチ。
⑤ メモリ地点の 登録 にタッチ。
⑥ 登録方法を選択。
⑦ セット にタッチ。
⑧ 完了 にタッチ。

01 ディスプレイ・画面の設定

ディスプレイの角度を調整する

操作手順

MENU ➡ EJECT ➡ お好みの角度に調整

画質を設定する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 画質調整 ➡ 各項目を設定

- 映像画面のときは、各オーディオソースの操作画面 ➡ 三機能 ➡ 各種切替 ➡ 画質調整 の順にタッチすると、画質調整画面を表示します。
- ドライブレコーダー画面のときは、MENU ➡ ドライブレコーダー ➡ 映像再生 ➡ 画質調整 の順にタッチすると、画質調整画面を表示します。

- 次の項目を設定できます。
  - **色合い（映像画面時のみ）**
  - **色の濃さ（映像画面時のみ）**
  - **コントラスト**
  - **明るさ**

ワンポイント

- 昼画・夜画に分けて調整できます。

ライト点灯時の画面を設定する

ライトの点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉が切り替わります。

操作の前に

- ライトの点灯・消灯に合わせて切り替わらない場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 画質調整 ➡ 昼 / 夜画面

- ライト点灯時に 昼 / 夜画面 にタッチすると、常時昼画を表示。
- ライト消灯時に 昼 / 夜画面 にタッチすると、常時夜画を表示。

画面のテーマカラーを設定する

メニュー画面のデザインを変更できます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ デザイン ➡ テーマカラー設定 ➡ お好みの設定を選択

映像画面に時刻を表示する

操作手順

各オーディオ操作画面の 機能 ➡ 各種切替 ➡ 映像画面の時刻表示のON/OFFを選択

ピクチャーインピクチャーを表示する

地図画面にDVDやテレビなどの映像を小画面で表示することができます。

操作手順

現在地 ➡ ∧

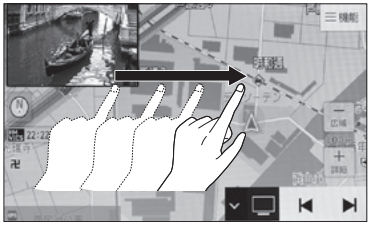
ワンポイント

- 次のような場合は、ピクチャーインピクチャーを表示できません。
  - 交差点拡大図表示中
  - 高速分岐案内表示中
  - 高速入口案内表示中
  - レーンリスト表示中
  - ターンリスト表示中
  - VICS割込情報表示中
- 全画面表示中に 現在地 を押すと、ピクチャーインピクチャーの表示に戻ります。
- 次のような場合は、ピクチャーインピクチャーの映像の移動や表示サイズの変更はできません。画面左上に固定表示されます。
  - 地図2画面表示中
  - 地図+高速略図表示中
  - 地図+エコ画面表示中

ピクチャーインピクチャーの表示を左右に移動する

操作手順

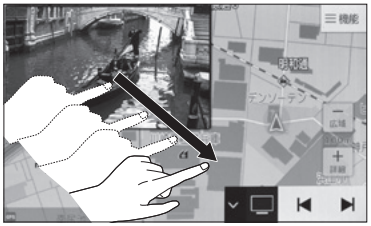
ピクチャーインピクチャーにタッチしたまま指を真横（左右）にスライドする。



ピクチャーインピクチャーの表示サイズを変更する

操作手順

ピクチャーインピクチャーにタッチしたまま、指を斜めにスライドする。



ワンポイント

- ピンチ操作では、変更できません。
- 指を動かす方向によっては、左右に移動することもあります。

オープニング画像を設定する

本機に内蔵されている画像データやSDカードに保存した画像データをオープニング画像として表示できます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ デザイン ➡ オープニング画像設定 ➡ 設定したい画像を選択

- SDカードに保存した画像に変更した場合は、**「お好みの画像データに変更する」**（→P.30）をご覧ください。

お好みの画像データに変更する

⚠ 重 要

画像データの書き込み中は、本機の操作およびエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。
データが破損するおそれがあります。

操作の前に

- 使用できる画像データについては**「オープニング画像用 データの仕様」**（→P.182）をご覧ください。
- 使用できるSDカードについては**「SDカードの仕様」**（→P.180）をご覧ください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ デザイン ➡ オープニング画像設定 ➡ SDカードを挿入する

▼

SDカードを音楽用SD差し込み口に入れる ➡ ディスプレイを閉じる

▼

選択 ➡ 設定したい画像のファイル名 ➡ 登録

ワンポイント

- 次のようなアイコンが表示されることがあります。
  - ：ファイル読み込み中の場合
  - ：プレビューが表示されないファイルの場合

02 音量を設定する

オーディオの音量を調整する

操作手順

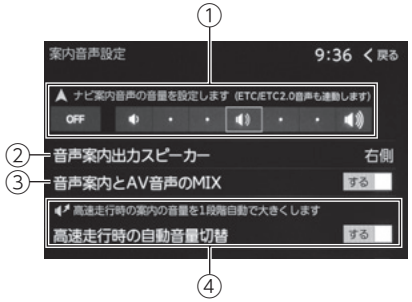
＋ 、または － を押す

● オーディオOFF（消音）については、**「本体について」**（→P.10）をご覧ください。

音声案内の音量を調整する

操作手順

MENU ➡ **設定** ➡ 音声出力 ➡ **案内音声設定** ➡ 各項目を設定



● 次の項目を設定できます。

番号	機能
①	ナビの音声案内の音量を調整
②	音声案内が聞こえるスピーカを選択
③	音声案内時のオーディオの出力を設定 ・ **する**：音声案内時も同時に出力 ・ **しない**：音声案内時は消音
④	車速が80km/h以上になった場合の音声案内の音量を設定 ・ **する**：音量を自動で1段階上げる（70km/h以下になると、もとの音量に戻る） ・ **しない**：音量の変化なし

スイッチの操作音を調整する

パネルスイッチやタッチスイッチの操作音量を設定できます。

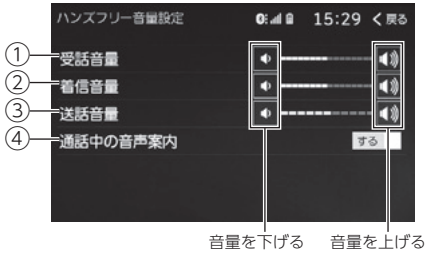
操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 音声出力 ➡ 操作音設定 ➡ お好みの音量に設定

ハンズフリーの音量を調整する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 音声出力 ➡ ハンズフリー音量設定 ➡ 各項目を設定



● 次の項目を設定できます

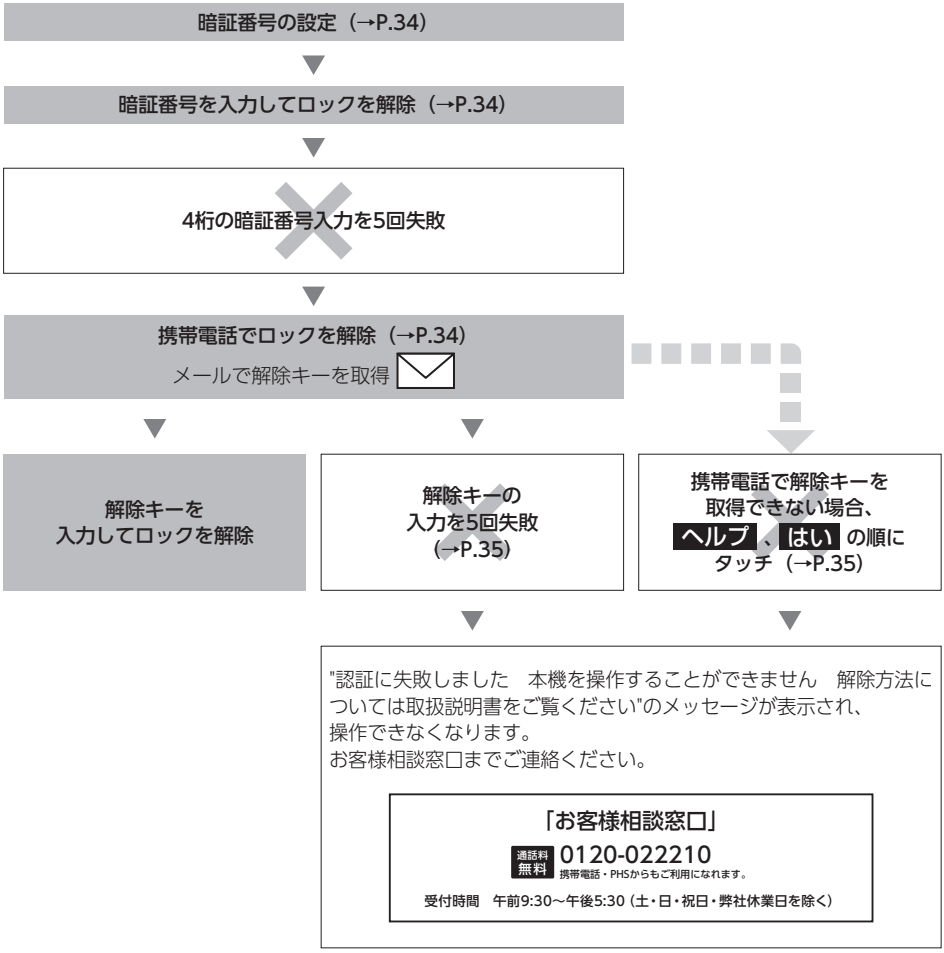
番号	機能
①	受話音量を調整
②	着信音量を調整
③	送話音量を調整
④	通話中の音声案内の出力を設定 ・ する：通話中も音声案内を出力 ・ しない：通話中は音声案内を消音

03 セキュリティ（ESN）を設定する

ESNとは

ESN（ECLIPSE Security Network)は、バッテリーターミナルをはずしてもう一度接続した場合に、本機をロックするセキュリティ機能です。

ESNの設定～ロック解除の流れについて



ESNを設定する

操作の前に

- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ロックがかかりますのでESNの設定を解除してください。
- ESNの設定は、4桁の暗証番号が必要です。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ セキュリティ ➡ ESN設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 暗証番号を入力 ➡ 完了

▼

もう一度、同じ暗証番号を入力 ➡ 完了 ➡ 設定する

- ESNを作動後、必要に応じて次の設定をしてください。
  - インジケータ：エンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、セキュリティインジケータを点滅させ、盗難発生を抑止します。
  - 起動時認証：エンジンスイッチをOFF(LOCK)にするたびに本機をロックします。

ロックを解除する

本機がロックされたとき、メッセージが表示されます。

ロックを解除するには、設定した4桁の暗証番号が必要です。

操作手順

入力する ➡ 暗証番号を入力 ➡ 完了

ロックの解除に5回連続で失敗した場合

ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。

解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得できます。

操作の前に

- 携帯電話の対応機種については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「FAQ」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）
- E-iSERV（esn_admin@e-iserv.com）からのメールを受信できるよう設定しておいてください。

操作手順

入力する にタッチ

▼

携帯電話で、2次元バーコードを読み取り、メーラーを立ち上げる。

- 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の35ページを参照してください。

▼

メールのタイトルにシリアルNo.（8桁）、本文に前回のキー No.（6桁）を入力 ➡ メールを送信

- 誤った文字を入力すると、エラーメールが返信されます。

▼

今回のキーを取得 ➡ 今回のキー No.を入力 ➡ 完了

- 解除キーが取得できない場合、**ヘルプ**、**はい** の順にタッチします。

認証に失敗／ヘルプにタッチしたとき

"認証に失敗しました　本機を操作することができません　解除方法については取扱説明書をご覧ください"のメッセージが表示され、操作できなくなります。

この場合、お客様相談窓口
（通話料無料 0120−022210）までご連絡ください。

ワンポイント

- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- ESNでは、解除コード取得の際、お客様から送られたメールや個人情報は厳重に管理していますが、警察からの捜査協力依頼があった場合は、個人情報を提供することがあります。

ESNの設定を解除する

操作手順

MENU ➡ **設定** ➡ セキュリティ ➡ **ESN設定** ➡ **セキュリティ解除** ➡ 暗証番号を入力 ➡ **完了** ➡ **解除する**

04 ナビゲーションの設定を変更する

地図デザインを設定する

昼画の地図色を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌈デザイン⌋ ➡ 地図デザイン設定 ➡ ⌈地図色(昼)⌋
➡ お好みの地図色を選択

夜画の地図色を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌈デザイン⌋ ➡ 地図デザイン設定 ➡ ⌈地図色(夜)⌋
➡ お好みの地図色を選択

案内ルート色を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌈デザイン⌋ ➡ 地図デザイン設定 ➡ ⌈案内ルート色⌋
➡ お好みの案内ルート色を選択

自車位置マークを設定する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌈デザイン⌋ ➡ 自車位置マーク設定
➡ お好みの自車位置マークを選択

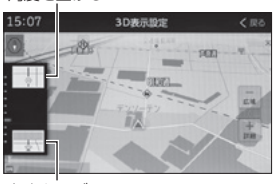
- ダウンロード：サーバーからお好みの画像をダウンロードして追加できます。(→P.165)

ナビ詳細設定を変更する

操作手順

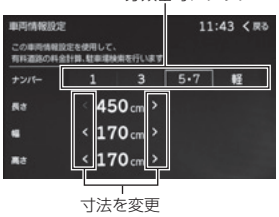
MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ナビ詳細設定 ➡ 設定したい項目を選択 ➡ 各項目を設定

● 次の項目が設定できます。
● 設定値の**太字**が初期設定です。

	項目	設定値	機能
地図表示	地図2画面 右画面設定	—	地図を2画面表示にしたときの、右画面表示を設定 ・ 施設表示：右画面に施設情報を表示 ・ VICS 交通情報表示：右画面にVICS交通情報を表示
	2D 時フロントワイド（ヘディングアップ）	**ON** ／ OFF	進行方向が上になるように回転する地図で、進行方向の地図を広く表示
	2D 時フロントワイド（ノースアップ）	ON ／ **OFF**	北を上にして固定された地図で、進行方向の地図を広く表示
	3D 時ルート方向アップ	ON ／ **OFF**	3D表示画面でルートが表示されている方向の地図を表示
	3D 地図表示設定	—	3D表示の角度を設定 角度を上げる  角度を下げる
	地図の文字サイズ変更※	大／**中**／小	地図上に表示される地名などの文字サイズを変更
	シーズンレジャーランドマーク表示	ON ／ **OFF**	桜の名所や紅葉の名所を時季にあわせて表示
	地図スクロール時の地名表示	**ON** ／ OFF	地図を動かした場合に、画面上部に地名などを表示
	一方通行マークの表示	ON ／ **OFF**	100mスケール図以下の地図に一方通行マークを表示 ・【OFF】に設定していても、市街図では一方通行マークは常時表示されます。
	走行軌跡の表示	ON ／ **OFF**	25m ～ 50kmスケール図の地図に約1000kmまでの走行軌跡を点線で表示できます。保存できる距離を超えて走行した場合は、古い軌跡から削除されます。
	走行軌跡の削除	—	保存している走行軌跡を削除
	地図スライド操作設定	**ON** ／ OFF	地図画面でスライド・フリック操作（→P.14）をする（2D表示時のみ）
	高速路線マップ自動表示	**ON** ／ OFF	高速道路に入ると、自動で高速路線マップを表示

※3D表示では、文字サイズは変更されません。

	項目	設定値	機能
案内表示・音声	料金案内	**ON** ／ OFF	目的地案内中に料金所に近づくと、料金を画面表示と音声で案内 状況により、実際と異なる料金を案内することがあります。
	県境案内	**ON** ／ OFF	都道府県の県境を通過した場合、都道府県のマークを表示し、音声で案内
	3D交差点拡大図	ON ／ **OFF**	交差点拡大図を立体的に表示
	交差点拡大図自動表示	**ON** ／ OFF	交差点拡大図を自動で表示
	リアル交差点拡大図 自動表示	**ON** ／ OFF	リアル交差点拡大図を自動で表示
	高速分岐模式図自動表示	**ON** ／ OFF	高速分岐模式図を自動で表示
	レーンリスト自動表示	**ON** ／ OFF	レーンリスト図を自動で表示
	ターンリスト自動表示	ON ／ **OFF**	ターンリスト図を自動で表示
	到着予想時間表示	所要時間／ **到着時間**／ 設定	到着予想時刻の表示内容を変更 ・ **所要時間**：目的地までの所要時間を表示 ・ **到着時間**：目的地の到着予想時刻を表示 ・ **設定**：ルート案内中の画面に表示される到着予想時刻の算出基準となる平均車速を変更 速度を変更 (5km/hずつ) ・ 初期設定値は次の通りです。 一般道：30km/h 有料道：60km/h 高速道：80km/h
	VICS情報を考慮した 到着予想時間	ON ／ **OFF**	VICS情報を考慮した到着予想時刻を算出 ・ **OFF** のときは、到着予想時間表示で設定した平均車速を基準に算出
	細街路での音声案内	**ON** ／ OFF	目的地周辺で細街路を通るときに音声で案内
	ハートフル音声	**ON** ／ OFF	その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにした時や、自宅を目的地にして到着した時など、日付やあいさつなどを音声で案内
	エコドライブ インフォメーション	**ON** ／ OFF	エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内
	VICS音声案内	**ON** ／ OFF	目的地案内中の現在地画面から約10km以内のルート上のVICS情報（渋滞や交通規制など）を音声で案内
	一時停止案内	**ON** ／ OFF	一時停止交差点に近づくと、マークと音声で案内
	踏切案内	ON ／ **OFF**	踏切に近づくと、マークと音声で案内
	合流案内	ON ／ **OFF**	高速道路走行中、合流地点に近づくと、マークと音声で案内
	カーブ案内	ON ／ **OFF**	急カーブに近づくと、マークと音声で案内

項目		設定値	機能
案内表示・音声	減少レーン案内	ON／**OFF**	減少するレーンを マークと音声で案内
	事故多発地点案内	**ON**／OFF	事故多発地点に近づくと、マークと音声で案内
	学校存在案内	ON／**OFF**	学校に近づくと、マークと音声で案内
	ゾーン30案内	**ON**／OFF	ゾーン30区域（最高速度が30km/hに規制されている区域）に進入したときに マークと音声で案内
ルート検索	渋滞考慮探索	**ON**／OFF	本機に収録されている渋滞統計データ（→P.84）や、受信したVICS情報をもとに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報を考慮したルートを探索
	新旧ルート比較表示	**ON**／OFF	目的地案内中に受信した渋滞・規制情報を基に新しいルートが見つかった場合、変更できる
	ルート学習	**ON**／OFF	いつも通る道を、本機に学習させてルートを探索する
	スマートIC考慮	ON／**OFF**	スマートICを考慮したルートを探索する
その他	サーバーを使った住所検索	ON／**OFF**	住所検索にサーバーの情報を利用
	サーバーを使った電話番号検索	**ON**／OFF	電話番号検索にサーバーの情報を利用
	サーバーを使ったジャンル検索	**ON**／OFF	ジャンル検索にサーバーの情報を利用
	サーバーを使った施設表示	**ON**／OFF	周辺施設表示にサーバーの情報を利用
	G周辺駐車場検索範囲	1km／750m／**500m**／250m	目的地周辺の駐車場の検索範囲を設定
	ETC2.0/VICS割込設定※	—	ETC2.0/VICSの割り込み情報の表示/非表示や割り込み情報の表示時間などを設定（→P.61、85）
	VICS割込設定		
	車両情報設定	—	料金の計算や提携駐車場を検索する場合の基準となる車の情報を変更 車のナンバープレート分類番号にタッチ  寸法を変更 ・ 目的地が設定されている場合は操作できません。
	時計表示	**ON**／OFF	地図画面上に時計を表示
	現在地補正	—	次のとき、自車位置マークの位置を補正できます。 **<自車位置マークの位置が実際の現在地と異なるとき>** にタッチして、現在地を修正し、**セット** にタッチ。 **<自車位置マークの向きが実際の進行方向と異なるとき>** 、または で向きを調整し、**セット** にタッチ。

※別売のETC2.0（DSRC）ユニットを接続しているとき

05 地点を設定する

メモリ地点について

メモリ地点を登録すると、次の設定ができます。
- 地図にマークを表示
- 地点に近づいたときに音が鳴るように設定（→P.83）
- メモリ地点から目的地を設定（→P.72）

メモリ地点を登録する

目的地を設定する時に、カンタンな操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始する事ができます。（最大400件登録）

地点を検索して登録する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡
メモリ地点登録・編集 ➡
メモリ地点の 登録 ➡
地図の呼び出し方法を選んで、登録

- 地図は次の方法で呼び出せます。
  - 現在地周辺から登録：現在地を中心とした地図を表示
  - 名称から登録（→P.70）
  - 住所から登録（→P.70）
  - 電話番号から登録（→P.71）
  - フリーワードから登録（→P.74）
  - 履歴から登録（→P.71）
  - ジャンルから登録（→P.73）
  - 追加施設から登録（→P.73）
  - マップコードから登録（→P.74）
  - 緯度経度から登録（→P.74）

▼

セット ➡ 完了

現在地を地点登録する

操作手順

現在地 ➡ ☰機能 ➡ 地点登録

- 地図を動かして 地点登録 にタッチしても地点を登録できます。

迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておくと、登録した地点・エリアを迂回するルートを探索することができます。
工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっている場合などに便利です。

ワンポイント

- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。
  迂回させたいときは、迂回地点を地図上に設定してください。

迂回メモリ地点を登録する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ 迂回メモリの 登録 ➡ 地図の呼び出し方法を選択 ➡ 登録する地点の地図を表示

● 迂回メモリ地点は、次の方法で探せます。
- 現在地周辺から登録：現在地を中心とした地図を表示
- 名称から登録（→P.70）
- 住所から登録（→P.70）
- 電話番号から登録（→P.71）
- フリーワードから登録（→P.74）
- 履歴から登録（→P.71）
- ジャンルから登録（→P.73）
- メモリ地点から登録（→P.72）
- 追加施設から登録（→P.73）
- マップコードから登録（→P.74）
- 緯度経度から登録（→P.74）

▼

矢印にタッチして位置を調整 ➡ セット

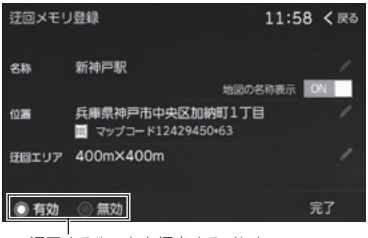
● ：矢印の方向に地図が動く

▼

∧ 、または ∨ で迂回範囲を設定 ➡ セット

▼

完了 にタッチ



迂回するルートを探索する／しない

06 オーディオの設定を変更する

ラジオアンテナを上げる／下げる

操作の前に

- ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げる場合は、【ラジオアンテナを上げる】に設定してください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 車両システム ➡ ラジオアンテナ設定 ➡ ラジオアンテナを上げる、または ラジオアンテナを下げる

ワンポイント

- ラジオアンテナを下げた状態では、FM VICS情報（→P.84）を受信できません。FM VICS情報を受信する場合、ラジオアンテナを【ラジオアンテナを上げる】に設定してください。

SDカードへの録音設定を変更する

操作手順

MENU ➡ DISC ➡ 三機能 ➡ CD 録音設定 ➡ 録音方法を選択

- すべてを自動で録音：CDを再生すると同時に、すべての曲を録音
- すべてを手動で録音：録音開始の操作をすると、すべての曲を録音
- 選択した曲のみを録音：曲を選択して録音

テレビのホームプリセットを設定する

初めて起動した時や引越しでお住まいの地域が変わった場合など、状況に合わせて設定してください。

初めてテレビを起動したとき

操作手順

MENU ➡ TV ➡ ホームプリセット設定 ➡ 初期スキャン ➡ 放送局の受信を開始 ➡ 放送局受信完了 ➡ 完了

放送局の設定をやりなおす

現在のプリセットスイッチに記憶されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を記憶させます。

操作手順

MENU ➡ TV ➡ 三機能 ➡ TVメニュー ➡ ホームプリセット設定 ➡ 初期スキャン ➡ 放送局の受信を開始 ➡ 放送局受信完了 ➡ 完了

- 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。

放送局を追加する

現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局を追加できます。

操作手順

MENU ➡ TV ➡ 三機能 ➡ TVメニュー ➡ ホームプリセット設定 ➡ 追加スキャン ➡ 放送局の受信を開始 ➡ 放送局受信完了 ➡ 完了

- 最大36局まで受信し、受信した放送局のうちプリセットスイッチに表示された12局が記憶されます。
- プリセットスイッチに空きがある場合は、受信感度がよい放送局がプリセットスイッチに表示されます。

プリセットスイッチの編集

プリセットスイッチの順番を変更したり、放送局を追加できます。

操作手順

MENU ➡ TV ➡ 三機能 ➡ TVメニュー ➡ ホームプリセット設定

▼

放送局を変更するプリセットスイッチを選択

▼

＜ 、または ＞ にタッチして放送局を選択 ➡ 完了

- 他に変更したいプリセットスイッチがある場合は、放送局を変更するプリセットスイッチを選択して、操作を繰り返してください。

DVD初期設定を変更する

操作の前に

- ディスクによっては設定が反映されないことがあります。

操作手順

MENU ➡ DISC ➡ 三機能 ➡ 各種切替 ➡ 初期設定

番号	機能
①※	ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、音声を切り替えて再生 ・ (3)))：音声のトラック数 ・ その他：言語コードを入力して言語を指定
②※	ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、字幕を切り替えて表示 ・ 2：字幕の数 ・ その他：言語コードを入力して言語を指定
③※	ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定 ・ その他：言語コードを入力して言語を指定
④※	ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、アングルを切り替えて表示 ・ 3：アングル数 ・ マルチアングルマークの表示を【ON】に設定した場合、アングルが切り替え可能な場合にマルチアングルマーク（ ）が表示されます。
⑤※	暗証番号を入力することで、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくないディスクの視聴制限レベルを設定 ・ レベル1：子ども向けのDVDソフトのみを再生（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止） ・ レベル2～7：子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生（成人向けのDVDソフトの再生を禁止） ・ レベル8（初期設定）：すべてのDVDソフトを再生
⑥※	走行中にディスクメニューを自動で実行し本編を再生
⑦	音声ダイナミックレンジを設定 ・ MAX：音声の最大値と最小値の比を最大にする ・ STD：音声の最大値と最小値の比を中間にする ・ MIN：音声の最大値と最小値の比を最小にする
⑧	映像出力を設定 ・ 16：9(ワイド)：通常のワイドサイズで表示 ・ 4：3(レターボックス)：上下両端を黒く表示 ・ 4：3(パンスキャン)：左右両端がカットされた映像

※DVD-VIDEOのみ

ワンポイント

- 視聴制限の設定で暗証番号を忘れた場合は、修正 に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）できます。
- オートスタートを【ON】に設定してもディスクやディスクメニューの操作により、本編を再生しないことがあります。

音質を調整する

音質、音量バランスを調整することにより、最適な音響空間を作り出すことができます。

操作手順

MENU ➡ オーディオソースを選択 ➡ 機能 ➡ 音設定 ➡ 設定したい項目を選択

車両を設定する

操作手順

車両設定 ➡ 各項目を設定

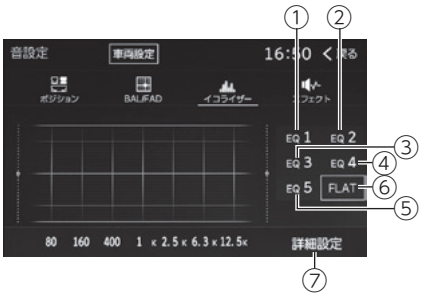
番号	内容
①	車のボディタイプを選択
②	ツイーター有無を選択

イコライザーを選択する

あらかじめ設定されているイコライザーを選択し、お好みの音質に設定できます。

操作手順

イコライザー ➡ イコライザーを選択

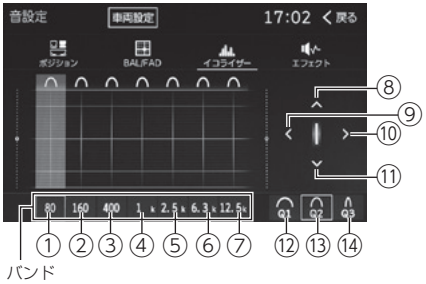


番号	内容
①	高域を強調したパターン
②	低域高域を強調したパターン
③	低域を強調したパターン
④	低域高域を少し強調したパターン
⑤	ボーカル帯域を強調したパターン
⑥	・ 短押し：補正なし ・ 長押し：パラメトリックイコライザー（→P.46）の設定を初期化
⑦	イコライザーの中心周波数、レベル、Qカーブ（帯域幅）をそれぞれ設定（→P.46）

パラメトリックイコライザーを設定する

操作手順

調整したいバンドを選択し、調整



番号	中心周波数（Hz）／機能
①	63 ↔ 80 ↔ 100
②	125 ↔ 160 ↔ 200
③	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
④	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
⑤	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
⑥	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
⑦	10k ↔ 12.5k ↔ 16k
⑧	レベルを上げる
⑨	中心周波数を低くする
⑩	中心周波数を高くする
⑪	レベルを下げる
⑫	Qカーブ（帯域幅）を広くする
⑬	Q1 と Q3 の中間のQカーブ（帯域幅）にする
⑭	Qカーブ（帯域幅）を狭くする

▼

各バンドごとに設定を繰り返す（前の手順）➡ 戻る ➡ EQ1 ～ EQ5 のいずれかに“ピー”と音がするまでタッチして調整したイコライザーを記憶させる

ワンポイント

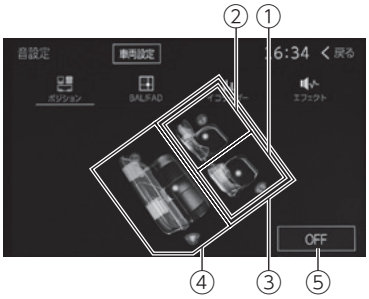
- 外部入力機器（iPod、VTR機器、ポータブルオーディオ機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

ポジション（ポジションセレクター）を設定する

乗車人数や乗車位置などにあわせて、音の中心位置を変更できます。

操作手順

ポジション ➡ シートを選択



番号	内容
①	運転席を中心にした音場
②	助手席を中心にした音場
③	前席を中心にした音場
④	後席を中心にした音場
⑤	設定を解除

BAL/FAD（音量バランス）を設定する

左右（バランス）・前後（フェダー）スピーカの音量レベルを調整します。

操作手順

BAL/FAD ➡ 音場の中心にしたいポイントにタッチ

音質効果を設定する

操作手順

エフェクト ➡ 各種設定をする

バーチャルシアターを設定する

車に搭載されているスピーカや車内の状況により、スピーカの位置などを擬似的に補正し、低音や音の拡がりを感じることができます。

操作の前に

- AM・FMラジオモードでは効果を得られません。

操作手順

バーチャルシアターのON/OFFを選択

▼

BASS ➡ 補正レベルを選択

- **HI**：補正レベル大
- **MID**：補正レベル中
- **LOW**：補正レベル小

ハーモナイザーを設定する

圧縮音楽データを作成する場合に失われた音の響きや奥行き感などを自動で補正します。

操作の前に

- MP3/WMA/AAC/iPod/USBメモリ/MUSIC JUKE/SDカード/Bluetooth Audioを再生する場合に効果があります。

操作手順

ハーモナイザーのON/OFFを選択

ラウドネスを設定する

聞きとりにくい低音・高音を補正することで、小音量でも音を聞きとりやすくします。

操作の前に

- AMラジオモードでは効果を得られません。

操作手順

ラウドネスのON/OFFを選択

07 Bluetooth® 機器を設定する

Bluetooth®機能について

操作の前に

- 使用できるBluetooth機器の仕様については、**「Bluetooth®の仕様」**（→P.181）をご覧ください。

Bluetoothの無線通信機能を使って、次の機能を利用できます。

＜ハンズフリー＞

Bluetooth対応のスマートフォンや携帯電話を直接操作せずに、電話機能を使用できます。（→P.118）

※ 本書では、ハンズフリーに使用するBluetooth機器を「携帯電話」の名称で記載します。

＜Bluetooth Audio＞

Bluetooth機器に収録されている音楽を再生できます。（→P.116）

- 各機能をご利用いただくには、Bluetooth機器（スマートフォン・携帯電話・ポータブル機など）を本機に登録し、接続する必要があります。

ワンポイント

- 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth携帯電話適合情報」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）

Bluetooth®機器を登録する

Bluetooth機器は、本機に最大5台まで登録できます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ 登録する

- すでに登録している場合は、**追加** にタッチします。

▼

画面に表示されている案内にしたがってBluetooth機器を操作する

PIN-Codeで登録する場合

操作手順

本機に表示されているPIN-Codeを Bluetooth機器に入力する

登録を中止

- 接続に失敗した場合は画面に従い、再度接続を行ってください。

ワンポイント

- Bluetooth機器でPIN-Codeが入力できないときは、本機のPIN-CodeをBluetooth機器のPIN-Codeに変更してから操作してください。（→P.51）

暗証番号で登録する場合

操作手順

本機に表示されている暗証番号を確認し、表示にしたがって操作する

- 接続に失敗した場合は画面に従い、再度接続を行ってください。

接続するBluetooth®機器を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ **Bluetooth機器を接続可能な状態にする ➡ 使用するBluetooth機器名称を選択**

▼

接続する機能を選択

Bluetooth®機器の接続を切る

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ **接続を切りたいBluetooth機器名称を選択 ➡ 切断する機能を選択**

登録したBluetooth®機器の登録を削除する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ 削除 ➡ **削除したいBluetooth機器名称を選択 ➡ 削除する**

登録したBluetooth®機器の情報を確認・変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡
設定を確認・変更したいBluetooth機器名称を選択

▼

機器詳細情報 ➡ 各項目を確認・変更

● 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	機能
①	本機に表示されるBluetooth機器名称を確認・変更
②	Bluetooth機器と本機の接続方法を選択※
③	Bluetooth機器固有のアドレスを表示
④	Bluetooth機器の電話番号を表示
⑤	Bluetooth機器が対応しているプロファイルを表示

本機側から接続
Bluetooth機器から接続※

※【Bluetooth機器から】を選択した場合、自動接続を【する】に設定（→P.51）しても自動接続は行いません。接続方法は機器により異なります。Bluetooth機器の説明書をご覧ください。

Bluetooth®機能の設定を確認・変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ Bluetooth 詳細設定 ➡ 各項目を確認・変更

● 次の項目の設定を確認・変更できます。

番号	機能
①	エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、Bluetooth機器を本機と自動で接続する/しないを設定
②	Bluetoothネットワーク上での本機の名称を表示・変更
③	Bluetooth機器を本機に登録するときのパスワードを変更
④	本機の機器アドレス※を表示
⑤	本機が対応しているプロファイルを表示

※ 機器名称やPINコード（パスキー）を他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にできます。

08 Wi-Fi® 機器を設定する

Wi-Fi®接続について

Wi-Fi機器を接続すると、つながるサービスの利用規約が表示されます。

同意する にタッチするとつながるサービスを利用できます。

- **個人情報保護方針について** にタッチすると、個人情報保護方針の規約を表示します。
  利用規約と個人情報保護方針をご確認・ご理解いただけましたら、**同意する** にタッチしてください。
  個人情報保護方針の詳細、お問合せ先については当社ホームページの「個人情報保護方針」（https://www.denso-ten.com/jp/）をご覧ください。
- つながるサービスについては、**「つながるサービスについて」**（→P.13）、**「つながるサービス（通信サービス）の有効期限について」**（→P.157）をご覧ください。
- **同意しない** にタッチしても、再度利用規約画面を表示できます。（→P.23）

操作の前に

- Wi-Fi通信機器がWi-Fi接続できる状態になっていることを確認してください。

ワンポイント

- 使用できるWi-Fi機器の仕様は、**「Wi-Fi®の仕様」**（→P.182）をご覧ください。
- 対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。
  「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」
  （https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）
  機種により、一部の機能に対応していない場合があります。
  「制限内容」などの利用条件も併せてご確認ください。

表示されるアイコンについて

表示	機能
Wi-Fi 受信レベル	Wi-Fi通信機器のWi-Fi受信レベルの目安を表示

Wi-Fi®のON/OFFを切り替える

操作手順

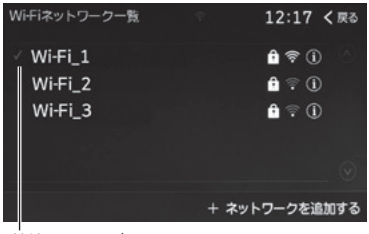
MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Wi-Fi

- タッチするごとにWi-FiのON/OFFが切り替わります。

Wi-Fi®通信機器に接続する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Wi-Fiネットワーク一覧 ➡ 利用するネットワークを選択



- パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力してください。
- ⓘ にタッチすると、次の情報を表示できます

項目	内容
ネットワークSSID	ネットワークの名称を表示
MACアドレス	Wi-Fiネットワーク上でWi-Fi通信機器を識別するためのIDを表示
セキュリティ	Wi-Fi通信機器のセキュリティ方式を表示
チャンネル	現在、Wi-Fiネットワークで使用しているチャンネルを表示

Wi-Fi®接続するネットワークを追加する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Wi-Fiネットワーク一覧 ➡ ネットワークを追加する ➡ ネットワークSSIDを入力 ➡ 完了

▼

セキュリティ方式にタッチ

- パスワードの入力が必要な場合は、パスワードを入力してください。

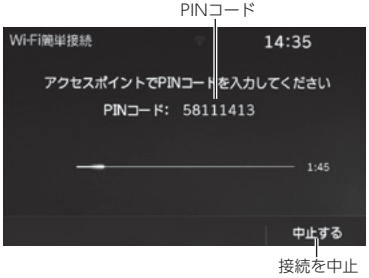
簡単設定からWi-Fi®接続する

PINコード入力、またはプッシュボタン操作に対応している、Wi-Fi通信機器で接続できます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Wi-Fi簡単接続 ➡ 接続方法を選択

- PIN コード：画面に表示されているPINコードをWi-Fi通信機器に入力



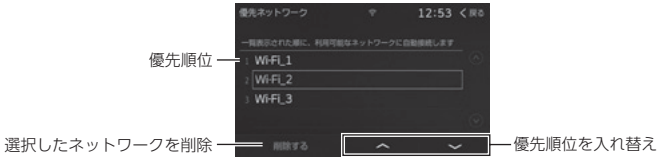
- プッシュボタン：Wi-Fi通信機器のプッシュボタンを押す

Wi-Fi®の設定を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Wi-Fi詳細設定 ➡ 各項目を確認・変更する

● 次の設定や情報を表示できます。

番号	機能
①	Wi-Fi接続するネットワークの優先順位を変更・ネットワークを削除 
②	優先ネットワークで設定した優先順位にしたがってネットワークと自動で接続する/しないを設定
③	Wi-Fiネットワーク上で本機を識別するためのIDを表示

09 メンテナンス機能を設定する

メンテナンス機能について

メンテナンス機能は、GPS情報と車速信号を使用して、車のエンジンオイル交換や車検などの時期を画面と音声（初回のみ）でお知らせします。

メンテナンスの案内表示について

設定した日をすぎる、または設定した距離を走行すると、エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに案内されます。

ワンポイント

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの販売店へご相談ください。

メンテナンス項目を設定する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ メンテナンス情報 ➡ 設定する項目を選択

- 自動通知：タッチするごとに、エンジンスイッチをＡＣＣ、またはＯＮにしたときのメンテナンス案内情報を表示する/しないを切り替え
- 次の項目を設定できます。
  - ・エンジンオイル交換
  - ・オイルフィルター交換
  - ・定期点検
  - ・車検
  - ・タイヤローテーション
  - ・タイヤ交換
  - ・バッテリー交換
  - ・運転免許証更新

▼

お知らせ日、またはお知らせ距離を入力 ➡ 完了

ワンポイント

- すでに設定されている項目にタッチすると、設定内容を修正できます。

メンテナンス時期を更新する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ メンテナンス情報

● 自動全更新：すべての項目を更新

▼

更新する項目を選択 ➡ 自動更新 ➡ 更新する

メンテナンス設定を消去する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ メンテナンス情報 ➡ 消去する項目を選択 ➡ 設定削除 ➡ 削除する

販売店を設定する

販売店を設定すると、メンテナンスの案内表示に販売店の情報を表示したり、地図上にアイコンと販売店名が表示されます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ メンテナンス情報 ➡ 販売店設定 ➡ 検索方法を選び、販売店を設定する 地点の地図を表示する

- 現在地周辺から設定：現在地を中心とした地図を表示
- 名称から設定（→P.70）
- 住所から設定（→P.70）
- 電話番号から設定（→P.71）
- 履歴から設定（→P.71）
- 施設／ジャンルから設定（→P.73）
- メモリ地点から設定（→P.72）
- 追加施設から設定（→P.73）
- マップコードから設定（→P.74）
- 緯度経度から設定（→P.74）

▼

セット

● 販売店に行く → ここに行く の順にタッチすると、目的地に設定できます。

販売店を修正・消去する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ メンテナンス情報 ➡ 販売店設定 ➡ 修正する項目を選択し、修正する ➡ 完了

● 販売店の削除 → 削除する の順にタッチすると、販売店の設定が消去されます。

10 エコ機能を設定する

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費を計算する

給油した量と給油した時点での走行距離から燃費が計算され、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。

操作の前に

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

給油量を入力する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ エコ ➡ 燃費履歴 ➡ データ入力 ➡ 給油量入力

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、走行距離リセット → リセットする の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

▼

給油量を入力 ➡ 完了

燃費を設定する

平均燃費などを参考に燃費を設定すると、全ルート画面のルートの中で最もエコなルートに が表示されます。

また、全行程一覧表画面にはルートごとにエコ度が3段階で表示されます。

◆全行程一覧画面

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ エコ ➡ 燃費設定 ➡ 燃費を設定したい道路を選択し、設定

- ＞：燃費を上げる
- ＜：燃費を下げる

11 外部機器を設定する

バックアイカメラを設定する（別売）

ガイド線を調整する

⚠警 告

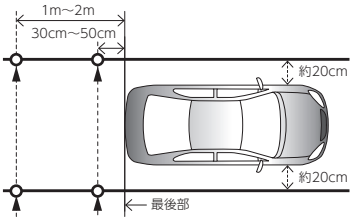
- 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

操作の前に

●距離はあくまで推奨です。
ガイド線を表示する場合は、必ず車に合わせた調整をしてください。

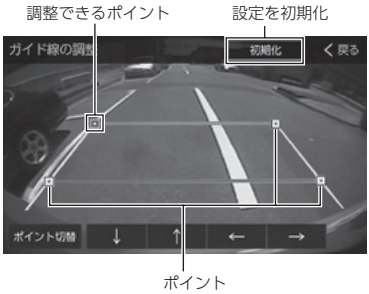
操作手順

車の幅＋両側約20cm、車の最後部から30cm～50cmおよび1m～2m離れた左右４カ所をマーキングする



▼

MENU ➡ 設定 ➡ 車両システム ➡ カメラ設定 ➡ バックカメラガイド線の調整 ➡ OK ➡ 調整したいポイント、または ポイント切替



● ポイント切替：調整できるポイントを切り替え

▼

↓、↑、←、→ にタッチし、マーキングした4点と合わせる ➡ 戻る

カメラ機能拡張BOXを設定する（別売）

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡
車両システム ➡ カメラ設定 ➡
カメラ機能拡張 BOX 設定

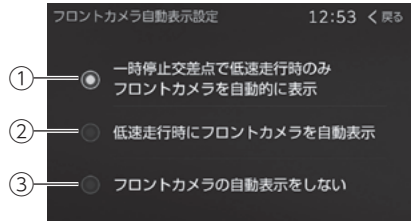
- 設定方法は、別売のカメラ機能拡張BOXの取扱説明書を参照ください。

フロントアイカメラを設定する（別売）

自動表示の設定を変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡
車両システム ➡ カメラ設定 ➡
フロントカメラ自動表示設定



番号	内容
①	地図用SDに収録されている一時停止交差点の情報を基に、一時停止交差点でのみフロントアイカメラの映像を自動で表示
②	低速走行時にフロントアイカメラ映像の自動表示設定
③	フロントアイカメラの自動表示をしない

ETCを設定する（別売）

ETCの設定を変更する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ETC ➡ ETC 設定 ➡ 各項目のON/OFFを選択

● 次の項目を設定できます。

番号	機能
①	・ ETCゲートの通行可否を画面に表示 ・ 料金徴収を画面に表示
②	通行の可否や利用料金を音声で案内
③	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を画面で警告
④※	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETC車載器の異常を音声で警告
⑤	エンジンスイッチをACCからOFF（LOCK）の位置にしたとき、カードの抜き忘れを警告

※ 別売のETC2.0（DSRC）ユニットを接続している場合は、【OFF】に設定しても音声案内をOFFにする事はできません。

ETC2.0サービスを設定する（別売）

割込情報を設定する

ETC2.0/VICS割込設定を設定する（→P.39）

項目	機能
注意警告情報自動割込	安全運転支援案内サービスの表示設定
ビーコン文字情報自動割込	文字情報の表示設定
ビーコン図形情報自動割込	図形情報の表示設定
自動割込の表示時間設定	割込情報表示の時間設定
ETC2.0表示情報自動割込	ETC2.0サービスからの提供情報の表示設定
ETC2.0読上げ情報自動割込	ハイウェイラジオの長文読み上げ自動設定
走行履歴情報アップロード	走行履歴などの情報を、ETC2.0サービスの路側無線装置へアップロードする設定

ワンポイント

● 走行履歴情報のアップロードに関して、**「道路管理者等からのお知らせとお願い」**（→P.183）をご覧ください。

ドライブレコーダーの設定をする

本機能は、AVN-D10/AVN-D10Wのみ対応しています。

ドライブレコーダーの初期設定を設定・確認する

操作手順

MENU ➡ ドライブレコーダー ➡ 初期設定 ➡ 各項目を設定・確認する

番号	内容
①	本機を他の車に載せ換えたときは、オフセットを設定 ・ オフセットが完了すると、「設定済」と表示されます。
②	カメラの撮影範囲を表示 ・ **撮影範囲を確認** にタッチすると、撮影範囲が表示されます。

ドライブレコーダーの設定を変更する

操作手順

MENU ➡ ドライブレコーダー ➡ 機能設定 ➡ 各項目を設定する

番号	内容
①	イベント保護を行うセンサーの感度を設定 ・ パソコン用ビューアーソフトで標準/高感度以外の値が設定されている場合（→P.147）、センサー感度の設定値（標準/高感度）は表示されません。
②	別売のバックアイカメラの映像を録画する/しないを設定
③	映像の録画画質を設定
④	音声を録音する/しないを設定
⑤	再生画面で走行速度を表示する/しないを設定
⑥	ソフトウェアバージョンを表示

ステアリングスイッチを設定する

ステアリングスイッチ装着車の場合、
オーディオの主要機能や、ハンズフリーの音量調整をステアリングスイッチで操作できます。

操作の前に

- 対応車種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「車種別適合ジャストフィットガイド」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）

車両メーカーを指定して設定する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 車両システム ➡ ステアリングスイッチ設定 ➡ 設定を開始する ➡ OK ➡ 車両メーカ選択 ➡ 車両メーカを選択

- スバル車、マツダ車については、車種により次のとおりに選択してください。
  - SUBARU 1：普通車
  - SUBARU 2：軽自動車
  - MAZDA 1：普通車
  - MAZDA 2：軽自動車

▼

OK

ワンポイント

- 車両メーカを選択しても車種により設定できないスイッチや動作不良が起きる場合は、**「手動で機能を割り当てる」**（→P.63）の手順でステアリングスイッチを設定してください。
- 次の機能は、車両メーカを選択しても自動設定されないため、**「手動で機能を割り当てる」**（→P.63）の手順でステアリングスイッチを設定してください。
  - 消音スイッチ（ミュート）
  - 電話スイッチ（受ける）
  - 電話スイッチ（切る）
  - 電話スイッチ（受ける/切る）
  - 地図の縮尺切り替えスイッチ
  - 現在地スイッチ

- “ステアリングスイッチを設定できませんでした　設定内容もしくは接続状態に不備がある可能性があります”のメッセージが表示された場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

手動で機能を割り当てる

ステアリングスイッチの動作を本機に記憶できます。

- 音量変更スイッチ
- 選局/選曲スイッチ
- オーディオソース切り替えスイッチ
- ミュート（消音）スイッチ
- 電話スイッチ（受ける）
- 電話スイッチ（切る）
- 電話スイッチ（受ける/切る）
- 地図の縮尺切り替えスイッチ
- 現在地スイッチ

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 車両システム ➡ ステアリングスイッチ設定 ➡ 設定を開始する ➡ OK

▼

設定したい項目を選択 ➡ 画面に表示される案内にしたがって、ステアリングスイッチを押す

▼

設定したい項目ごとに、操作を繰り返す

設定を初期化する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 車両システム ➡ ステアリングスイッチ設定 ➡ 初期化 ➡ 初期化する

12 設定を初期化する

操作の前に

- 初期化された内容は元に戻すことができません。
- Bluetooth機器を登録している場合は登録が削除されますので再度登録を行ってください。（→P.48）

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ セキュリティ ➡ 設定初期化 ➡ 初期化する ➡ 初期化する

次の項目を初期化します。

項目	初期化される内容
地図画面	・ 地図向き ・ 縮尺設定 ・ 設定した地図表示設定 ・ 設定した地図色設定 ・ 設定した案内ルート色 ・ 設定した自車位置マーク
メンテナンス	・ 各種項目・自動通知設定 ・ 販売店の設定
メモリ地点	・ 登録したメモリ地点 ・ 登録した自宅 ・ 登録した迂回メモリ地点 ・ メモリ地点移行用パスワード
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶された地点
前回出発地	前回案内時の出発地点
目的地案内	・ 設定中の目的地 ・ 目的地の案内中断/再開
走行軌跡	保存した走行軌跡
メニュー画面	・ ナビメニュースイッチの並び替え ・ AVメニュースイッチの並び替え
ルート学習	ルート学習の結果
フリーワード検索履歴	フリーワードで検索した単語
周辺施設表示	設定したジャンル

項目	初期化される内容
ナビ詳細設定	ナビ詳細設定で変更した内容
オーディオソース	・ 選択したオーディオソース ・ 設定した音量
音設定	設定した音質設定値
フリックによるオーディオ操作	・ 映像全画面でのフリック操作 ・ 説明メッセージの再表示設定
ラジオ	プリセットスイッチに記憶した周波数
テレビ	・ プリセットスイッチに記憶したチャンネル ・ 受信した番組表 ・ TVメニュー画面で変更した内容 ・ 各種切替画面で変更した内容
CD	・ リピート / ランダムの再生状態 ・ ラスト再生位置
DVD	・ 各種切替画面で変更した内容 ・ 初期設定画面で変更した内容 ・ ラスト再生位置
SD（ビデオ）	設定したワイドモード
Bluetooth Audio	・ リピート / ランダムの再生状態 ・ ラスト再生位置 ・ 接続したポータブル機器の情報
USB（ビデオ）	設定したワイドモード
VTR	設定したワイドモード
ピクチャーインピクチャー	・ 表示位置 ・ 表示サイズ
オーディオコントローラー	表示設定
映像画面の時刻表示	表示設定
ハンズフリー	・ 登録した電話帳データ ・ 発信履歴および着信履歴 ・ 登録した携帯電話の情報 ・ ハンズフリー関連の設定、編集項目

項目	初期化される内容
Wi-Fi	Wi-Fiの設定
つながるサービス（通信サービス）	・利用規約の同意 ・ログインID ・通信サービスの利用開始日 ・通信サービスの有効期限 ・ログイン状態 ・ユーザー管理ID ・ユーザー情報
配信メッセージ	受信したメッセージ
施設情報	ダウンロードした施設情報
ドライブレコーダー（AVN-D10/AVN-D10Wのみ）	・センサー感度の設定 ・バックアイカメラ録画設定 ・録画画質設定 ・再生画面での走行速度表示設定 ・オフセット設定値 ・録画映像再生時のメッセージの再表示設定
カンタン初期設定	カンタン初期設定の設定内容
設定	設定画面で変更した内容
オープニング画面	オープニング画面の設定
ETC	ETCの通知設定
VICS/ETC2.0	・放送局の設定 ・地図表示設定 ・ETC2.0/VICS割込み設定
エコ機能	・燃費設定 ・燃費履歴 ・エコ運転評価履歴 ・走行距離
カメラ	・バックアイカメラの設定 ・フロントアイカメラの設定
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ設定
画質調整	画質調整画面で調整した内容

01 地図の表示を切り替える

地図の縮尺を切り替える

操作手順

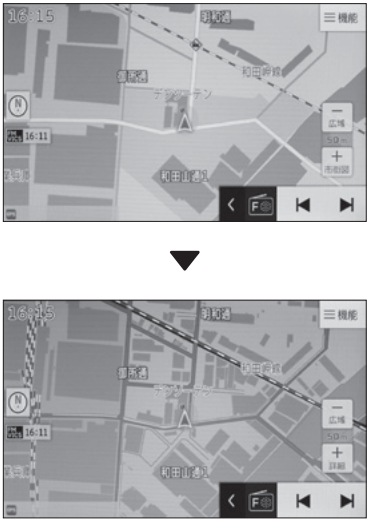
広域 、または **詳細** にタッチ

市街図を表示する

市街図が収録されている地域では25mスケール図と50mスケール図の市街図表示に切り替えることができます。

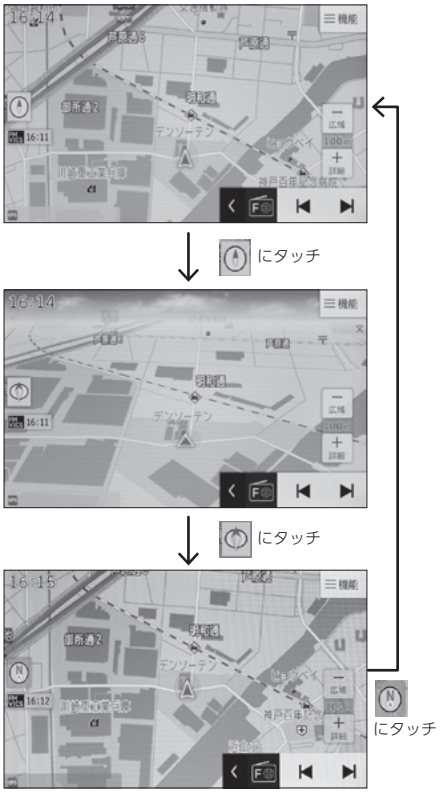
操作手順

50mスケール図を表示させているときに、市街図 にタッチ



地図の向きを切り替える

次の向きで地図を表示できます。



- ヘディングアップ表示
  地図の向き：進行方向が上になるように回転
- 3D表示
  地図の向き：ヘディングアップ表示が立体的に表示
- ノースアップ表示
  地図の向き：北を上にして固定

案内図を切り替える

自動表示を設定していない場合は、手動で切り替えることができます。

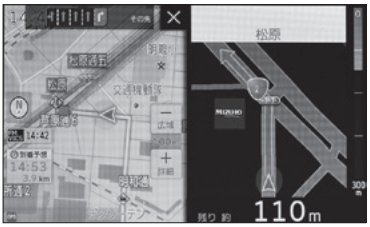
操作手順

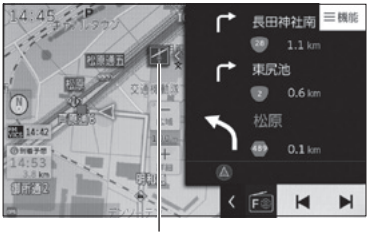
現在地 ➡ 三機能 ➡ 表示設定
➡ 表示したい案内図を選択

拡大図を非表示にする

操作手順

X にタッチ





拡大図を再表示
※拡大図の種類により、
スイッチのデザインが異なります。

施設マークを表示する

(自車位置)、または (カーソル) マークから半径約6km以内にあるお好みの施設マークを最大100件表示できます。
つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、本機のデータベースに収録されていない最新の情報を取得できます。

操作の前に

- 「サーバーを使った施設表示」を【ON】に設定（→P.39）したときにサーバーからの情報を取得できます。

操作手順

現在地 ➡ 三機能 ➡ 施設表示
➡ 表示させる施設を選択

- その他施設：ほかに表示したい施設がある場合にタッチ
- 追加施設：つながるサービスでダウンロードした施設（→P.165）を表示
- すべて解除：施設マークを地図から消す

施設表示画面の項目を変更する

地図上に表示する施設マークをよく利用する店舗やジャンルにカスタマイズできます。

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ 施設表示 ➡ 登録ジャンルの変更

▼

変更する施設のジャンルを選択

▼

表示したい施設のジャンルを順に選択

施設の情報を見る

操作手順

地図上の施設マークを選択 ➡ ⓘ にタッチ

▼

施設の情報を確認

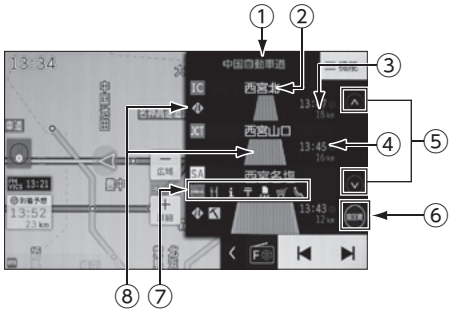
- 詳細情報：つながるサービスでダウンロードした施設の場合、詳細情報を表示
- 添付画像：つながるサービスを利用して、施設の画像を表示
- 電話番号が表示されている場合、ハンズフリー接続をしていると、電話をかけることができます。

ワンポイント

- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設マークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

ハイウェイモード画面の見方

高速道路・都市高速・有料道路では自動でハイウェイモード画面が表示されます。



番号	内容
①	道路名称を表示
②	施設（サービスエリア・パーキングエリア・インターチェンジ）の名称を表示
③	現在地からの距離を表示
④	通過予想時刻を表示
⑤	表示区間を切り替え
⑥	表示区間を切り替えているとき、現在走行している区間に戻る
⑦	選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア）にある設備を表示
⑧	VICSで受信した交通情報を表示 ・ VICSマークについては、**「VICSマーク一覧」**（→巻末）、VICS表示については**「VICS交通情報の表示について」**（→P.86）をご覧ください。

設備マーク

マーク	内容	マーク	内容
	レストラン		ＦＡＸ
	ドラッグストア		ショッピングコーナー
	仮眠施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便局・ポスト		スマートインターチェンジ

● ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

ハイウェイモード画面を解除する

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ 表示設定 ➡ 高速略図

02 目的地を探す

目的地検索後の案内開始の操作については、
「ナビの基本機能」の**「目的地を検索」**、**「ルートを確認・選択」**（→P.26）をご覧ください。

名称で探す

施設名称や地名から、地図を呼び出せます。

操作手順

MENU ➡ **名称** ➡ **名称を入力** ➡ **検索**

- **入力切替**：タッチするごとに、入力方法を切り替えることができます。

▼

施設名称、または地名を選択

番号	内容
①	検索結果が複数ある場合、検索したい施設のエリアを選択
②	検索結果が複数ある場合、検索したい施設のジャンルを選択
③	件数を表示
④	リスト画面と地図画面の比率を変更
⑤	施設情報画面に切り替える
⑥	地図を全画面に表示

住所で探す

住所を入力すると、周辺の地図を呼び出せます。つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、本機のデータベースに収録されていない最新の情報を取得できます。

操作の前に

- 「サーバーを使った住所検索」を【ON】に設定（→P.39）したときにサーバーからの情報を取得できます。

操作手順

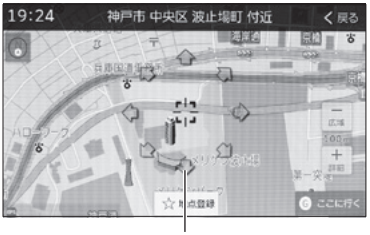
MENU ➡ **住所** ➡ **住所を選択**
（都道府県→市区町村→詳細な住所→丁目（字）の順）

- 詳細な住所がわからない場合は、**○○主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。

▼

番地指定 ➡ **番地を入力** ➡ **検索**

- 入力した番地に、該当する住所がない場合は、その丁目（字）の広域図を表示します。
- **周辺住所** にタッチすると、番地リストから詳細住所を選択できます。



位置を調整

履歴で探す

過去に目的地設定した履歴から地図を呼び出せます。

操作手順

MENU ➡ 履歴 ➡ 履歴を選択

番号	内容
①	前回の出発地点の地図を表示
②	履歴を削除（→P.81）
③	リスト画面と地図画面の比率を変更
④	施設情報画面を表示
⑤	地図を全画面に表示

電話番号で探す

電話番号を入力すると、周辺の地図、またはその局番を使用している地域の地図を呼び出せます。つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、本機のデータベースに収録されていない最新の情報を取得できます。

操作の前に

- 「サーバーを使った電話番号検索」を【ON】に設定（→P.39）したときにサーバーからの情報を取得できます。

操作手順

MENU ➡ 電話番号 ➡ 市外局番から電話番号を入力 ➡ 検索

▼

複数の施設が検索された場合、施設名称を選択

番号	内容
①	リスト画面と地図画面の比率を変更
②	施設情報画面に切り替える
③	地図を全画面に表示

ワンポイント

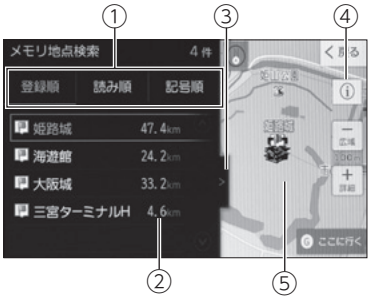
- 同じ施設名称が、複数表示されることがあります。
- 一般情報誌などに記載されているデパートの美術館・アミューズメントパーク・ホールなどの電話番号は、実際の場所と問い合わせ先や管理会社の場所が離れていることがあります。この場合、問い合わせ先や管理会社の電話番号で検索すると、実際の場所と違う地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を検索した場合、市内局番付近の地図を表示します。
  住所一覧 から住所を指定することができます。
- 収録されていない電話番号を入力して地図を表示し、メモリ地点として登録した地点は、最大400件記憶され、次に同じ番号を入力すると記憶された地点の地図が表示されます。

メモリ地点から探す

メモリ地点の登録（→P.40）

操作手順

MENU ➡ メモリ地点 ➡ 目的地に設定したいメモリ地点を選択



番号	内容
①	リストを切り替える
②	現在地からの距離を表示
③	リスト画面と地図画面の比率を変更
④	施設情報画面を表示
⑤	地図を全画面に表示

施設／ジャンルで探す

つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、本機のデータベースに収録されていない最新の情報を取得できます。

操作の前に

●「サーバーを使ったジャンル検索」を【ON】に設定（→P.39）したときにサーバーからの情報を取得できます。

操作手順

MENU ➡ ジャンル ➡ 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択

● エリア選択：検索したい施設のエリアを選択

▼

施設名称を選択

番号	内容
①	リストを切り替える
②	距離・方向をルート案内に連動して表示（目的地が設定されている場合のみ）
③	現在地からの距離を表示（エリア選択時は、選択したエリアの中心からの距離を表示）
④	リスト画面と地図画面の比率を変更
⑤	施設情報画面を表示
⑥	地図を全画面に表示

追加施設から探す

つながるサービスでダウンロードした施設を、目的地に設定できます。

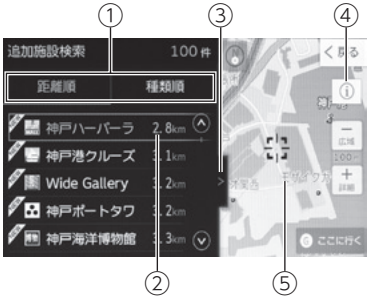
操作の前に

●事前に施設データをダウンロードして本機に追加する必要があります。（→P.165）

操作手順

MENU ➡ 追加施設 ➡ 施設を選択 ➡ 施設名称を選択

● エリア選択：検索したい施設のエリアを選択



番号	内容
①	リストを切り替える
②	現在地からの距離を表示
③	リスト画面と地図画面の比率を変更
④	施設情報画面を表示
⑤	地図を全画面に表示

マップコードで探す

操作手順

MENU ➡ マップコード ➡ マップコードを入力 ➡ 検索

位置を調整

ワンポイント

- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、数字の入力により場所を特定することができるものです。住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定できます。マップコードについての詳細は、ホームページをご覧ください。（https://www.denso-communications.jp/mapcode/）

緯度経度から探す

操作の前に

- 世界測地系（度分秒）で検索してください。

操作手順

MENU ➡ 緯度経度 ➡ 緯度経度を入力 ➡ 検索

位置を調整

フリーワード検索から探す

つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、フリーワード検索ができます。フリーワード検索は、単語の一部や、単語同士を組み合わせて入力し、施設を検索します。

操作手順

MENU ➡ フリーワード ➡ 文字を入力する ➡ 検索 ➡ 施設を選択

番号	内容
①	変換候補を表示
②	単語を組み合わせて検索する場合に入力
③	入力したい候補がない場合にタッチすると変換候補のリストを表示
④	リストを切り替える
⑤	検索したい施設のエリアを選択
⑥	現在地からの距離を表示
⑦	リスト画面と地図画面の比率を変更
⑧	施設情報画面を表示
⑨	地図を全画面に表示

ワンポイント

●以下の内容では検索できません。
・電話番号/マップコード/住所/郵便番号/緯度経度/個人宅

自宅に帰る

操作手順

MENU ➡ 自宅 ➡ 設定する

- 自宅へ帰る ：すでに設定されている目的地を消去して、自宅を新規目的地に設定。
- 自宅を追加 ：追加したい区間を選択して、自宅を追加目的地に設定。

ワンポイント

●自宅へのルート案内中に地図画面で 機能 → 自宅案内中 → OK の順にタッチすると、自宅へのルート案内を終了します。

提携駐車場を探す

検索した施設と提携している駐車場がある場合表示できます。

操作の前に

●施設を中心とした半径2km以内で、最大50件までの提携駐車場を検索できます。

操作手順

目的地の地図を全画面で表示

目的地を検索後、タッチ

- 地図は次の方法で表示できます。
  - 名称（→P.70）
  - 住所（→P.70）
  - 電話番号（→P.71）
  - 履歴（→P.71）
  - 施設／ジャンル（→P.73）
  - メモリ地点（→P.72）
  - 追加施設（→P.73）
  - マップコード（→P.74）
  - 緯度経度（→P.74）
  - 地図を動かす（→P.77）

▼

提携P ➡ 駐車場名称を選択

番号	内容
①	リスト画面と地図画面の比率を変更
②	地図を全画面に表示
③	施設情報画面を表示

ワンポイント

- 設定した車の情報（→P.39）から該当する提携駐車場を検索します。設定されていない場合は、提携する駐車場がすべて検索されます。

目的地周辺の駐車場を探す

つながるサービス（通信サービス）でサーバーに接続すると、目的地周辺の駐車場を検索することができます。目的地に近づいたときに周辺の駐車場を表示できます。

操作手順

目的地の地図を全画面で表示

- 地図は次の方法で表示できます。
  - 名称（→P.70）
  - 住所（→P.70）
  - 電話番号（→P.71）
  - 履歴（→P.71）
  - 施設／ジャンル（→P.73）
  - メモリ地点（→P.72）
  - 追加施設（→P.73）
  - マップコード（→P.74）
  - 緯度経度（→P.74）
  - フリーワード（→P.74）
  - 地図を動かす（→P.77）

▼

G 周辺駐車場検索 ➡ **案内開始** ➡ **ルート案内を開始**

▼

表示する ➡ **駐車場アイコンを選択**

- ⓘ：施設情報を表示
- 選択した駐車場を目的地に設定する場合は、**ここに行く** 、または **ここを追加** にタッチします。

手動で目的地周辺の駐車場を探す

操作手順

目的地案内中に 現在地 ➡ ☰機能 ➡ ルート ➡ G 周辺駐車場 ➡ 表示する ➡ 駐車場アイコンを選択

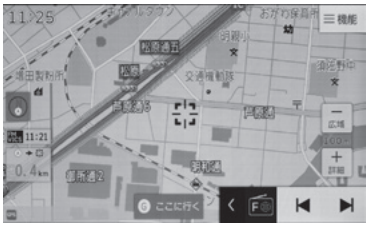
地図画面から探す

現在、表示されている地図に目的地を設定することができます。

地図を動かして目的地を設定

操作手順

目的地設定したい位置まで地図を動かす ➡ ここに行く



地図上の施設から目的地を設定

操作手順

地図上の施設マークを選択 ➡ ⓘ にタッチ

▼

ここに行く

インターチェンジを指定する

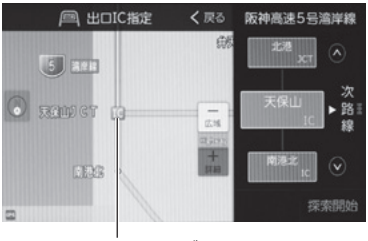
探索ルートが有料道路を通る場合、乗り降りするインターチェンジを指定できます。

操作の前に

- スマートICを指定する場合は、スマートIC考慮（→P.39）を【ON】に設定してください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ルート編集 ➡ 変更したいインターチェンジを選ぶ ➡ インターチェンジを指定



インターチェンジ

- ∧ ・ ∨ : インターチェンジを切り替え
- 次路線 : 路線を切り替え
- 左画面の高速路線マップからもインターチェンジを指定できます。

▼

探索開始

- 指定したインターチェンジに出口（または入り口）が2ヵ所以上ある場合は、◆を乗降 IC に設定 、または 別の IC を設定 にタッチして、指定します。

▼

案内開始

インターチェンジ指定を解除する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ルート編集 ➡ 解除したいインターチェンジを指定 ➡ 入口解除（または 出口解除 ） ➡ 案内開始

目的地を追加する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ルート編集 ➡ 追加 ➡ 検索方法を選び目的地の地図を表示

● 地図は次の方法で表示できます。

- 名称（→P.70）
- 住所（→P.70）
- 電話番号（→P.71）
- 履歴（→P.71）
- 施設／ジャンル（→P.73）
- メモリ地点（→P.72）
- 追加施設（→P.73）
- マップコード（→P.74）
- 緯度経度（→P.74）
- フリーワード（→P.74）
- 自宅（→P.75）
- 地図を動かす（→P.77）

▼

ここを追加 ➡ 追加したい区間の設定 ➡ 案内開始

目的地の順番を並べ替える

２つ以上の目的地を並べ替えて再探索することができます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ルート編集 ➡ 並び替え ➡ 行きたい順に目的地を選択 ➡ 完了 ➡ 探索開始 ➡ 案内開始

通過する道路を指定する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ ルート編集 ➡ 指定 ➡ 通過道路を指定する位置に地図を動かす ➡ 通過道路セット ➡ ◆を通るルートを探索

● 別の道路で探索：次の候補に切り替え

▼

通過道路に指定したい区間の 設定 ➡ 探索開始 ➡ 案内開始

通過する道路を修正する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌠ナビ⌡ ➡ ルート編集 ➡ 修正 ➡ 修正する通過道路を選択

▼

通過道路を指定する位置に地図を動かす ➡ 通過道路セット ➡ ◆を通るルートを探索

- 別の道路で探索：次の候補に切り替え

▼

探索開始 ➡ 案内開始

通過する道路指定を解除する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌠ナビ⌡ ➡ ルート編集 ➡ 解除 ➡ 修正する通過道路を選択

- すべて解除：すべての通過道路指定を解除

▼

解除する ➡ 探索開始 ➡ 案内開始

03 目的地を決めてルートを探索する

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地設定後のルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示できます。

操作手順

目的地を検索（→P.70）➡

ここに行く ➡ ⓘ にタッチ

▼

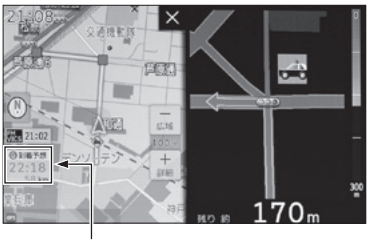
- **地図**：設定したそれぞれの地点の周辺地図を表示

到着予想時刻／残距離表示を切り替える

目的地を複数設定している場合、目的地ごとの到着予想時刻と残距離表示を切り替えることができます。

操作手順

到着予想時刻／残距離表示にタッチ



到着予想時刻／残距離表示

- 目的地が2ヵ所設定されている場合は、タッチするたびに到着予想時刻／残距離表示の目的地が切り替わります。
- 目的地が3ヵ所以上設定されている場合は、表示させたい目的地までの到着予想時刻／残距離表示にタッチします。
  - ・ **×**：もとの表示に戻る

ワンポイント

- 状況により目的地までの残距離表示が異なります。
  - ・現在地がルート上にある場合：表示されているルートを通っての距離
  - ・ルートからはずれた場合：現在地から目的地までの直線距離
- 到着予想時刻の表示方法（所要時間／到着予想時刻）を切り替えることができます。（→P.38）

全ルートを再表示する

出発地から目的地までの全ルートを表示できます。

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ ルート ➡ 全ルート表示

- 案内に戻る：全ルート画面表示を解除

ワンポイント

- 再表示された全ルートの料金表示は、現在地から目的地までの残りの料金です。

目的地案内を止める／再開する

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ 案内中断

- 案内再開：案内を再開

ワンポイント

- 目的地案内を中断しても、目的地は消去されません。

目的地を削除する

目的地が1カ所の場合

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ ルート ➡ 目的地削除 ➡ 削除する

目的地が複数ある場合

操作手順

現在地 ➡ 機能 ➡ ルート ➡ 目的地削除 ➡ 消したい目的地を選択 ➡ 削除する ➡ 案内開始

目的地の履歴を削除する

操作手順

MENU ➡ 履歴 ➡ 履歴削除 ➡ 消したい履歴を選択 ➡ 削除する

ワンポイント

- 目的地に設定した地点は、最大100件まで自動で記憶されます。100件を超えた場合は、古いものから自動で削除されます。

04 ルートを再探索する

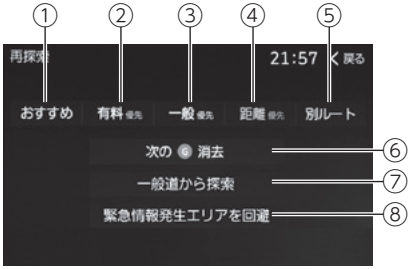
ルートを自動で再探索する

目的地案内中にルートから外れた場合は自動で再探索します。
再探索されるルートは、ルートから外れたときの状況により異なります。

ルートの探索条件を変える

操作手順

現在地 ➡ 三機能 ➡ ルート ➡ 再探索 ➡ 探索条件を選択

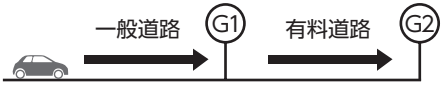


番号	機能
①	現在地から次の目的地※1の間で、時間・距離・道路形状等、総合的に最も推奨するルートを探索
②	現在地から次の目的地※1の間で、なるべく有料道路を優先的に利用するルートを探索
③	現在地から次の目的地※1の間で、有料道路をなるべく利用しないルートを探索
④	現在地から次の目的地※1の間で、距離の短いルートを探索
⑤※2	現在地から次の目的地※1の間で、現在選ばれているルートとは別のルートを探索
⑥※3	次の目的地を消去して探索
⑦※4	自車位置が一般道にある場合に、付近の有料道路を通るルートが探索されたとき、**一般道から探索** にタッチすると、一般道路を通るルートに変更（逆の場合は、**有料道から探索** にタッチ）
⑧	・ **緊急情報発生エリアを回避**：緊急情報発生エリアを回避するルートを探索 ・ **規制エリアを回避**：規制エリアを回避するルートを探索

※1 現在地と次の目的地の間にインターチェンジが指定されている場合は、現在地から指定されているインターチェンジの間で、ルートが探索されます。
※2 全ルート画面（→P.26）から選んだ場合は、おすすめルートとは別のルートが探索されます。
※3 2つ以上、目的地を設定している場合のみ表示されます。
※4 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路がある場合のみ表示されます。

区間ごとの探索ルート条件を変える

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。



操作手順

現在地 ➡ 三機能 ➡ ルート ➡ 全ルート表示 ➡ ルート変更 ➡ 探索条件変更 ➡ 各区間ごとに探索条件を選択 ➡ 探索開始 ➡ 案内開始

05 地点を編集する

メモリ地点を修正する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ メモリ地点の 修正 ➡ 修正したい地点を選択 ➡ 修正したい項目を選択して、修正・入力

- 記号：希望の記号を選択
  - 記号無し：マークを表示しない
  - 音声付き：メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴る（→P.83）
- 名称：名称を修正
- 地図の名称表示：地図に名称を表示
  ・タッチするごとにON/OFFを切り替え
- 名称読み：名称読みを修正
- 位置：位置を修正
  - ⇧ にタッチして位置を修正し、セット にタッチ
- 電話番号：電話番号を修正

▼

完了

音声付き記号に変更する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ メモリ地点の 修正 ➡ 修正したい地点を選択 ➡ 記号 ➡ 音声付き ➡ 記号を選択 ➡

- 🔊：音を試聴
- 方向付き：設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴る
- ↓、または ↓ で方向を設定し、セット にタッチ

▼

完了

メモリ地点を消す

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ メモリ地点の 削除 ➡ 消去する地点を選択 ➡ 削除する

迂回メモリ地点を修正する

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ 迂回メモリの 修正 ➡ 修正したい迂回メモリ地点を選択 ➡ 修正したい項目を選択して修正・入力 ➡ 完了

- 名称：名称を修正
- 地図の名称表示：地図に名称を表示
  ・タッチするごとにON/OFFを切り替え
- 位置：位置を修正
  - ⇧ にタッチして位置を修正し、セット にタッチ
- 迂回エリア：迂回範囲を修正
  - ∧、または ∨ にタッチして迂回範囲を修正し、セット にタッチ
- 有効：迂回するルートを探索する
- 無効：迂回するルートを探索しない

▼

完了

迂回メモリ地点を消す

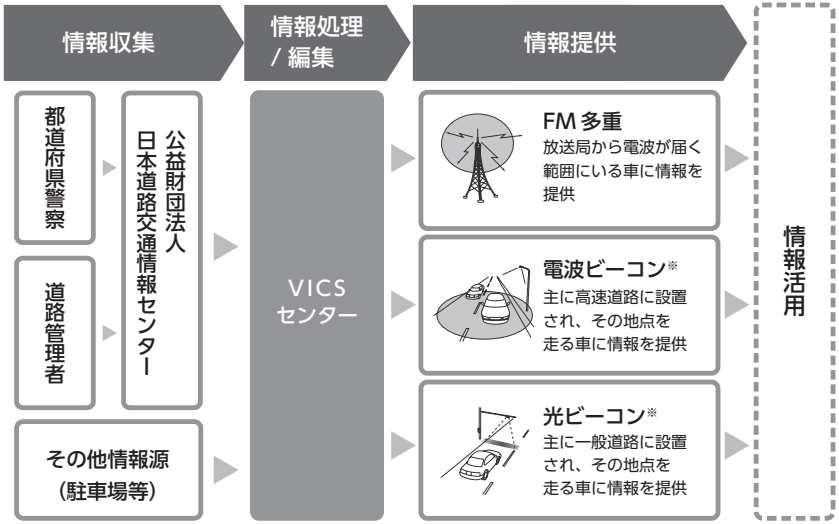
操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ 迂回メモリの 削除 ➡ 消去したい迂回メモリ地点を選択 ➡ 削除する

06 VICS 機能について

VICSについて

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。
VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理／編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



※別売の ETC2.0（DSRC）ユニットを接続しているときのみ

VICS WIDEについて

本機はVICS WIDEに対応しています。
従来のVICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の表示
- 気象・災害情報エリアの表示
- FM-VICSでの渋滞を考慮した探索

統計データについて

本機には、渋滞の統計データが収録されています。収録された統計データは、ルート探索時に使用されます。また、統計データを地図上に表示することができます。（→P.85）

表示された統計データの見方は、**「VICS交通情報の表示について」**（→P.86）をご覧ください。

VICS情報の提供内容について

VICS情報は文字表示（レベル1）、簡易図形表示（レベル2）、または地図表示（レベル3）から渋滞・交通規制等を表示します。

ワンポイント

- アンテナが下がっているとVICS情報が受信されません。

VICS文字情報・図形情報を表示する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ VICS（または ETC2.0/VICS ）➡ FM文字 、または FM図形

▼

表示させる情報の番号を選択 ➡ ∧ 、∨ 、または 自動送り

- 文字：文字情報に切り替え
- 図形：図形情報に切り替え
- 自動送り：自動で情報を送る（走行中は操作不可）
- 目次：目次画面に戻る

ワンポイント

- 緊急情報を受信した場合は、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は 割込情報 から再表示できます。

VICS交通情報の表示を設定する

操作手順

現在地 ➡ ☰機能 ➡ 表示設定 ➡ VICS交通情報 ➡ VICS交通情報を表示する道路を選択

- 表示しない：表示を解除
- 表示する情報を選択する：表示したい情報にタッチ

ワンポイント

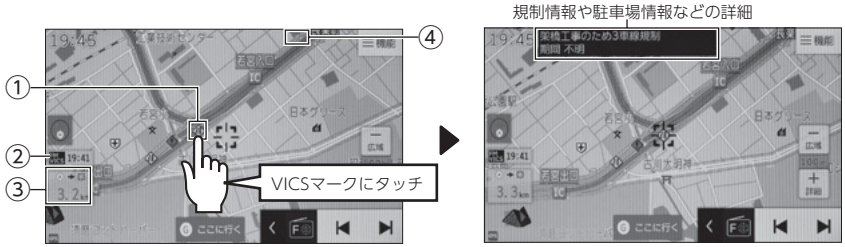
- VICSマーク（→巻末）は、事象・規制情報の表示、または駐車場が選択されていないと表示されません。

VICS割り込み情報を設定する

VICS割込設定を設定する（→P.39）

項目	機能
注意警告情報自動割込	安全運転支援案内サービスの表示設定
ビーコン文字情報自動割込	自動割込文字情報の表示設定
ビーコン図形情報自動割込	自動割込図形情報の表示設定
自動割込の表示時間設定	割込情報表示の時間設定

VICS交通情報の表示について



番号	内容
①	規制情報、駐車場、サービスエリア・パーキングエリアの情報をマークで表示 ・ VICSマークの詳細は、巻末をご覧ください。
②	・ VICS情報の受信状況と情報が提供された時刻を表示 ・ FM VICS 10:05：表示中の地図にVICS情報がある場合 ・ FM VICS 10:05：VICS情報を受信しているが、表示中の地図にVICS情報がない場合 ・ —:—：VICS情報を受信していない場合 ・ ルート上（約10km以内）にVICSの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチに切り替わり、タッチすると渋滞・規制案内情報を音声で案内します。 また時刻の色で、渋滞状況をお知らせします。（赤色：渋滞、橙色：混雑、黄色：規制、白色：順調） ・ VICS情報を受信した媒体により次のように表示が変わります。 ・ FM VICS 10:05：FM多重から受信 ・ BEACON VICS 10:05：別売のETC2.0（DSRC）ユニットから受信
③	現在地からの直線距離を表示
④	・ 渋滞情報（現況（VICS）情報／統計データ） 渋滞の長さと混雑状況を、線の長さと色で表示（赤色：渋滞、橙色：混雑、水色：順調） ・ 現況（VICS）情報 地図上に矢印で表示されます。 先頭 ・ 統計データ 地図上に破線で表示されます。 破線 ・ 規制情報 規制道路を黒色の線で表示 規制道路（黒色） 道

ワンポイント

● VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動で消去されます。

緊急情報の表示について

緊急情報※を受信すると自動的に表示します。
「緊急警報放送（EWS）を受信した場合は」（→P.107）とは異なります。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報

⚠ 重 要

- 災害発生時に、万一、本機の不具合やお取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではございませんので、予めご了承ください。

緊急情報を再表示する

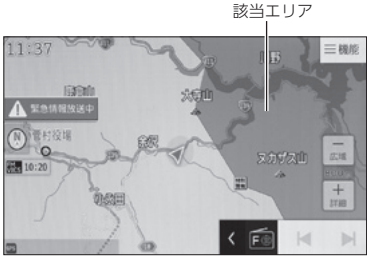
一度表示した緊急情報を再度表示することができます。

操作手順

緊急情報放送中 にタッチ

気象・災害情報エリアの表示について

気象・災害情報を受信すると地図上に該当エリアを強調して表示します。



- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。（→P.82）

受信する放送局を変更する

通常は、**オート** でご使用ください。オートで受信されない場合のみ、**マニュアル** から、放送局（または放送エリア）を選択してください。

自動で選ぶ

操作手順

MENU ➡ **情報** ➡ **VICS**
（または **ETC2.0/VICS** ）➡
VICS選局 ➡ **オート**

手動で選ぶ（エリア選択）

選んだ都道府県の放送局が受信されます。

操作手順

MENU ➡ **情報** ➡ **VICS**
（または **ETC2.0/VICS** ）➡
VICS選局 ➡ **マニュアル**
▼
受信させる放送局のある都道府県名を選択

手動で選ぶ（周波数選択）

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても放送局は自動で切り替わりません。

操作手順

MENU ➡ **情報** ➡ **VICS**
（または **ETC2.0/VICS** ）➡
VICS選局 ➡ **マニュアル**
▼
⏮ 、または ⏭ にタッチして、放送局の周波数を選択

ワンポイント

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- VICS情報のサービスエリアについては、**「VICS情報有料放送サービス契約約款」**（→P.193）をご覧ください。
- VICSシステムでは、地図データに情報提供する道路をあらかじめ設定しています。（VICSリンク）
  VICSリンクは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わないと、VICS交通情報の一部が表示されなくなることがあります。最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
  VICSリンクにより設定された道路は、将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

再生できるオーディオの仕様について

ディスクについて

● 次のディスクを再生できます。
＜音楽ディスク＞
・CD
・MP3/WMA/AACを記録したディスク
＜映像ディスク＞
・DVD-VIDEO
・DVD-VR

操作の前に

●詳細の仕様については以下をご覧ください。
・再生できるディスクの種類、記録方式：
「ディスクの仕様」（→P.176）
・再生できる圧縮データの記録方式：
「再生できる圧縮ファイルと対応メディア」（→P.172）、
「再生できる圧縮ファイルの仕様について」（→P.173）

USBメモリについて

USBメモリに保存した次の圧縮データを再生できます。
＜音楽ファイル＞
・MP3
・WMA
・AAC
＜動画ファイル＞
・WMV
・AVI
・MPEG4

操作の前に

●別売の「USB接続コード」をお買い求めください。
●詳細の仕様については以下をご覧ください。
・使用できるUSBメモリ：
「USBメモリの仕様」（→P.179）
・再生できる圧縮データの記録方式：
「再生できる圧縮ファイルと対応メディア」（→P.172）、
「再生できる圧縮ファイルの仕様について」（→P.173）

SDカードについて

パソコンで記録した音楽データと本機で録音した音楽データを再生できます。
パソコンで記録した場合、次の圧縮ファイルを再生できます。
＜音楽ファイル＞
・MP3
・WMA
・AAC
＜動画ファイル＞
・WMV
・AVI
・MPEG4

⚠ 重要

録音用フォルダ（SDA）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損するおそれがあります。

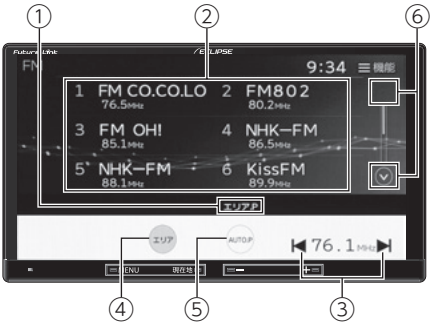
操作の前に

●詳細の仕様については以下をご覧ください。
・使用できる音楽用SD：
「SDカードの仕様」（→P.180）
・再生できる圧縮データの記録方式：
「再生できる圧縮ファイルと対応メディア」（→P.172）、
「再生できる圧縮ファイルの仕様について」（→P.173）

02 ラジオを聞く

ラジオを聞く

ラジオ操作画面を表示（→P.18）



◆ラジオ操作画面

番号	機能
①	プリセットスイッチの選局モード（AUTO.P ／エリア.P ／マニュアル.P）を表示
②	・ 受信した放送局を表示 ・ 放送局をプリセットスイッチに記憶する場合は、“ピー ”と音がするまでタッチ※1
③	タッチするごとに、１ステップずつ周波数を切り替えて放送局を受信 ・ “ピッ ”と音がするまでタッチすると、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局 ・ もう一度タッチすると、選局を解除
④	・ 今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示 ・ もう一度タッチすると、エリアモードを解除
⑤	・ 受信できる放送局を周波数が低い順に6局まで自動で記憶します。 ・ “ピー ”と音がするまでタッチすると、受信できる放送局を一時的にプリセットスイッチに記憶 ・ もう一度タッチすると、AUTO.Pモードを解除
⑥※2	プリセットスイッチのページを切り替え

※1　選局モードがエリア.Pの場合は、記憶できません。
※2　FMラジオのみ。

交通情報放送を聞く

交通情報局（1620kHz、または1629kHz）を受信します。

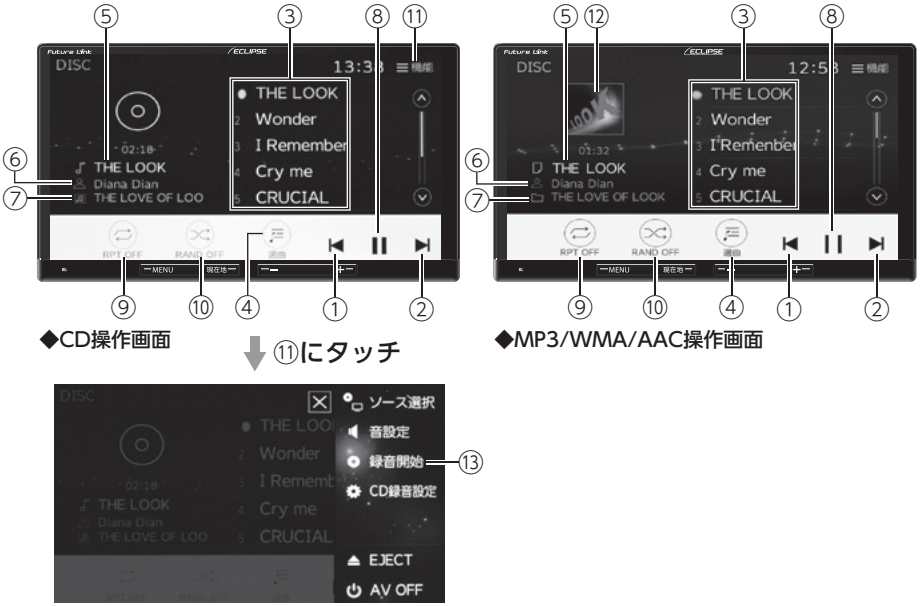
操作手順

MENU ➡ 交通情報 ➡ 1620 kHz 、または 1629 kHz

03 音楽ディスクを聞く

音楽ディスクを聞く

DISC操作画面を表示（→P.18）



ワンポイント

●録音中は一部の機能が使用できなくなります。

番号	機能
①	·曲/ファイルを頭出し ·連続してタッチすると、前の曲/ファイルに切り替え ·タッチし続けると、曲/ファイルを早戻し
②	·次の曲/ファイルに切り替え ·タッチし続けると、曲/ファイルを早送り
③	曲/ファイルを選択
④	曲リストを表示（音楽CDのみ）/フォルダリストを表示（MP3/WMA/AACのみ）
⑤	曲/ファイル名※を表示
⑥	アーティスト名※を表示
⑦	アルバム/フォルダ名※を表示
⑧	曲/ファイルの再生を一時停止
	曲/ファイルを再生

※ CDやMP3/WMA/AACにテキスト情報やタグ情報があると、表示されます。

番号	機能	
⑨	**音楽CDの場合** ・ 再生中の曲をリピート再生 ・ もう一度タッチすると、リピート再生を解除	**MP3/WMA/AACの場合** ・ タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	**音楽CDの場合** ・ CD内のすべての曲をランダム再生 ・ もう一度タッチすると、ランダム再生を解除	**MP3/WMA/AACの場合** ・ タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ内の全ファイルをランダム再生→全ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	オーディオメニュー画面を表示（音楽CDのみ）	
⑫	カバーアートが収録されている場合に表示（MP3/WMA/AACのみ）	
⑬	音楽用SDへの録音を開始（→P.94）（音楽CDのみ）	
	音楽用SDへの録音を停止（音楽CDのみ）	

04 CDからSDカードへ録音する

SDカードへの録音について

音楽CDをAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮し、音楽用SDに録音できます。CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アーティスト名やアルバム名を検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。

録音ができないCD

- オーディオ機器を使用して録音したCD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます）
- 録音が禁止されている音楽CD
- 圧縮ファイルを記録したCD-RやCD-RW
- DTS-CD

録音の仕様

- 録音されたデータは暗号化されて音楽用SDに記録されるため、本機以外では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存できます。保存したデータは、録音時に使用した音楽用SDであれば、同じフォルダ構成でもう一度データを保存できます。
- 録音中でも他のオーディオソースに切り替えることができます。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、その曲の文字が赤色で表示されます。

録音についての注意

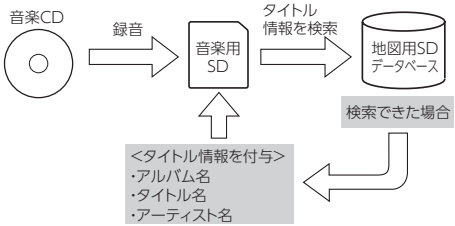
- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- 録音した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音した音楽用SDを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失するおそれがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- バッテリーターミナルをはずし、もう一度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。

データベースについて

データベース情報は、Gracenoteデータベース（→P.195）を使用しています。

オートタイトリング機能について

CDを音楽用SDに録音した場合、地図用SDに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。



ワンポイント

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100％保証するものではありません。
- 本機で音楽用SDに録音したCDの音楽情報がデータベースにない場合、アーティスト名は「NO DATA」、アルバムタイトルは録音した日時、曲名は「TRACK1、TRACK2…」と表示されます。

SDカードへ録音する

⚠ 重 要

- 録音中に車のエンジンスイッチをOFF(LOCK)にする場合は、録音を停止してください。音楽用SD内のデータが破損するおそれがあります。

自動で録音する

「CD録音設定」を『すべてを自動で録音』に設定している場合（→P.42）、CDを差し込むと、自動で録音を開始します。

手動で録音する

「CD録音設定」を『すべてを手動で録音』に設定している場合（→P.42）、録音開始の操作をすると、すべての曲の録音を開始します。

操作手順

CDを差し込む ➡ MENU ➡ DISC ➡ ☰機能 ➡ 録音開始

お好みの曲を選んで録音する

「CD録音設定」を『選択した曲のみを録音』に設定している場合（→P.42）、お好みの曲を選んで録音できます。

操作手順

CDを差し込む ➡ MENU ➡ DISC ➡ ☰機能 ➡ 録音開始 ➡ 録音したい曲を選択 ➡ 録音開始

タイトル情報を取得する

タイトル情報が付与されていない音楽データは、次の方法でタイトル情報を取得できます。

- SDカードでタイトル情報を取得する
- つながるサービスでタイトル情報を取得する

SDカードでタイトル情報を取得する

専用のアプリケーションからタイトル情報を取得し、付与できます。専用のアプリケーションソフトの動作環境や、タイトル情報のダウンロード方法についてはECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」⇒「Gracenoteデータベース CDタイトル情報更新サービス」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）

操作手順

タイトル情報をダウンロードした音楽用SDを差し込む

▼

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡
☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡
SDから取得 ➡ タイトル取得を開始

つながるサービスでタイトル情報を取得する

サーバーからタイトル情報をダウンロードして、付与することができます。

操作手順

タイトル情報を取得したい音楽用SDを差し込む

▼

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡
☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡
通信で取得 ➡ タイトル取得を開始

録音した音楽情報を編集する

操作手順

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡ ☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡ 修正

▼

アルバムリストを表示 ➡ 編集したいアルバムを選択 ➡ 各項目を編集

※ 以降の手順は画面に従って操作してください。

番号	内容
①	アルバム名を編集
②	アルバム読みを編集
③	アーティスト名を編集 ・ **リストから選択する**：登録済みのアーティスト名を表示 ・ **マニュアル入力する**：文字を入力して編集
④	アーティスト読みを編集
⑤	ジャンルを編集
⑥	曲名、曲名読みを編集
⑦	録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が違っている場合に、再度データベースから検索 ・ **通信で**：つながるサービスでサーバーから検索（→P.95） ・ **SD から**：音楽用SDにダウンロード（→P.95）したタイトル情報から検索
⑧	録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報を削除 ・ 削除したタイトル情報は、再取得できます。（→P.95）

録音した音楽を削除する

操作手順

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡ ☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡ 削除 ➡ アルバムリストを表示 ➡ 削除したいアルバムを選択

※ 以降の手順は画面に従って操作してください。

番号	内容
①	選択したアルバムに収録されている曲を削除
②	選択したアルバムを削除

ワンポイント

- 削除する曲がマイベストにも登録されている場合は、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

マイベストについて

録音した曲の中からお気に入りの曲を集めたマイベストを作成できます。

ワンポイント

- マイベストは999個作成できます。
- 1つのマイベストには99曲まで登録できます。

マイベストを作成する

操作手順

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡
☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡
新規作成 ➡ 名称を入力 ➡ 完了

▼

登録したい曲が含まれているアルバムリストを表示

▼

登録したい曲が含まれているアルバムを選択 ➡ 登録したい曲を選択 ➡
追加 ➡ 終了する

- 追加する：続けて曲を追加する
  - アルバムリストを表示し、アルバム、登録したい曲の順に選択

マイベストを編集する

操作手順

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡
☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡
編集 ➡ 編集したいマイベストを選択

※ 以降の手順は画面に従って操作してください。

番号	内容
①	マイベストの名称を修正する
②	選択したマイベストに曲を追加
③	選択したマイベストに収録された曲を並び替える ・ 並び替えたい曲を選択し移動先の 挿入 にタッチ
④	選択したマイベストから曲を削除
⑤	選択したマイベストを削除する

SDカードの容量を確認する

使用中の音楽用SDの録音アルバム数や曲数などを確認できます。

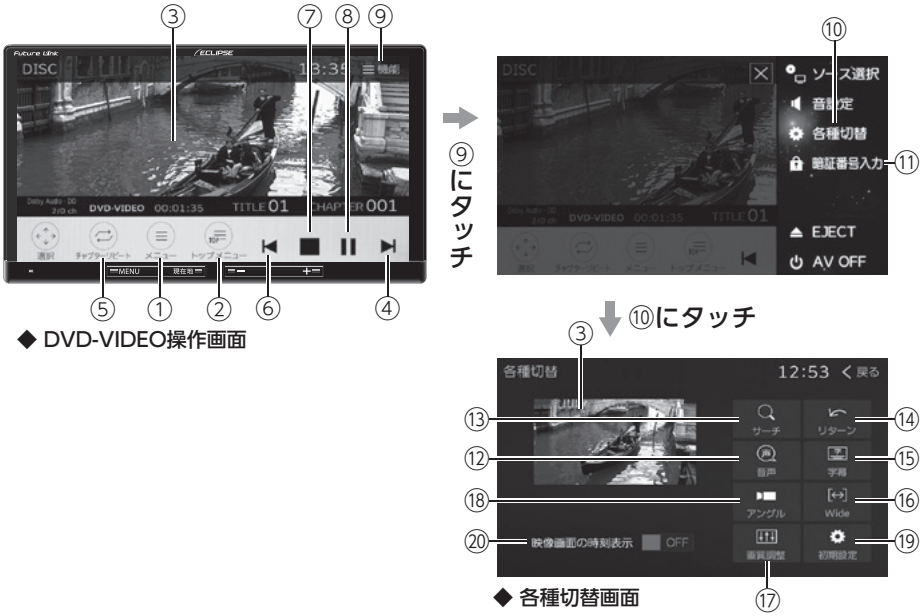
操作手順

MENU ➡ MUSIC JUKE ➡
☰機能 ➡ ライブラリ編集 ➡
SDカード容量の確認

05 DVD を見る

操作画面（VIDEOモード）

DISC操作画面を表示（→P.18）



◆ DVD-VIDEO操作画面

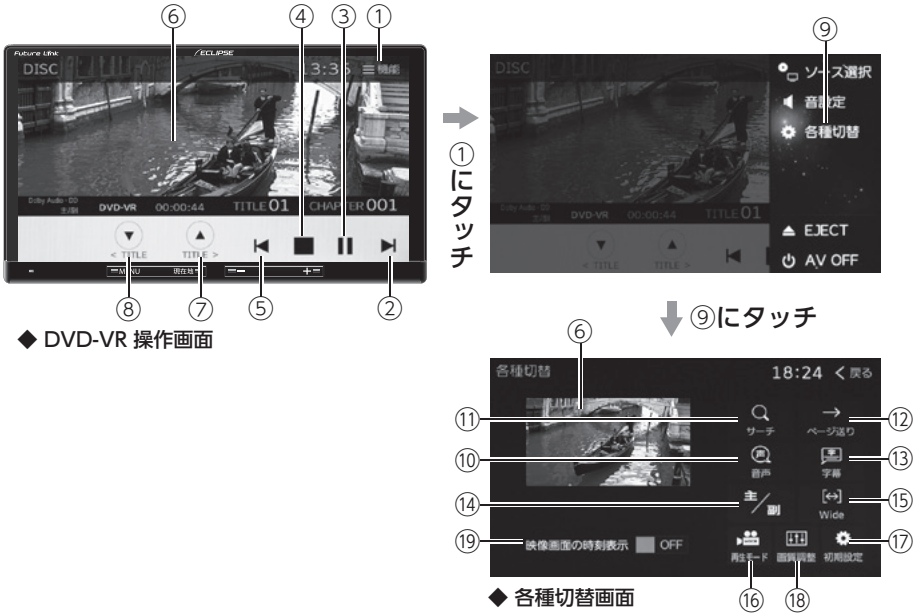
◆ 各種切替画面

番号	機能
①	ディスクメニュー画面を表示
②	・ ディスクのメニューを表示 ・ ディスクメニューの操作スイッチが表示されない場合は、**選択** にタッチ ・ 一部のメニューはアイコンに直接タッチして操作できます。
③	全画面の映像を表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 　・ **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない 　・ **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
④	・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ ”と音がするまで押すと、映像を早送り ・ 一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
⑤	・ 再生中のチャプターをリピート再生 ・ もう一度タッチすると、リピート再生を解除
⑥	・ チャプターを頭出し ・ 連続してタッチすると、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ ”と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑦	ディスクの再生を停止

番号	機能
⑧	ディスクの再生を一時停止
	ディスクを再生
⑨	オーディオメニュー画面を表示
⑩	各種切替画面を表示
⑪	視聴制限レベルを設定（→P.44）しており、視聴制限が設定されているディスクを再生しようとした場合に表示 ・ 設定した暗証番号を入力すると、ディスクを再生できます。
⑫	ディスクに複数の音声が収録されている場合、音声を切り替えて再生 ・ **音声切替**：タッチするごとに音声を切り替える
⑬	タイトル番号を指定して、ディスクを再生
⑭	ディスクのあらかじめ決められた位置から再生
⑮	ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示 ・ **字幕切替**：タッチするごとに字幕言語を切り替える ・ **字幕消し**：字幕を消す
⑯	画面サイズを切り替え ・ **Normal**：両端を黒く表示 ・ **Wide1**：画面のサイズに合わせて拡大して表示 ・ **Wide2**：上下左右に均等に拡大して表示（上下方向の映像が切れる場合があります） ・ ディスクやパッケージに次のマークが表示されている場合、画面サイズを切り替えることができます。 　・ **16:9** **LB**：ワイド画面 　・ **4:3**：標準画面
⑰	画質調整画面を表示（→P.28）
⑱	・ ディスクに複数のアングルが収録されている場合、アングルを切り替えて表示 ・ マルチアングルマークの表示を【ON】に設定（→P.44）した場合、アングルが切り替え可能な場合に が表示されます。 ・ **アングル切替**：タッチするごとにアングルを切り替える
⑲	DVDの初期設定を変更（→P.44）
⑳	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え

操作画面（VRモード）

DISC操作画面を表示（→P.18）



◆ DVD-VR 操作画面

◆ 各種切替画面

番号	機能
①	オーディオメニュー画面を表示
②	・ 次のチャプターに切り替え ・ “ピッ ”と音がするまでタッチすると、映像を早送り ・ 一時停止中にタッチし続けると、スローで再生
③	ディスクの再生を一時停止
	ディスクを再生
④	ディスクの再生を停止
⑤	・ チャプターを頭出し ・ 連続してタッチすると、前のチャプターに切り替え ・ “ピッ ”と音がするまでタッチすると、映像を早戻し
⑥	全画面の映像を表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 ・ **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない ・ **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
⑦	次のプログラム（プレイリスト※）に切り替え

番号	機能
⑧	・ プログラム（プレイリスト※）の頭出し ・ 連続してタッチすると、前のプログラム（プレイリスト※）に切り替え
⑨	各種切替画面を表示
⑩	ディスクに複数の音声が収録されている場合、音声を切り替えて再生 ・ **音声切替**：タッチするごとに音声を切り替える
⑪	タイトル番号を指定して、ディスクを再生
⑫	静止画が収録されているディスクの場合、タッチするごとに静止画が切り替わる
⑬	ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示 ・ **字幕切替**：タッチするごとに字幕言語を切り替える
⑭	音声多重放送の場合、タッチするごとに主音声→副音声→主/副→主音声の順に切り替える
⑮	画面サイズを切り替え ・ **Normal**：両端を黒く表示 ・ **Wide1**：画面のサイズに合わせて拡大して表示 ・ **Wide2**：上下左右に均等に拡大して表示（上下方向の映像が切れる場合があります）
⑯	再生モードを切り替え ・ **プレイリスト**：プレイリストを再生 ・ **プログラム**：プログラムを再生
⑰	DVDの初期設定を変更（→P.44）
⑱	画質調整画面を表示（→P.28）
⑲	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え

※ プレイリストを切り替える場合、再生モードを【プレイリスト】に設定します。（→P.101）

ワンポイント

● ディスクの収録内容によっては表示されない機能や、操作できない機能があります。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、次のコード番号から選択できます。

コード	言語名称
1001	日本語
514	英語
618	フランス語
405	ドイツ語
920	イタリア語
519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
512	ギリシャ語
101	アファル語
102	アブハジャ語
106	アフリカーンス語
113	アムハラ語
118	アラビア語
119	アッサム語
125	アイマラ語
126	アゼルバイジャン語
201	バシキール語
205	ベラルーシ語
207	ブルガリア語
208	ビハーリー語
209	ビスラマ語
214	ベンガル語
215	チベット語
218	ブルトン語
301	カタロニア語
315	コルシカ語
319	チェコ語
325	ウェールズ語
401	デンマーク語
426	ブータン語
515	エスペラント語

コード	言語名称
520	エストニア語
521	バスク語
601	ペルシア語
609	フィンランド語
610	フィジー語
615	フェロー語
625	フリジア語
701	アイルランド語
704	スコットランドゲール語
712	ガルシア語
714	グアラニ語
721	グジャラート語
801	ハウサ語
809	ヒンディー語
818	クロアチア語
821	ハンガリー語
825	アルメニア語
901	国際語
905	Interlingue
911	イヌピアック語
914	インドネシア語
919	アイスランド語
923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語

コード	言語名称
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語

コード	言語名称
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

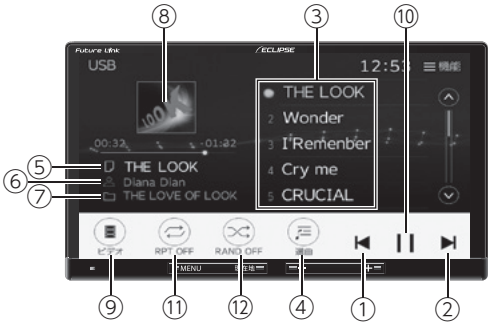
06 USBメモリの音楽を聞く／動画を見る

⚠重要

- USBメモリを取りはずすときは、オーディオソースをUSB以外に変更してください。
  USBメモリのデータが破損するおそれがあります。

操作画面（音楽）

USB操作画面を表示（→P.18）



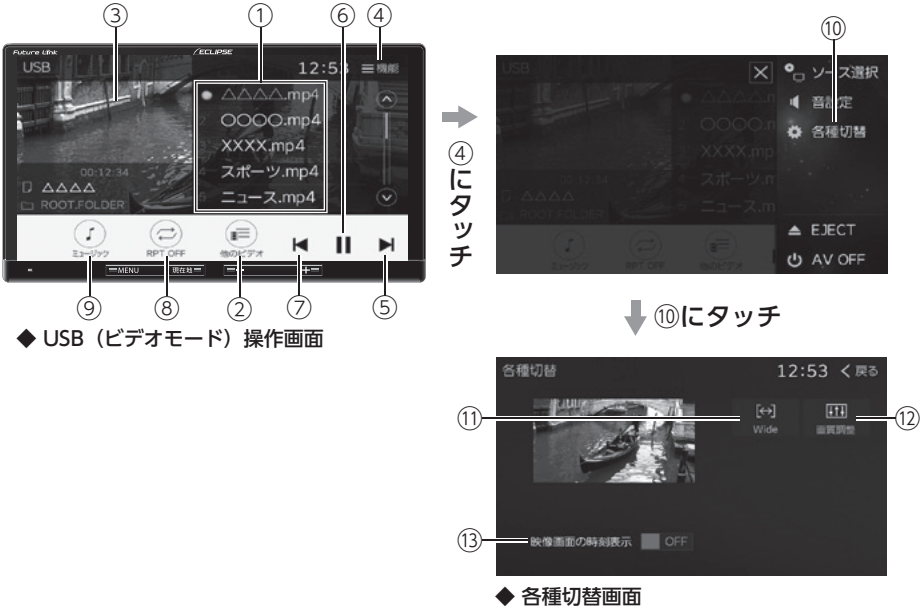
◆USB（ミュージックモード）操作画面

番号	機能
①	・ ファイル（曲）を頭出し ・ 連続してタッチすると、前のファイル（曲）に切り替え ・ タッチし続けると、ファイル（曲）を早戻し
②	・ 次のファイル（曲）に切り替え ・ タッチし続けると、ファイル（曲）を早送り
③	ファイル（曲）を選択
④	フォルダ（アルバム）リストを表示
⑤	ファイル名/曲名※を表示
⑥	アーティスト名※を表示
⑦	フォルダ名/アルバム名※を表示
⑧	カバーアートが収録されている場合に表示
⑨	USB（ビデオモード）操作画面（→P.104）を表示
⑩	ファイル（曲）の再生を一時停止
	ファイル（曲）を再生
⑪	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイル（曲）をリピート再生→再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をリピート再生→リピート再生を解除
⑫	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のフォルダ（アルバム）内の全ファイル（曲）をランダム再生→全ファイル（曲）をランダム再生→ランダム再生を解除

※ タグ情報がある場合のみ曲名が表示されます。

操作画面（動画）

USB操作画面を表示（→P.18）



◆ USB（ビデオモード）操作画面

◆ 各種切替画面

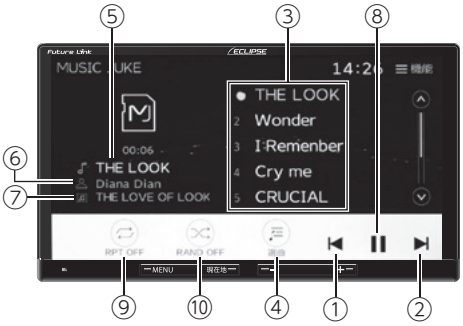
番号	機能
①	ファイルを選択
②	フォルダリストを表示
③	全画面の映像を表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 ・ **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない ・ **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
④	オーディオメニュー画面を表示
⑤	・ 次のファイルに切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り
⑥	ファイルの再生を一時停止 ファイルを再生

番号	機能
⑦	・ ファイルを頭出し ・ 連続してタッチすると、前のファイルに切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早戻し
⑧	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑨	USB（ミュージックモード）操作画面（→P.103）を表示
⑩	各種切替画面を表示
⑪	画面サイズを切り替え ・ **Normal**：両端を黒く表示 ・ **Wide1**：画面のサイズに合わせて拡大して表示 ・ **Wide2**：上下左右に均等に拡大して表示（上下方向の映像が切れる場合があります）
⑫	画質調整画面を表示（→P.28）
⑬	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え

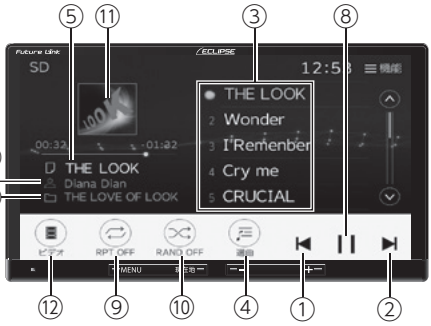
07 SDカードの音楽を聞く／動画を見る

操作画面（音楽）

MUSIC JUKE操作画面を表示（→P.18）　SD操作画面を表示（→P.18）



◆MUSIC JUKE操作画面



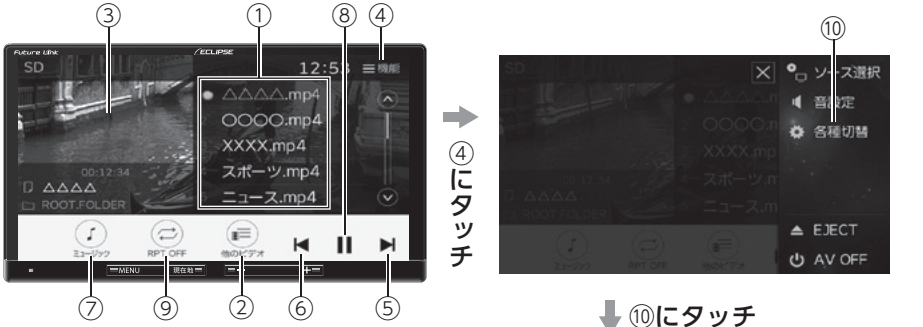
◆ SD（ミュージックモード）操作画面

番号	機能
①	・ 曲/ファイルを頭出し ・ 連続してタッチすると、前の曲/ファイルに切り替え ・ タッチし続けると、曲/ファイルを早戻し
②	・ 次の曲に切り替え ・ タッチし続けると、曲を早送り
③	曲/ファイル※1を選択
④	フォルダ/アルバム※1リストを表示
⑤	ファイル名/曲名※2
⑥	アーティスト名※1を表示
⑦	フォルダ名/アルバム名※1を表示
⑧	曲/ファイルの再生を一時停止
	曲/ファイルを再生
⑨	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲/ファイルをリピート再生→再生中のアルバム/フォルダ内の全曲/ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム/フォルダ内の全曲/ファイルをランダム再生→全曲/ファイルをランダム再生→ランダム再生を解除
⑪	カバーアートが収録されている場合に表示（SD（ミュージックモード）のみ）
⑫	SD（ビデオモード）操作画面（→P.106）を表示（SD（ミュージックモード）のみ）

※1　SD（ミュージックモード）の場合、フォルダモード時の操作で説明しています。
アルバムモードやアーティストモード時、タグ情報がある場合のみアルバム名や曲名が表示されます。
※2　SD（ミュージックモード）の場合、曲/ファイルにタグ情報があると、表示されます。

操作画面（動画）

SD操作画面を表示（→P.18）



◆ SD（ビデオモード）操作画面

◆ 各種切替画面

番号	機能
①	ファイルを選択
②	フォルダリストを表示
③	全画面の映像を表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 ・ **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない ・ **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
④	オーディオメニュー画面を表示
⑤	・ 次のファイルに切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早送り
⑥	・ ファイルを頭出し ・ 連続してタッチすると、前のファイルに切り替え ・ タッチし続けると、ファイルを早戻し
⑦	SD（ミュージックモード）操作画面（→P.105）を表示

番号	機能
⑧	ファイルの再生を一時停止
	ファイルを再生
⑨	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイルをリピート再生→再生中のフォルダ内の全ファイルをリピート再生→リピート再生を解除
⑩	各種切替画面を表示
⑪	画面サイズを切り替え ・ **Normal**：両端を黒く表示 ・ **Wide1**：画面のサイズに合わせて拡大して表示 ・ **Wide2**：上下左右に均等に拡大して表示（上下方向の映像が切れる場合があります）
⑫	画質調整画面を表示（→P.28）
⑬	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え

08 テレビを見る

緊急警報放送（EWS）を受信した場合は

EWS（Emergency Warning System）とは、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。

緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があった場合に放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。**OK** 、または **視聴する** にタッチすると緊急警報放送をご覧いただけます。

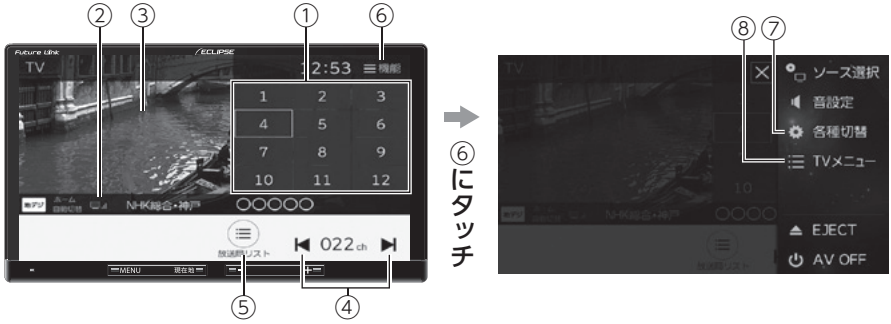
こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

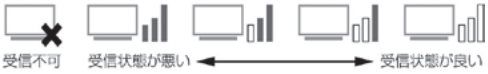
メッセージ	原因	処置
放送を受信できません	デジタルテレビの受信エリア外にいるため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン（→P.42）、またはプリセットモードの切り替え（→P.110）をしてください。
受信制御データが設定されていません しばらくお待ちください [EC21]	放送局より送信された情報を更新できていないため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動し、30秒ほどお待ちください。
このチャンネルは視聴できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください [EC22]	放送局より送信された情報を更新できないため。	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。

テレビを見る

TV操作画面を表示（→P.18）



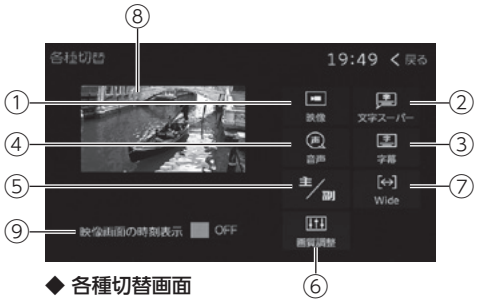
◆TV操作画面

番号	機能
①	受信した放送局を表示
②	
③	・ 映像を全画面で表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 ・ **OK**：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない ・ **次回表示しない**：次回からこのメッセージを表示しない
④	放送局を切り替え
⑤	放送局リスト画面を表示（→P.111）
⑥	オーディオメニュー画面を表示
⑦	各種切替画面を表示（→P.109）
⑧	TVメニュー画面を表示（→P.110）

各種切替画面を操作する

操作手順

MENU ➡ TV ➡ 三機能 ➡ 各種切替



◆ 各種切替画面

● 次の項目を設定できます。

番号	機能
①	マルチビュー放送で複数の映像が提供された場合、タッチするごとに、映像を切り替え
②	放送中の番組が文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→OFFの順に切り替え
③※	放送中の番組が字幕を提供している場合、タッチするごとに、日本語→英語→字幕OFFの順に切り替え
④	放送中の番組が複数の音声を提供している場合、タッチするごとに、音声を切り替え
⑤	タッチするごとに、主→副→主／副の順に切り替え
⑥	画質調整画面を表示（→P.28）
⑦	画面サイズを切り替え ・ Normal ：映像を16：9で表示 ・ Wide ：画面のサイズに合わせて拡大して表示
⑧	映像を全画面で表示 ・ 初めて全画面表示にしたときは、メッセージが表示されます。 ・ OK ：本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない ・ 次回表示しない ：次回からこのメッセージを表示しない
⑨	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え

※ 副、または主／副を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

TVメニュー画面を操作する

操作手順

MENU ➡ TV ➡ 三機能 ➡ TVメニュー

◆ TVメニュー画面

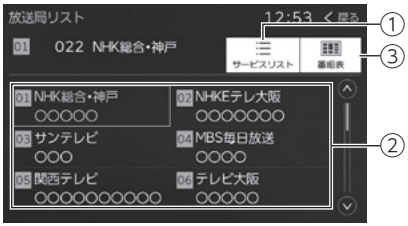
番号	機能
①	地デジの受信モードを設定 ・ **自動切替**：地上デジタルTV放送が受信できない状態になると、自動でワンセグ放送に切り替え（受信可能になると、再び地上デジタルTV放送に切り替わります。） ・ **地デジ**：常に地上デジタルTV放送を受信 ・ **ワンセグ**：常にワンセグ放送を受信
②	現在受信している放送局が受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定 ・ **系列局＋中継局**：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探す。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ **中継局**：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局のみを探し、受信するとプリセットスイッチのチャンネルを更新 ・ **OFF**：系列局や中継局はサーチしない
③	プリセットモードを切り替え ・ **ホーム**：ホームプリセットで記憶した放送局（→P.42）を表示（普段ご覧になる場合は、このモードを使用してください。） ・ **トラベル**：一時的にプリセットスイッチに放送局を記憶（旅先などで一時的に使用する場合に便利です。自宅に戻られた際は **ホーム** に設定を変更します。） ・ **エリア**：今いる地域の放送局をプリセットスイッチに表示（移動中などで今いる地域の放送局が分からない場合に使用すると便利です。）
④	③で **トラベル** を選択した場合、タッチすると、自動で選局を開始
⑤	ホームプリセット設定の変更（→P.42）
⑥	地上デジタルTVを受信するためのIDを表示

番組を選ぶ

番組はプリセットスイッチ以外にも次の方法で選ぶことができます。

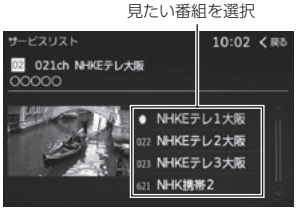
操作手順

MENU ➡ TV ➡ 放送局リスト ➡ 放送局を選択



◆ 放送局リスト画面

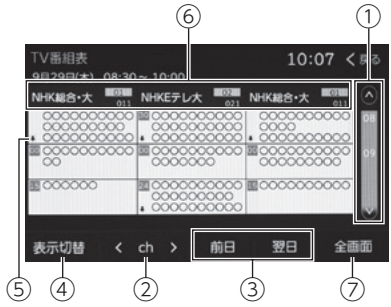
● 放送局リスト画面で次の操作ができます。

番号	機能
①	選択している放送局のサービスリストを表示 
②	選択した放送局に切り替え
③	EPG(電子番組表)を表示（→P.111） ・ 見たい番組を選択し **チャンネル切替** にタッチすると、選択した番組に切り替わります。

ワンポイント

●放送局リストに表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

番組表画面を操作する



● 次の操作ができます。

番号	機能
①	番組表の時間帯を切り替え
②	他のチャンネルの番組表に切り替え
③	番組表の日付を切り替え
④	番組表の表示を切り替え
⑤※	すべての番組表を表示
⑥	選択した放送局を選局し、番組情報を取得後、番組の一覧を更新
⑦	映像を全画面で表示

※ 1時間枠内に3番組以上の番組がある場合に表示されます。

09 iPodの音楽を聞く

iPodについて

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生できます。

⚠重要

- 音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodからケーブルのコネクタを取りはずさないでください。
- 車内の直射日光の当たるところにApple純正ケーブルを長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障するおそれがあります。

操作の前に

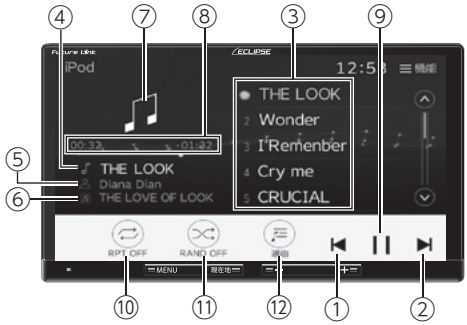
- iPodを接続する場合は、別売の「USB接続コード」をお買い求めください。
- iPodを取りはずすときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはオーディオソースをiPod以外に切り替えてください。
- Apple純正ケーブルを使用してください。
- 対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）

ワンポイント

- 写真表示、ビデオ映像表示には対応していません。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- iTunes Radioに対応していますが、iPod/iPhone本体と異なる動作になる場合があります。
- iTunes Uに対応していますが、iPod/iPhone本体と異なる動作になる場合があります。
- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後は、必ずiPodを取りはずしてください。iPodを接続したままにすると、iPodの電源が切れず、iPodのバッテリーを消費する場合があります。
- 音楽の再生中にiPod本体を操作すると、iPod本体とは動作が異なる場合があります。

操作画面

iPod操作画面を表示（→P.18）



◆iPod操作画面

番号	機能
①	・ ファイル（曲）を頭出し ・ 連続してタッチすると、前のファイル（曲）に切り替え ・ タッチし続けると、ファイル（曲）を早戻し
②	・ 次のファイル（曲）に切り替え ・ タッチし続けると、ファイル（曲）を早送り
③	ファイル（曲）を選択
④	ファイル（曲）名を表示
⑤	アーティスト名を表示
⑥	アルバム名を表示
⑦	カバーアートが収録されている場合に表示
⑧	再生時間および残り時間を表示
⑨	ファイル（曲）の再生を一時停止
	ファイル（曲）を再生
⑩	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中のファイル（曲）をリピート再生→ファイル（曲）リスト内のファイル（曲）をリピート再生
⑪	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全ファイル（曲）をランダム再生→全ファイル（曲）をランダム再生→ ランダム再生を解除
⑫	選曲リストを表示

ワンポイント

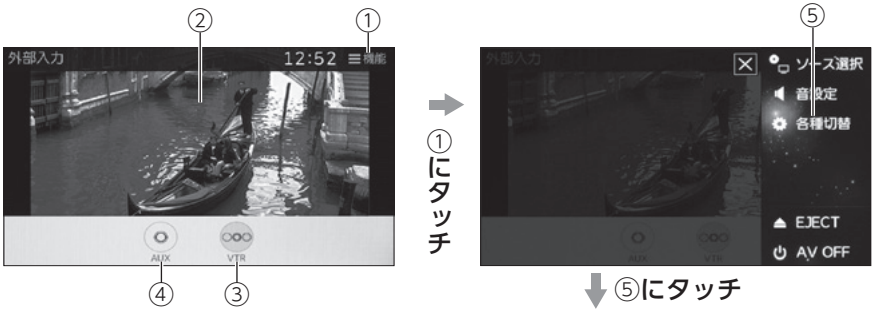
- iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、異なる動作をする場合があります。

10 AUXを聞く/VTRを見る(外部入力)

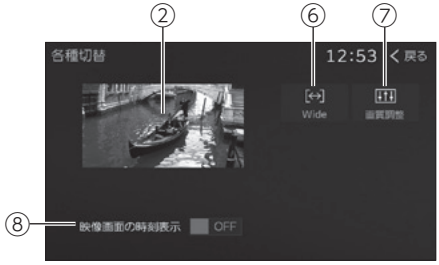
外部入力操作画面を表示（→P.18）
VTR機器を接続して映像を見たり、ポータブルオーディオ機器をAUX入力（RCA）端子に接続して音楽を再生することができます。

操作の前に

- 外部入力機器を接続するには別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- 外部機器を接続/取りはずすときは、次のことを確認してください。
  - 外部機器の電源が切れていること
  - オーディオソースが外部入力以外になっていること



◆ 外部入力操作画面



◆ 各種切替画面

番号	機能
①	オーディオメニュー画面を表示
②	全画面の映像を表示（VTRのみ）
③	VTR画面を表示
④	AUX画面を表示
⑤	各種切替画面を切り替え（VTRのみ）
⑥	画面サイズを切り替え（VTRのみ） ・ Normal：両端を黒く表示 ・ Wide1：画面のサイズに合わせて拡大して表示 ・ Wide2：上下左右に均等に拡大して表示（上下方向の映像が切れる場合があります）
⑦	画質調整画面を表示（→P.28）（VTRのみ）
⑧	映像画面の時刻表示のON/OFFを切り替え（VTRのみ）

ワンポイント

- 接続されたポータブルオーディオによって音量レベルが異なります。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。車に装着されているシガーライターソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

11 Bluetooth® オーディオを聞く

Bluetooth®機器を接続する

本機から接続する

接続方法を【車載機から】に設定した場合（→P.50）、本機を操作して接続します。

操作手順

MENU ➡ Bluetooth Audio ➡ 接続するにタッチ

▼

Bluetooth機器を接続可能な状態にする ➡ 接続したいBluetooth機器名称を選択 ➡ 接続方法を選択

Bluetooth機器から接続する

接続方法を【Bluetooth機器から】に設定した場合（→P.50）、Bluetooth機器を操作して接続します。

操作手順

MENU ➡ Bluetooth Audio ➡ 接続するにタッチ

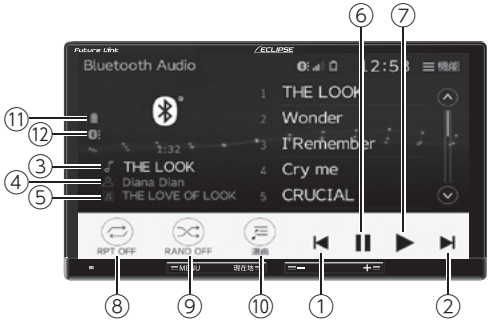
▼

Bluetooth機器を接続可能な状態にする ➡ 接続したいBluetooth機器名称を選択 ➡ 接続方法を選択

- Bluetooth機器の操作は機器接続中画面の表示中に行ってください。

操作画面

Bluetooth Audio操作画面を表示（→P.18）



◆Bluetooth Audio操作画面

番号	機能
①	・ 曲を頭出し ・ 連続してタッチすると、前の曲に切り替え ・ タッチし続けると、曲を早戻し
②	・ 次の曲に切り替え ・ タッチし続けると、曲を早送り
③	曲名を表示
④	アーティスト名を表示
⑤	アルバム名を表示
⑥	曲の再生を一時停止
⑦	曲を再生
⑧	タッチするごとに、リピート再生を次のように変更 再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバム内の全曲をリピート再生→リピート再生を解除
⑨	タッチするごとに、ランダム再生を次のように変更 再生中のアルバム内の全曲をランダム再生→全曲をランダム再生→ランダム再生を解除
⑩	曲を選択
⑪	Bluetooth機器の電池残量を表示
⑫	Bluetooth機器の接続状態を表示

ワンポイント

- Bluetooth機器に収録されている音楽ファイル構成やソフトウェアバージョンにより、画面の表示や動作が異なる場合があります。

01 ハンズフリー接続する

ハンズフリーについて

操作の前に

- 同梱の「マイク＆スイッチ」が接続されていないと通話することができません。

ワンポイント

- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してください。
- 携帯電話の三者通話を契約している場合は、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。
- 本機は、割り込み通話には対応していません。

表示されるアイコンについて

番号	内容
①	Bluetooth機器の接続状態 未接続　不安定　良好
②	受信レベル 圏外　弱　強
③	電池残量 無　少　多

電話帳データについて

携帯電話1台につき、2500名分のデータを登録できます。

ワンポイント

- 本機と接続している携帯電話の電話帳のみ表示できます。
- 電話帳は、1名につき最大4件の電話番号が登録できます。

携帯電話の電話帳データ転送について

携帯電話に登録されている電話帳データを、本機に転送できます。

操作の前に

- 転送する場合はバッテリー上がり防止のため、エンジンスイッチをONにした状態で行ってください。

ワンポイント

- 電話帳データを転送するときは、次のような制限があります。
  - 1名につき、5件以上の電話番号を登録していると、本機の電話帳に同じ名称で4件ずつに分けて登録されます。
  - 名称・名称読みは機種によって、転送されないことや、正しく表示されないことがあります。
  - シークレットメモリは転送されませんが、機種によっては転送される場合があります。
  - 携帯電話に登録しているグループ名は転送されません。
  - 本機に表示される電話帳アイコンは携帯電話の情報を基に自動で付与されます。携帯電話の機種や使用環境によっては、すべて同じアイコンが表示されることがあります。
  - 機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、次のような特徴があります。
  - 転送には10分程度かかる場合があります。
  - 電話帳データ転送画面が表示されている場合でも他画面に切り替えることができます。

手動で接続する

携帯電話との自動接続に失敗した場合や自動接続を【しない】に設定（→P.51）したときは手動で接続してください。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ 無線通信 ➡ Bluetooth 機器登録・接続 ➡ **携帯電話を接続可能な状態にする** ➡ **接続したい携帯電話の名称を選択** ➡ **接続する機能を選択**

02 電話帳データを転送する

電話帳/履歴データの転送方法を設定する

PBAPに対応した携帯電話で、電話帳/履歴自動転送を【する】に設定した場合、エンジンスイッチをACC、またはON にし、初めて携帯電話がBluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth接続されたときに、携帯電話の電話帳データを自動で転送します。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 電話帳/履歴自動転送のする/しないを選択

PBAPに対応している携帯電話の場合

自動で転送する

- 次の場合、自動で転送します。
  - ・電話帳/履歴自動転送を【する】に設定
  - ・初めて携帯電話をBluetooth接続したとき
  - ・使用する携帯電話を切り替えたとき

  転送失敗画面が表示されたら次の手順で再度転送してください。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 電話帳の更新(上書き)

手動で転送する

- 次の場合、手動で転送します。
  - ・電話帳/履歴自動転送を【しない】に設定

操作の前に

- PBAPとOPPの両方に対応している電話機のみ手動で転送できます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 電話機からの電話帳転送 ➡ 上書き 、または 追加

- 上書き：現在のデータに上書き
- 追加：現在のデータに追加

▼

機器により、携帯電話を操作して電話帳データを転送

OPPに対応している携帯電話の場合

初めて手動で転送する場合

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 転送する ➡ 機器により、携帯電話を操作して電話帳データを転送

すでに電話帳データが転送されている場合

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 電話機からの電話帳転送

- 上書き：現在のデータに上書き
- 追加：現在のデータに追加

▼

機器により、携帯電話を操作して電話帳データを転送

03 電話帳・履歴データを編集する

次の機能はPBAPに対応している携帯電話では編集できません。事前に「電話帳/履歴自動転送」を【しない】に設定してください。
(→P.120)

- 電話帳データを入力する
- 電話帳データを編集する
- 電話帳データを削除する
- 履歴データから登録する
- 履歴データを削除する

操作の前に

- 「電話帳/履歴自動転送」を【しない】に設定して編集した場合、再度【する】に設定すると、本機で編集したデータは削除され、携帯電話のデータで上書きします。

電話帳データを入力する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

- 次の項目を登録できます。
  - 名称
  - 名称読み
  - 電話番号（最大4件）
  - アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡
設定 ➡ 電話帳の 新規登録 ➡
名称を入力 ➡ 完了
▼
名称読みを入力 ➡ 完了
▼
電話番号を入力 ➡ 完了
▼
アイコンを選択

- 追加する：さらに電話番号を追加する場合
- キャンセル：編集を完了させる場合

電話帳データを編集する

本機の電話帳に登録済みのデータを編集できます。

- 次の項目を登録できます。
  - 名称
  - 名称読み
  - 電話番号
  - アイコン

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡
設定 ➡ 電話帳の 編集 ➡
修正するデータを選択

電話帳データを削除する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡
設定 ➡ 電話帳の 削除 ➡
削除したいデータを選択 ➡
削除する ➡ 削除する

履歴データから登録する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 履歴 ➡ 登録したい履歴を選択

- 新規登録：電話帳に新規データを追加
- 追加登録：電話帳リスト画面から追加する電話帳を選択

履歴データを削除する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ 履歴の 削除 ➡ 削除したいデータを選択 ➡ 削除する ➡ 削除する

お気に入りを登録する

よく利用する電話帳をお気に入りに登録すると、走行中も簡単に電話をかけることができます。お気に入りは18件まで登録できます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ お気に入りの 登録 ➡ 登録したいデータを選択 ➡ 登録したいスイッチを選択

お気に入りを削除する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 設定 ➡ お気に入りの 削除 ➡ 削除したいお気に入りを選択 ➡ 削除する ➡ 削除する

04 電話をかける・切る・受ける

電話をかける

本書では例として電話帳からかける方法を記載しています。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 電話 ➡ 電話帳

▼

通話相手を選択 ➡ 電話番号を選択

● 次の方法でも電話をかけることができます。

スイッチ	機能
キーパッド	電話番号を入力して電話をかける
お気に入り	お気に入りから電話をかける
履歴	発信/着信履歴から電話をかける

電話を切る

操作手順

にタッチ、またはマイク&スイッチのスイッチを長押し

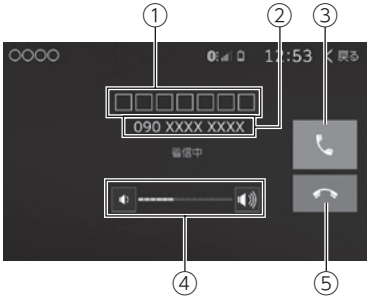
電話を受ける

操作手順

にタッチ、またはマイク&スイッチのスイッチを長押し

05 着信中・通話中画面

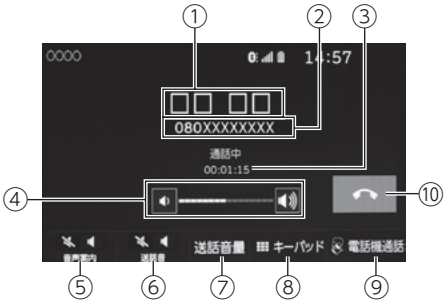
操作画面（着信中）



◆着信中画面

番号	機能
①	アドレス帳に登録されている名称を表示
②	着信相手の電話番号を表示
③	・ 電話を受ける ・ 応答保留中にタッチすると、解除して電話を受ける
④	着信音の音量を調整
⑤	・ 短押し：応答保留に対応している携帯電話の場合、応答保留にする （応答保留中にもう一度タッチすると電話を切る） ・ 長押し：着信拒否に対応している携帯電話の場合、着信拒否する

操作画面（通話中）



◆通話中画面

番号	機能
①	アドレス帳に登録されている名称を表示
②	通話相手の電話番号を表示
③	通話時間を表示
④	通話相手から聞こえる音量を調整
⑤	ナビの音声案内を聞こえないようにする
⑥	通話相手に聞こえないようにする
⑦	通話相手に聞こえる音量を調整
⑧	通話中にテンキー入力が必要な場合にキーパッドを表示
⑨	本機と携帯電話間で通話を転送
⑩	通話を終了

01 バックアイカメラを使う

バックアイカメラ

バックアイカメラについて

⚠ 注 意

- バックアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- ディスプレイだけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。十分にご注意ください。

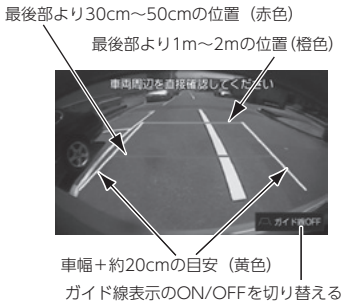
⚠ 重 要

- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映します。

ガイド線の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。
バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。



カメラ機能拡張BOXについて

別売のカメラ機能拡張BOXを接続した場合、バックアイカメラの映像に加えて次の機能が使用できます。

＜障害物検知機能＞
バックギアにシフトすると、車両後方にある静止物や移動物を検知し、ドライバーにお知らせします。

＜視点変換機能＞
カメラ映像の視点を切り替えることができます。

＜進行方向予測線機能＞
後退中に車両の進む方向の予測線を表示します。

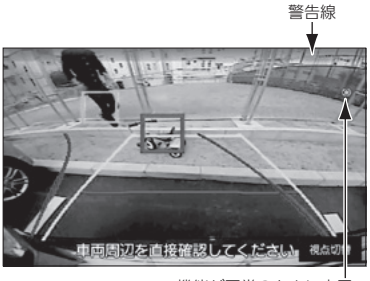
障害物検知機能について

静止物や移動物を検知すると、対象物に枠を付けて表示されます。枠は検知した距離に応じて色が変わります。

- バックアイカメラ取り付け位置からの距離2m ～ 10m：緑色
- バックアイカメラ取り付け位置からの距離0m ～ 2m：赤色

※ 距離はあくまで目安です。

バックアイカメラ取り付け位置から2m以内で検知した場合は、画面上部に警告線が点滅し、検知音が鳴ります。



視点変換機能について

ディスプレイに表示する映像を、上から見た表示に切り替えることができます。

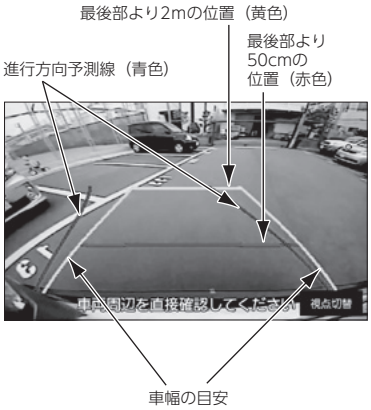
操作手順

カメラ映像を表示中に 視点切替

- タッチするごとに表示が切り替わります。

進行方向予測線機能について

バックギアにシフトし、後退し始めると表示が始まります。自車の動きを推定し、進行方向を青線で表示します。車両停止後、約5秒後に表示が消えます。



※ 距離はあくまで目安です。

02 フロントアイカメラを使う

フロントアイカメラ

フロントアイカメラについて

⚠ 注 意

- フロントアイカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。必ず前方および周囲の安全を十分確認してください。

⚠ 重 要

- 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

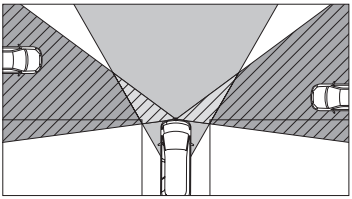
別売のフロントアイカメラを装着した場合、ディスプレイに車の左右の映像を映します。

見通しの悪い交差点や丁字路等でも、車の先端部に取り付けられたカメラで状況を確認でき、安全な運転をサポートします。

フロントアイカメラの映像は次の方法で表示できます。

・低速走行時にスイッチ操作で表示
・高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示

◆フロントアイカメラの映像



運転手からの視野範囲
フロントアイカメラによる視野範囲
（視野範囲は車や取り付け位置によって異なります）

フロントアイカメラの表示について

低速走行時に手動、または自動で表示できます。

- 自動表示および解除条件は次のようになります。
  ・自動表示条件：車速が15km/h以上から13km/h以下になったとき
  ・自動解除条件：車速が10km/h以上になったとき

⚠ 重 要

- 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示できます。

手動で表示する

操作手順

現在地 を長押し

03 ETC を使う

ETCについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

操作の前に

- ETCシステムを使用するには、別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続し、ETCカードを差し込んでください。ETCカードについては、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

履歴を表示する

ETC車載器に挿入しているETCカードの利用履歴を表示できます。

⚠警 告

- 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ETC ➡ 履歴情報表示

- 更新：最も新しい履歴を表示
- ⓘ：履歴の内容を表示

登録情報を表示する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ETC ➡ 登録情報表示

- 統一エラーコードは、最後に表示されたコードが表示されたままになります。統一エラーコードについては別売のナビゲーション対応のETC車載器に同梱の取扱説明書をご覧ください。

04 ETC2.0 サービスを使う

ETC2.0サービスについて

ETC2.0サービスは、従来のETCシステム（→P.129）に加え、高速道路に設置されたDSRC路側アンテナとETC2.0（DSRC）ユニットが双方向通信を行うことにより、道路上の渋滞や事故、合流などの情報をリアルタイムで提供するサービスです。
サービスをご利用いただくためには、別売のETC2.0（DSRC）ユニットが必要です。

※ 今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。

長文読上げ情報

ハイウェイラジオの長文読上げ情報を受信した場合、音声でお知らせします。

ワンポイント

- 読上げ情報は、1回読上げると終了します。
- もう一度読上げ情報を聞く場合は、**「割込情報を呼び出す」**（→P.131）をご覧ください。
- 現在地 を押すと、現在地画面を表示させた状態で、読上げ情報を聞くことができます。

割込情報について

VICS 文字情報・図形情報以外の割込情報を受信できます。

ワンポイント

- 割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整できます。（→P.31）

施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

電子標識情報

標識の画像を表示して、自動車専用道路に入ったことを知らせます。

ビーコンについて

別売のETC2.0（DSRC）ユニットのビーコンアンテナで、FM多重放送に加え電波ビーコンと光ビーコンの情報を受信できます。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮したルート探索が可能です。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

割込情報(ビーコン即時案内)を表示する

ビーコンからVICS 情報が受信された場合、VICS 文字情報、または図形情報が自動で表示されます。

操作の前に

- ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信された場合は、割込情報が表示されます。

操作手順

∧ 、または ∨ にタッチして、割込情報を切り替える

- **文字**：文字情報に切り替え
- **図形**：図形情報に切り替え
- **×**：割り込み情報表示を解除

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を【OFF】に設定した場合、受信された割込情報を手動で表示できます。

操作の前に

- 提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示できません。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ETC2.0/VICS ➡ ETC2.0呼び出しの 割込情報 ➡ ∧ 、または ∨ にタッチして、割込情報を切り替える

- **文字**：文字情報に切り替え
- **図形**：図形情報に切り替え
- **解除**：割込表示を解除(ビーコン受信時のみ)
- **表示情報**：ETC2.0呼び出しの表示情報に切り替え
- **読上げ情報**：ETC2.0読上げ情報に切り替え

05 ドライブレコーダーを使う

ドライブレコーダーについて

本機は、ドライブレコーダーのさまざまな機能を利用できます。
本機能は、AVN-D10/AVN-D10Wのみ対応しています。

<イベント保護機能>
衝撃を感知した場合、またはマイク＆スイッチのスイッチを押したタイミングで録画映像をドライブレコーダー用SDに保護します。

<再生機能>
ドライブレコーダー用SDに記録された映像を本機で再生することができます。
本機能は走行中の映像、音声、本機からの位置情報などをドライブレコーダー用SDに録画します。
専用のパソコン用ビューアーソフトでは、映像、音声を再生すると共に、Googleマップとの連携により、走行位置を確認することができます。また、Wi-Fi接続に対応したスマートフォン用ビューアーアプリ (DR Viewer A) と連携すると、録画した映像をスマートフォンで確認することができます。(→P.137)

操作の前に

- マイク＆スイッチが接続されていないと、音声の録音ができません。

お使いになる前に

- 本機能は常時録画型の映像を録画する装置ですが、全ての状況において映像を録画することを保証したものではありません。映像を15件（衝撃検知：10件／スイッチ操作5件）まで保護できますが、全ての状況において映像を保護できることを保証したものではありません。以下の場合などは、映像の録画ができないことがあります。

① 本機にドライブレコーダー用SDを挿入していない場合
② 同梱または別売のドライブレコーダー用SD以外を使用した場合
③ 録画した古い映像が、新しい録画によって上書きされてしまった場合
④ 大きな事故や水没などで本機やドライブレコーダー用SDが損傷を受けた場合
⑤ 次の場合では、衝撃の検知による映像の保護ができない場合があります。
  - 大きな事故などで、バッテリーと本機間の電源コードが断線した場合
  - バッテリーが損傷を受けた場合
  - 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合※1
  - 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合※1
  - 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合※2
  - 相手車両の側面をこするように衝突した場合※2
  - 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合※3
  - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
  - カメラが固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、カメラの取付状態に問題がある場合

※1 バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
※2 相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
※3 雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、衝撃検知が困難になります。

- 本機では、録画のため映像圧縮機能を用いています。山道(木が多い場所)など変化が多い環境下では、映像圧縮による画質劣化が発生する場合があります。
- 本機では、バックアイカメラを接続することにより、2カメラ録画可能となります。接続するバックアイカメラによってカメラ特性が異なるため、見え方が異なります。

- 映像が録画されなかった場合や録画された映像ファイルが破損していた場合による損害、本機能の故障や本機能を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機能は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機能で録画した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機能をイタズラなどの目的では使用しないでください。
  これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機能は映像を録画しますが、必ずしも信号機が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号機が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- ドライブレコーダー用SDを取り出す際には、取り出し方法にしたがって取り出してください。（→P.12）ドライブレコーダー用SDが破損し、映像を録画できなくなるおそれがあります。ドライブレコーダー用SDの破損による映像が録画できない件について、弊社は一切責任を負いません。
- 事故などで録画した映像を残しておきたい場合は、ドライブレコーダー用SDを手順に従って取り出し（→P.12）パソコンに保存するなどの対応をお願いします。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機能で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 車両のバッテリーを外すと、GPSの情報を受信した次回起動時から正しい時刻になりますので、バッテリーから外した後は、録画されている映像のファイル名や位置情報でGPS情報が受信できたかどうかを確認してください。
- 本機能で録画した映像は、本機のほかにスマートフォン用ビューアーアプリ（DR Viewer A）やパソコンの専用ビューアーソフトで見ることができます。パソコンの専用ビューアーソフトで見るには、次のスペックを満たすパソコンが必要です。
  また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。
  - OS：対象のOSについては、ホームページより対象機種を選択してご確認ください。
    http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html
  - CPU：2GHz 以上のプロセッサー／Core i3 以上のCPU※
  - 2GB 以上のRAM（4GB 以上推奨）※
  - 1,024 × 768（XGA）ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
  - サウンド：Windows で使用可能なPCMサウンド再生機能
  - ブラウザ：Internet Explorer 9.0以降
  - インターネット接続環境
    （走行位置を表示するために必要です）

※ Windows 7、Windows 8.1、Windows 10については、Microsoft社の推奨システム要件が必要です。

使用上のご注意

⚠警告

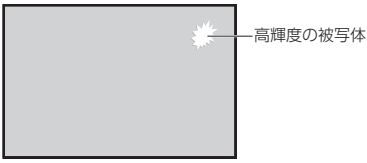
- カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- 運転者は走行中に操作をしないでください。必ず安全な場所に停車させてから操作してください。
  ・交通事故の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、カメラやカメラコードに触れないでください。
  ・落雷により感電の危険性があります。

⚠重要

- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には、必ず同梱または別売のドライブレコーダー用SDを使用してください。市販のmicroSDHCカードでは正しく動作しないことがあります。
- ドライブレコーダー用SDを挿入口に入れてお使いください。ドライブレコーダー用SDを挿入しない場合、本機能は動作しません。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。
  ・故障の原因となります。
- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- フロントガラスやバックアイカメラに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。

⚠重要

- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



※ ブルーミング現象：高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機能で録画されたデータの日時や位置を定期的に確認してください。日時がずれている場合や、位置が変わらない場合は、販売店にご相談ください。

映像の録画について

本機能は、次の方法で映像を録画します。

- 常時録画：エンジンスイッチをACC、またはONからOFF（LOCK）にするまで常時録画します。
  映像はファイル単位（チャプター）で記録されます。
- イベント保護：衝撃を検知した場合、またはマイク＆スイッチのスイッチを押したタイミングの映像を保護します。
- 音声はマイク＆スイッチのマイクにより、映像と同時に録音されます。

ワンポイント

- ドライブレコーダー用SDの録画容量上限に達したときは、チャプターのファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い映像と音声を消して、新しい映像と音声を上書きします。
  ただし、衝撃を検知した映像10件、スイッチ操作を検知した映像5件まで保護する機能がありますが、それぞれの件数を超えた場合は、古い映像から保護が解除されます。

バックアイカメラの録画について

別売のバックアイカメラを接続すると、バックアイカメラの映像も録画できます。

バックアイカメラの映像をそのまま録画するため、意図した風景（角度）で録画されなかったり、夜間など周囲が暗いときは、映像の明るさが不足する場合があります。

バックアイカメラの映像を録画するには、「バックカメラ録画」を【する】に設定（→P.62）してください。

ワンポイント

- 別売のカメラ機能拡張BOXを接続した場合、視点変換機能による上から見た映像や予測進路線も録画されます。

録画中映像のスイッチによる手動保護（イベント保護機能）について

通常の録画中（衝撃検知なしの場合）にマイク＆スイッチのスイッチを押すと、「ピッ」と音が鳴り、スイッチを押した時点から、前12秒／後8秒の合計20秒の録画映像が保護されます。

オフセット設定について

オフセットが設定されていない場合、本機の起動時にメッセージが表示されますので、オフセット設定を行ってください。（→P.62）

ワンポイント

- 本機を他の車に乗せ換えたときは、必ずオフセット設定を行ってください。

メッセージ・ブザーによる通知について

メッセージ・ブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。

異常通知

メッセージ	ブザー	原因	処置
録画用のSDカードが挿入されていません	ピッ	ドライブレコーダー用SDが挿入されていない。	ドライブレコーダー用SDを挿入してください。
録画用のSDカードをお確かめください	ピッ	ドライブレコーダー用SDに異常がある。	ドライブレコーダー用SDを一度、取り出したあと、再度挿入してください。
		同梱または別売のドライブレコーダー用SD以外を挿入している。	同梱、または別売のドライブレコーダー用SDを挿入してください。
ドライブレコーダー用カメラをお確かめください	ピッ	ドライブレコーダー用カメラの異常で映像が録画できない。	再度エンジンスイッチをACC、またはONにしてください。 復帰しない場合は、本体の取り付け、接続、カメラ配線の接続を確認してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
バックアイカメラ映像を正常に録画できませんバックアイカメラをお確かめください	ピッ	バックアイカメラの異常で映像が録画できない。	再度エンジンスイッチをACC、またはONにしてください。 復帰しない場合は、本体の取り付け、接続、カメラ配線の接続を確認してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーのオフセット設定をしてください	ー	オフセット設定が未実施。	オフセット設定をしてください。(→P.62)
		オフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	

正常通知

メッセージ	ブザー	状態
ー	ピッピッ	衝撃を検知して録画保護を開始します。
ー	ピッ	録画保護（イベント保護）オンなど、スイッチを操作しました。

ソフトウェアを更新する

快適にドライブレコーダーの機能を利用いただくため、購入後の性能改善・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。更新は、本機能で使用しているドライブレコーダー用SDを使用して更新します。

⚠ 注 意

- ソフトウェアの更新は、安全な場所に停車して行ってください。

☑ 操作の前に

- ソフトウェアの更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、本機能で使用しているドライブレコーダー用SDとSDカードリーダーが必要です。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新中はドライブレコーダーの機能が全て使用できなくなります。
- ナビのソフトウェア更新については、**「ナビのソフトウェアを更新する」**（→P.168）をご覧ください。

更新データを準備する

更新データのダウンロード方法については、「My Page」（https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/）でご確認ください。

ソフトウェアを更新する

⚠ 注 意

- ソフトウェア更新中は、ドライブレコーダー用SDを抜いたり、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

操作手順

MENU ➡ EJECT ➡ ドライブレコーダー ➡ 排出する ➡ フタを開ける ➡ ドライブレコーダー用SDを入れる ➡ フタを閉じる ➡ MENU 、または 現在地

▼

更新データを検知すると更新を開始 ➡ OK

- 更新完了のメッセージが出るまでエンジンスイッチをOFF(LOCK)にしないでください。
- 更新が完了するまで約10分程度かかります。

▼

更新完了のメッセージが表示されたら OK にタッチ

- 更新失敗のメッセージが表示されたら、OK にタッチして、もう一度やり直してください。

スマートフォン用ビューアーアプリ（DR Viewer A）を利用する

Wi-Fi接続に対応したスマートフォンでDR Viewer Aと連携すると、録画した映像をスマートフォンで確認することができます。DR Viewer Aの詳細は、ECLIPSEのアプリケーションダウンロードサイトをご覧ください。

☑ 操作の前に

- 事前に「App Store」または、「Google Play」にて対応アプリをインストールしてください。

操作手順

MENU ➡ ドライブレコーダー ➡ スマートフォンアプリについて

▼

スマートフォンで、2次元バーコードを読み取る、またはURLを入力する

＜2次元バーコード＞

＜直接入力用アドレス＞
https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/product/app/

再生中の映像ファイルをスマートフォンに転送する

再生中の映像ファイルをDR Viewer Aを使用して転送し、スマートフォンで映像の操作ができます。

操作の前に

- 事前にスマートフォンを本機とWi-Fi接続する必要があります。（→P.52）

操作手順

スマートフォンアプリを起動

▼

MENU ➡ ドライブレコーダー ➡ 再生方法を選択 ➡ 映像ファイルを選択 ➡ スマートフォンへ転送 ➡ 転送する

パソコン用ビューアーソフトの操作方法

本機能で録画した映像と音声はパソコンで再生できます。再生には専用のビューアーソフトを使います。また、ビューアーソフトを使うと、本機能の各種設定を変更することもできます。

ワンポイント

- 本書で記載しているパソコンの画面はWindows 7 Professional Edition（SP1）のものです。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

ビューアーソフトをインストールする

ホームページより対象機種を選択してビューアーソフトのインストーラーをダウンロードしてください。
http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html

操作手順

「DR_Viewer_A16_SETUP.EXE」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にダウンロード

▼

任意の場所にダウンロードしたインストーラー「DR_Viewer_A16_SETUP.EXE」を実行

▼

［次へ］をクリック

- 以降は画面の指示に従って、インストールします。
- インストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコン「DR_Viewer_A16」が表示されます。

ワンポイント

- インストールの完了と同時にビューアーソフトを起動させたい場合は、インストールの完了画面で「プログラムの起動」にチェックを付けたままで「完了」をクリックしてください。
- お使いのパソコンによっては、インストール中およびビューアーソフトの初回起動時にユーザーアカウント制御のメッセージが表示されます。画面の説明に従い、必ず「はい」をクリックしてください。

録画した映像を見る

操作手順

ドライブレコーダー用SDをカードリーダーなどを使用して、パソコンに入れる

▼

ショートカットアイコン「DR_Viewer_A16」をダブルクリック

▼

** をクリックし、見たい映像のフォルダを選択**

- [ファイル]→[開く]の順にクリックしても同様の操作ができます。

▼

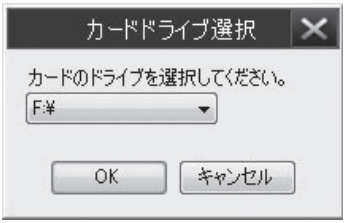
[カードデータ]をクリック

- [バックアップフォルダ]：バックアップ機能（→P.146）でパソコンに保存した映像を選択
- [ファイル選択]:映像ファイルを直接選択
- フォルダ構成やファイル名について（→P.145）

▼

▼

SDカードのドライブを選択して、[OK] ボタンをクリック



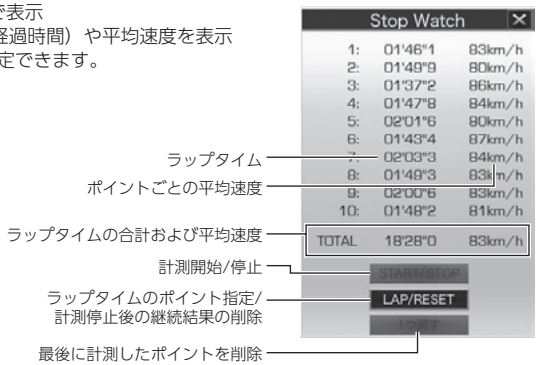
- バックアップフォルダの選択画面が表示されたときは、保存したフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。

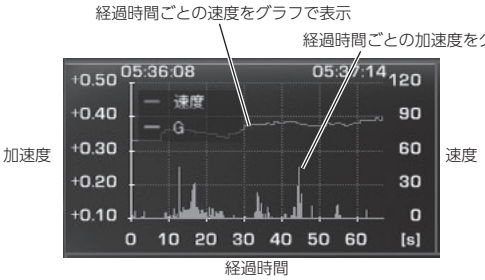
▼

[トリップ] / [チャプター] / [イベント]のいずれかを選択 ➡ 映像を選択 ➡ （再生ボタン）

- ［トリップ］：エンジンスイッチをACC、またはONからOFF（LOCK）にするまでの映像リストを表示※
- ［チャプター］：選択したトリップをファイル単位で分割した映像リストを表示
- ［イベント］：衝撃の検知／スイッチ操作によって保護されている映像リストを表示

※ 映像と音声の上書きにより、走行途中からの映像が再生されることがあります。

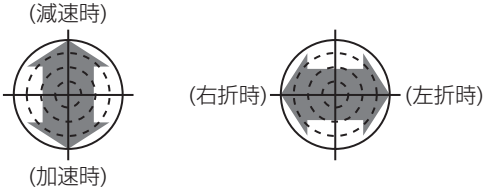
番号	機能
①	ドライブレコーダー用SD、またはパソコンから映像を選択して再生
②	映像をパソコンにバックアップ
③	本体設定画面を表示（→P.147）
④	映像を任意の区間で切り取って保存（→P.144）
⑤	映像をJPEG 画像として保存
⑥	指定した倍率で拡大表示 ・ 拡大表示中の映像をクリックすると、拡大表示を解除
⑦	ストップウォッチ機能を別ウィンドウで表示 ・ 区間を指定してラップタイム（区間経過時間）や平均速度を表示 ・ ラップタイムは、最大10区間まで指定できます。 
⑧	常時録画の位置データを、Google Earthで表示可能なファイルに変換して保存（→P.144）

番号	機能
⑨	ビューアーソフトを終了
⑩	映像の種別を切り替え ・［トリップ］：起動単位の映像リストを表示※ ・［チャプター］：選択したトリップをファイル単位で分割した映像リストを表示 ・［イベント］：衝撃の検知／スイッチ操作によって保護されている映像リストを表示
⑪	指定した映像種別の録画日時（または検知日時）の一覧を表示
⑫	選択した映像の位置情報と日時を表示 ・ ：地図が別ウィンドウで表示。再度クリックすると、地図をビューアー画面に再表示 ・ ：地図を非表示（ Map ▲ をクリックすると、地図を再表示） ・ ☑吹き出し表示 にチェックを入れると、日時を表示 ・⑮でGPSが測位できていない場合は、自車位置マークの色がグレーで表示
⑬	再生している映像の衝撃の大きさと方向を表示 ・ G ：表示/ 非表示を切り替え ・ 0.5G ：表示する衝撃度を切り替え
⑭	再生している映像の速度を表示します。 ・ 速度 ：表示/ 非表示を切り替え ・⑮でGPSが測位できていない場合は、速度の数値は「ー」、針の色はグレーで表示
⑮	GPSの測位状態を表示 ・ グレー：測位できていない状態 ・ 橙色：測位できている状態
⑯	再生されている映像の走行状況を表示  ・ グラフ上をクリックもしくはドラッグすると、再生位置を移動
⑰	再生操作用ボタン（→P.143）
⑱	トラックバーを表示（→P.143）
⑲	再生中の映像を表示
⑳	再生中の映像を全画面で表示

※ 映像と音声の上書きにより、走行途中からの映像が再生されることがあります。

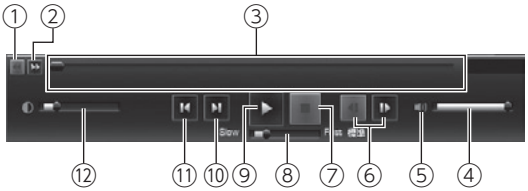
ワンポイント

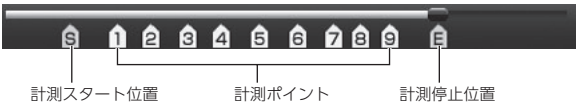
- ドライブレコーダー用SD に保存できる映像の数は限られています。
  必要に応じて、パソコンに保存してください。（→P.146）
- 起動直後やトンネル、ビル街などの受信環境が悪い場合、GPS衛星の位置によっては、GPSの信号を正しく取得できずに、地図上での自車位置のずれや速度が正しく表示されないことがあります。
- 衝撃度の大きさは、値が大きいほど中心から離れます。運転の状況による衝撃度の方向は次のとおりです。



- 自車位置の進行方向がずれる場合は、手動で設定を行ってください。（→P.148）
- 映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じてドライブレコーダー用SDの映像データをパソコンに保存（→P.146）し、ドライブレコーダー用SDのフォーマット（→P.149）を行ってください。
- ドライブレコーダー用SDを取り出すときは、必ずパソコンで安全な取りはずし操作を行ってください。
- コマ送り／コマ戻し操作時にストップウォッチの計測ポイントを指定できます。
- ラップタイムは、前のポイントから現在のポイント間の区間経過時間を表示します。
- 再生終了／再生停止操作を行った場合にも、ストップウォッチの計測を停止して、最終ラップタイムと平均速度を表示します。
- ストップウォッチ動作中、ファイルをまたいでトラックバーを移動させると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 各ラップタイムの合計と全経過時間の間に誤差が発生する場合があります。
- ストップウォッチ画面の内容を保存することはできません。
- ストップウォッチ計測中に をクリックし、映像種別を選択すると、計測結果消去の確認画面が表示されます。別の映像を指定するときは［OK］をクリックしてください。
  ［キャンセル］をクリックして映像種別選択画面を閉じると、計測画面に戻ります。

再生操作用ボタン／トラックバーについて



番号	機能
①	前のチャプター（ファイル）を再生
②	次のチャプター（ファイル）を再生
③	映像の再生位置を表示 ・ つまみを動かすと、再生位置が移動 ・ A：加速や衝撃を検知した場所 ・ M：スイッチを押した場所 ・ ストップウォッチ（→P.140）の計測中は、計測スタート位置／計測ポイント／計測停止位置を表示 
④	音量を調整
⑤	音声をミュート（消音）する ·再度クリックすると、ミュートを解除
⑥	映像をコマ送り／コマ戻し
⑦	再生を停止
⑧	再生速度を調整
⑨	映像を再生／一時停止
⑩	次のトリップ（イベント）を再生
⑪	前のトリップ（イベント）を再生
⑫	映像の明るさを調整

ワンポイント

- 3倍速以上で再生している場合、音声は出力されません。
- ご使用のパソコンによっては、明るさ調整機能が使用できない場合があります。
- ストップウォッチの計測中は次のチャプターに切り替えたり、トラックバーのつまみを動かしても計測開始ポイント、または最後の計測ポイントより前に戻すことができません。

映像区間を切り取る

映像の一部を切り取って、保存することができます。切り取り範囲は、最長30分まで指定できます。

操作手順

切り取り開始位置で をクリック

▼

トラックバーのスライダーで切り取り終了位置を選択

切り取り範囲　スライダー

▼

をクリック

▼

映像に埋め込む情報にチェック ➡ [保存] をクリック ➡ 保存先を指定

ワンポイント

- 情報を埋め込むと、映像の保存に時間がかかる場合があります。
- 切り取り後のデータを再度切り取る場合は、付加情報は追加できません。

Google Earth用位置データに変換する

操作の前に

- 変換する前に、お使いのパソコンにGoogle Earthをインストールしてください。Google Earthは、Googleのサイトからダウンロードできます。
- 対応しているGoogle Earthについては、ホームページより対象機種を選択してご確認ください。
http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html

操作手順

変換したい映像を選択 ➡ を クリック

▼

保存先とファイル名を指定 ➡ [保存] をクリック ➡ [はい]をクリック ➡ Google Earthが起動

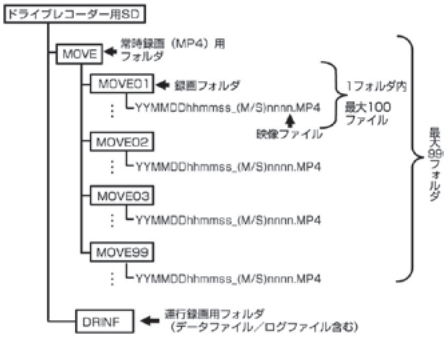
▼

Google Earth 画面左側の保存したファイル名を［▷］で展開 ➡ [ルート]をクリック

- （ツアーを再生）をクリックすると、走行軌跡が表示されます。
- 「ルート」の［▷］をクリックして「マイカー」を選択後、（ツアーを再生）をクリックすると、立体的な映像で走行軌跡を再生できます。

フォルダ構成とファイル名について

ドライブレコーダー用SD内は、次のようにフォルダと録画データが保存されています。



- 映像のファイル名は、次のルールで付けられます。
  YYMMDDhhmmss_(M、またはS)nnnn.MP4
  年月日時分秒（エンジンスイッチをACC、またはONに した時刻）_録画したカメラ（M：フロントカメラ、またはS：バックアイカメラ）連番

ワンポイント

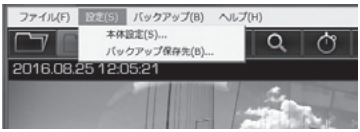
- 初回起動時、映像を録画するために ドライブレコーダー用SD内に「DUMMYMOVExxxx.DAT」を作成します。そのため録画開始までの時間が長くなります。このファイルは映像を録画するために必要なため、消さないでください。映像を録画することで映像ファイルとして保存されていきます。
- 誤って「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルや映像ファイルを消してしまった場合または、ドライブレコーダー用SDをフォーマットした場合、本機起動時に再度「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルを作成するため、録画開始までの時間が長くなります。
- 映像のファイル名は、変更しないでください。ビューアーソフトで再生できなくなる可能性があります。また、フォルダやファイル（ルート上のSETINF.DAT やGROUP.DAT など）は削除しないでください。

ドライブレコーダー用SDのデータをパソコンにバックアップする

ドライブレコーダー用SDの録画データを、パソコンなどに保存（バックアップ）することができます。

操作手順

[設定]をクリック ➡ [バックアップ保存先]をクリック



▼

バックアップデータの保存先のフォルダを選択 ➡ [OK]をクリック

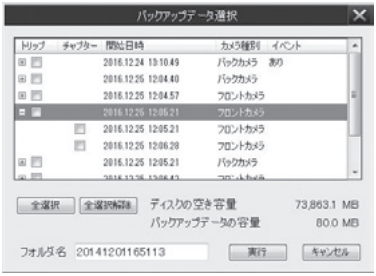
▼

** をクリック**

- [バックアップ]→[バックアップ]の順にクリックしても同様の操作ができます。

▼

保存するデータにチェック ➡ [実行]をクリック



- 選択した録画データが、指定した保存先にバックアップ（保存）されます。フォルダ名はバックアップ実行日時を初期表示

ワンポイント

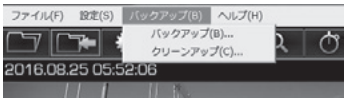
- ドライブレコーダー用SDの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きされ、古い映像を見ることができなくなるため、必要に応じてバックアップをしておくことをお奨めします。
- バックアップ保存先を設定しなかった場合は、「マイビデオ」フォルダに保存されます。

バックアップしたデータを消去する

パソコンにバックアップしたデータを消去（クリーンアップ）できます。

操作手順

[バックアップ]をクリック ➡ [クリーンアップ]をクリック



▼

クリーンアップするフォルダを選択 ➡ [OK]をクリック

▼

クリーンアップするデータを選択 ➡ [実行]をクリック

本機の設定を変更する

ビューアーソフトで本機の設定を変更できます。変更した設定値をドライブレコーダー用SDに保存し本機に入れると、次回エンジンスイッチをON、またはACCにしたときに本機の設定も変更されます。

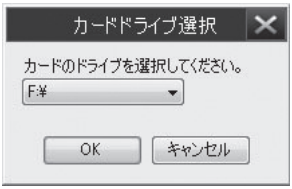
操作手順

⚙ をクリック

- [設定]→[本体設定]の順にクリックしても同様の操作ができます。

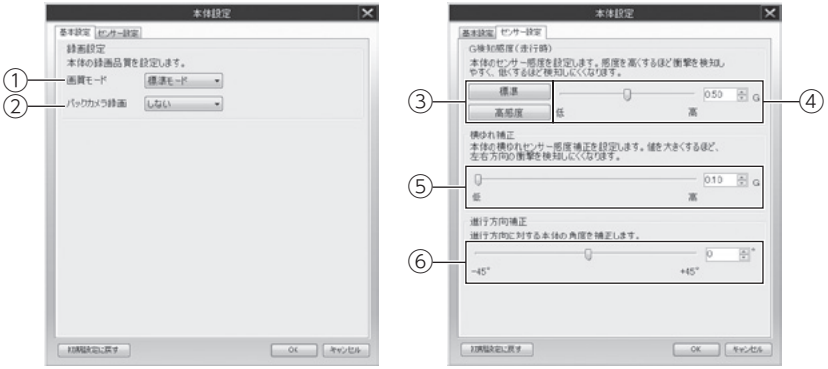
▼

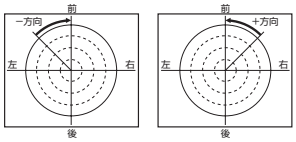
ドライブレコーダー用SDのドライブを選択 ➡ [OK]をクリック



▼

各項目を設定 ➡ [OK]をクリック ➡ [OK]をクリック



番号	機能
①	映像の録画画質を設定 ・ 高画質にするほど、録画時間が短くなります。
②	バックアイカメラの録画する/しないを選択
③	イベント保護を行うセンサーの感度を設定
④	センサーの感度を詳細に設定
⑤	横ゆれセンサーの感度を詳細に設定
⑥	自車位置の進行方向のずれを補正 ・ 映像を確認し、進行方向が左にずれている場合、マイナス（−）方向に補正 ・ 映像を確認し、進行方向が右にずれている場合、プラス（+）方向に補正 

⚠ 警 告

- 設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、衝撃を検知しやすい／検知しにくいことが無いか確認してください。その際、危険運転（急発進、急ブレーキなど）は絶対に行わないでください。

ヘルプを表示する

ヘルプでは最新のビューアーソフトのインストーラーと取扱説明書がダウンロードできます。

操作手順

[ヘルプ]をクリック ➡ [ダウンロードサイト]をクリック

ビューアーソフトのバージョン情報を表示する

操作手順

[ヘルプ]をクリック ➡ [バージョン情報]をクリック

オープンソースソフトウェア情報を表示する

操作手順

[ヘルプ]をクリック ➡ [ダウンロードサイト]をクリック ➡ [ビューアーソフトで使用するオープンソースソフトウェアについて]をクリック

ドライブレコーダー用SDをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、ドライブレコーダー用SDのデータが破損している可能性があります。その場合は、ドライブレコーダー用SDをフォーマットしてください。フォーマットをするには、専用のSDメモリーカードフォーマットソフトウェアを使用します。専用のSDメモリーカードフォーマットソフトウェアはホームページよりダウンロードできます。

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html

操作の前に

- 基本的にドライブレコーダー用SDのフォーマットは必要ありません。ドライブレコーダー用SDで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機能が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- フォーマットすると、映像データは削除されます。必要な映像はパソコンへ保存（→P.146）してください。

操作手順

SDメモリーカードフォーマットソフトウェアを起動

▼

[フォーマット]をクリック

▼

[OK]をクリック ➡ [終了]をクリック

Q&A

本機

Q	A
録音した音声が小さい。	本機能は音声を録音するための製品ではなく、周囲の音を録音する製品です。もし、周囲の音が小さいようであれば、マイク＆スイッチのマイクが覆われているようなことがないかご確認ください。
ドライブレコーダー用SDのデータを消したい。	原則として、データは削除しないでください。
ドライブレコーダー用SDが壊れた。	ドライブレコーダー用SDのフォーマットを行ってください。（→P.149）それでも正常に録画できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
バックアイカメラ、フロントアイカメラの映像を残したい。	バックアイカメラを接続し、バックカメラ録画を【する】に設定（→P.62）すると、映像を録画できます。フロントアイカメラは接続しても、映像は録画できません。
事故の衝撃でバッテリーが外れても録画できるか？	事故の衝撃でバッテリーが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断前※の映像を録画しますが、必ず、録画することを保証するものではありません。 ※ バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
事故で壊れた場合、修理できるか？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができかねますので、修理をお受けすることはできません。
録画時間を変更したい。	録画時間は、長時間モードで240分です。 本機、またはビューアーソフトで録画画質を変更してください。 ※ 市販のmicroSDHCカードでの動作は保証できません。 また、衝撃を検知して保護されている映像は、 検知前12秒／検知後8秒（固定）で再生します。
録画したはずの映像が消えた。	本機は常時録画型の映像録画装置です。ドライブレコーダー用SDの録画可能時間の上限を超えると、チャプターのファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い録画データから上書き保存していきます。必要に応じて、ドライブレコーダー用SDのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。
映像が頻繁に保護される。	センサー感度を調整することができます。（→P.62）解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
信号機が確認できない。	映像の録画周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号機が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

<table>
<tr><th>Q</th><th>A</th></tr>
<tr><td>映像が録画できない。</td><td>次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。
・ ドライブレコーダー用SD に異常はありませんか？
異常がある場合は、ドライブレコーダー用SDのフォーマットを行ってください。
・ 本機に同梱、または別売のドライブレコーダー用SDを使用していますか？
市販のmicroSDHCカードでの動作は保証できません。</td></tr>
<tr><td>録画開始までの起動時間が長い。</td><td>ドライブレコーダー用SDをフォーマットした場合など、ドライブレコーダー用SDに空き容量がある場合、[DUMMYMOVExxxx.DAT]ファイルを作成するため、録画開始までの時間が長くなります。</td></tr>
<tr><td>録画時間が120分より短い。</td><td>ドライブレコーダー用SDにドライブレコーダーと別のファイルが入っていませんか？
また、短い走行を繰り返し、エンジンスイッチのON ／ OFFの回数が多いと、録画時間が短くなる場合があります。
また、高画質モードに設定していませんか？
高画質モードの場合、録画時間は約100分になります。
録画画質を変更してください。(→P.62)</td></tr>
<tr><td>事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出の義務があるか？</td><td>提出する義務はありません。</td></tr>
<tr><td>保護された映像を再生した場合に、再生時間が20秒未満のものがある。</td><td>エンジンスイッチをACC、またはONにした後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐにエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合には、20秒未満の映像になります。</td></tr>
<tr><td>録画できた映像は、事故の証拠として認められるか？</td><td>本機能は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。</td></tr>
<tr><td>録画した映像をWindows Media Playerなどの汎用ソフトで見たい。</td><td>再生できますが、速度や位置などの詳細な情報は表示されません。また、すべての汎用ソフトで再生できるわけではありません。</td></tr>
<tr><td>市販されているSDカードは使用できるか？</td><td>市販のmicroSDHCカードでの動作は保証できません。本機に同梱、または別売のドライブレコーダー用SD を使用してください。</td></tr>
<tr><td>ドライブレコーダーの状態を表示するアイコンの意味が知りたい。</td><td>
<table>
<tr><th>アイコン</th><th>状態</th></tr>
<tr><td> </td><td>録画中</td></tr>
<tr><td> </td><td>録画準備中</td></tr>
<tr><td> </td><td>次の理由により、映像が録画できない状態です。
・ ドライブレコーダー用SDに異常がある
・ 本機に異常がある
・ ドライブレコーダー用カメラに異常がある
・ バックアイカメラに異常がある</td></tr>
<tr><td> </td><td>次の理由により、映像が正常に録画できない状態です。
・ オフセットが未設定
・ 衝撃検知センサーや時計機能等に異常がある</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

ビューアーソフト

Q	A
対象のOSは？	対象のOSについては、 ホームページより対象機種を選択してご確認ください。 http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html 対象以外のOSでは、ビューアーソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
パソコンにドライブレコーダー用SDを挿入しても認識しない。	ドライブレコーダー用SDが正しく挿入されていない可能性があります。再度ドライブレコーダー用SDを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。
ビューアーソフトが起動しない。	お使いのパソコンのOSは対象ですか？ ビューアーソフトは、Windows 7より古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアーソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、再インストールしてください。 対象のOSについては、ホームページより 対象機種を選択してご確認ください。 http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driverecorder.html
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらない。	再度ファイルを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。 ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、再生できないファイルごと削除してください。ファイルを削除できない場合は、ドライブレコーダー用SDの必要なファイルをパソコンにバックアップした後に、フォーマットを行ってください。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	音声録音を「しない」設定になっていませんか？ また、ビューアーソフトの音量設定が最小になっていませんか？ 設定をご確認ください。またはパソコン側の音量設定が最小になっていないか、ご確認ください。 設定を変更しても音声が出ない場合、マイク＆スイッチのマイクが覆われるようなところに取り付けていないかご確認ください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」とのメッセージが表示される。	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルをドライブレコーダー用SDから読み込みます。 ご購入直後やドライブレコーダー用SDをフォーマットした後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。 そのままOKボタンを押してください。
本体設定画面で設定を変更して書き込みをしたが、設定が変更されていない。	故障ではありません。設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。 設定変更をした後、ドライブレコーダー用SDを本機に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする。	ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。
地図の自車位置が実際とずれている。	ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、GPSの情報が正常に受信できず、自車位置がずれることがあります。

Q	A
速度がずれている／異常。	速度は本機から取得しており、GPS受信の状況が悪かったり、車速の学習中は、ずれた表示になる場合があります。
ときどき再生スピードが遅くなる。	録画時間を確保するため、録画データサイズが大きくなるとフレームレートを間引いて処理しているため遅く見えることがありますが、故障ではありません。
ときどきブロックノイズが多く発生する。	山道走行など、撮影映像の変化量が多いと、ブロックノイズが多く発生することがありますが、故障ではありません。
トリップ映像を選択すると、走行途中から再生される。	故障ではありません。 ドライブレコーダー用SDの録画可能時間の上限を超えると、チャプターのファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い録画データから上書き保存していきます。 上書き対象の古い映像にイベント保護がある場合は、イベント保護の映像ファイルが残るため、トリップの映像を選択すると、走行途中から再生されることがあります。

06 ステアリングスイッチを使う

ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(−)	・ 押すごとに1ステップずつ音量を変更 ・ 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変化

オーディオ機能の操作

共通操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替スイッチ	(MODE)	■ オーディオがOFF の場合 長押しすると、オーディオの電源をON
		■ オーディオがON の場合 ・ 押すごとにモードを切り替え TV→(CD/MP3・WMA・AAC/DVD)→(SD※1)→(MUSIC JUKE※2)→(USB/iPod)→AM→FM→Bluetooth Audio→外部入力→交通情報→TVに戻ります。 (　)：再生、または視聴できない場合は、切り替わりません。 ・ 長押しすると、オーディオの電源をOFF
ミュートスイッチ	(MUTE)	押すごとにオーディオの音声を消音／消音解除

※1　パソコンで記録した音楽ファイルを再生
※2　本機で録音した音楽を再生

各オーディオ機能の操作

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局スイッチ	(∧) ・ (∨)	・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え ・ 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局
CD	選曲スイッチ	(∧)	・ 次の曲に切り替え
		(∨)	・ 曲の頭出し ・ 連続で押すと、前の曲に切り替え
MP3 WMA AAC MUSIC JUKE SD USBメモリ Bluetooth Audio	選曲スイッチ	(∧)	・ 次の曲/ファイルに切り替え ・ 押し続けると、曲/ファイルを早送り
		(∨)	・ 曲/ファイルの頭出し ・ 連続で押すと、前のファイルに切り替え ・ 押し続けると、曲/ファイルを早戻し
テレビ	選局スイッチ	(∧) ・ (∨)	・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替え
DVD	選曲スイッチ	(∧)	次のチャプターに切り替え
		(∨)	・ チャプターの頭出し ・ 連続で押すと、前のチャプターに切り替え
iPod	選曲スイッチ	(∧)	次のファイル（曲）に切り替え
		(∨)	・ ファイル（曲）の頭出し ・ 連続で押すと、前のファイル（曲）に切り替え

ハンズフリー機能の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
オフフック	（ ）	・ 画面に が表示されているときに押すと、電話をかける ・ 着信時に押すと、電話をとる
オンフック	（ ）	・ 通話中に押すと、電話を切る ・ 着信時長押しすると、着信を拒否
オンフック／オフフック	（TEL）	・ 画面に が表示されているときに押すと、電話をかける ・ 着信時に押すと、電話をとる ・ 通話中に押すと、電話を切る ・ 着信時長押しすると、着信を拒否

地図画面の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
ズームイン（地図詳細）	（詳細）	・ 押すごとに1段階ずつ地図の縮尺を変更 ・ 長押しすると、押し続けている間、地図の縮尺が連続して変化
ズームアウト（地図広域）	（広域）	
現在地	（現在地）	現在地画面を表示

01 つながるサービスを利用する

ログインする

一部のサービスは、ご利用前にログイン操作が必要です。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡
ユーザー登録／ログイン ➡ ログイン

- ユーザー登録がお済みでない方は、MyPageユーザー登録 にタッチし、画面の案内に従って、「My Page」にアクセスしてください。

▼

「My Page」に登録したメールアドレス（ID）を入力する※1 ➡ 完了 ➡
パスワードを入力 ➡ 完了 ※2

※1　ログイン時に自分のメールアドレス以外が表示された場合、他のユーザーが所有者として登録されています。その場合、※2の操作（メールアドレスの初期化）を実施してください。

※2　“ メールアドレス（ID）が違います。使用者が変わった場合は、メールアドレス（ID）を初期化してください。” のメッセージが表示されたらメールアドレスを初期化してください。

メールアドレスの初期化

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡
ユーザー登録／ログイン ➡
メールアドレスの初期化 ➡
初期化する

つながるサービス（通信サービス）の有効期限について

つながるサービス（通信サービス）の有効期限は2022年10月末日までです。

ワンポイント

- つながるサービス（通信サービス）の有効期限は、配信メッセージでも配信されます。（→P.158）

つながるサービス（通信サービス）の有効期限を確認する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 通信サービス

- サービス名と有効期限が表示されます。

配信メッセージについて

次のようなメッセージがサーバーから配信されます。

・自動地図更新の完了通知
・キャンペーン情報
・サポート情報
・つながるサービス（通信サービス）の有効期限

操作の前に

●「My Page」に未登録でも配信メッセージを受信できます。（一部、「My Page」に登録しているお客様のみ配信されるメッセージもあります。）

配信メッセージの通知設定をする

メッセージが配信されたときの受信案内表示のする/しないを設定できます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ お知らせ

- 通知：タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 重要なお知らせを受信した場合、通知をOFFにしている場合でも、受信案内が表示されます。

配信メッセージを確認する

メッセージを受信後、すぐに読む場合

操作手順

今すぐ読む ➡ 確認したいメッセージのタイトルを選択

- **今すぐ読む**：自動通知がONの場合に表示 (→P.158)
- **後で読む**：元の画面に戻る

後からメッセージを読む場合

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ お知らせ ➡ 確認したいメッセージのタイトルを選択

配信メッセージを読む

番号	内容
①	メッセージが未読の場合に表示
②	メッセージが保護されている場合に表示
③	重要なメッセージで未読の場合に表示
④	自動通知を設定（→P.158）
⑤	保護以外のメッセージをすべて削除
⑥	添付画像がある場合、画像を全画面で表示
⑦	メッセージが削除されないように保護
⑧	メッセージを削除

- 受信したメッセージが100件を超えると、送信日時が古いデータから自動で消去されます。

Q&A

Q	A
「My Page」のパスワードを変更したい。	「My Page」にログインし、TOP 画面から「パスワードの変更」をクリックし、変更内容をご登録ください。
「My Page」のメールアドレス（ID）を変更したい。	「My Page」にログインし、TOP 画面から「登録内容の確認・変更」をクリックし、変更内容をご登録ください。
「My Page」のパスワードを忘れてしまった。	仮パスワードを発行いたしますので、「My Page」のログイン画面の「パスワードを忘れたお客様」をクリックしていただき、登録されたメールアドレスおよび生年月日情報を入力してください。 発行された仮パスワードは、次回ログインされる時に必要ですので、画面をコピーするなどして大切に保管しておいてください。 仮パスワードを使って「My Page」にログインすると、パスワードの変更画面となりますので、新しいパスワードに変更してください。
「My Page」のメールアドレス（ID）を忘れてしまった。	「My Page」にログインするには、登録されたメールアドレスが必要です。登録されたメールアドレスがわからない場合は、ログインできません。新しいアドレスで改めて、ユーザー登録を行ってください。新しいアドレスで再登録する場合、有効期限（→P.157）が残っていても購入したサービスが利用できなくなります。ご注意ください。
バッテリーを交換したり、本機を取り外した。	車から本機やバッテリーを取り外した場合、次の項目が初期化されます。 ■初期化される項目 **配信メッセージの自動通知ON/OFF 設定** その他、初期化される項目や注意事項については、**「バッテリーの交換について」**（→P.189）をご覧ください。

02 エコ機能を使う

平均燃費、燃費の履歴をグラフで表示する

平均燃費や燃費の履歴を表示できます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ エコ ➡ 燃費履歴 ➡ 履歴・グラフ

履歴を編集する

過去の燃費の確認や給油量、走行距離などを修正できます。(履歴は最大100件まで保存)

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ エコ ➡ 燃費履歴 ➡ 履歴一覧 ➡

編集したい履歴を選択

- 履歴削除 → 削除する の順にタッチすると、すべての履歴が消去されます。

▼

各項目にタッチして修正・入力 ➡ 完了

- 計測期間：計測開始日/計測終了日を修正・入力
- 走行距離：走行距離を修正・入力
- 給油量：給油量を修正・入力
- 前へ：前の履歴を表示
- 次へ：次の履歴を表示
- 本履歴を削除 → 削除する の順にタッチすると、選択した履歴が削除されます。

エコ運転評価を表示する

全体の運転時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示したり、エコ運転に関するアドバイスを表示します。

操作の前に

- エコ運転の評価期間は、日付が変わった時点でリセットされます。

最新評価を表示する

操作手順

現在地 ➡ ☰機能 ➡ 表示設定 ➡ 地図&エコ

評価履歴を表示する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ エコ ➡ エコ運転評価履歴

- 履歴削除 → 削除する の順にタッチすると、評価履歴が消去されます。

03 バックアップ機能を使う

バックアップ機能について

本機はメモリ地点などのデータをバックアップすることができます。バックアップしている場合、本機を買い替えたとき※にデータを引き継ぐことができたり、本機の故障などにより、データが破損したときにバックアップデータを取り込むことができます。
次の2つの方法でバックアップできます。

- **SDカードにバックアップ（→P.162）**
  ⇒メモリ地点、迂回メモリ地点をバックアップできます。
- **サーバーにバックアップ（→P.164）**
  ⇒つながるサービスを使って、メモリ地点情報（自宅/迂回メモリ地点含む）、目的地履歴、ルート学習をバックアップできます。

※ 対応製品の詳細は、
ECLIPSE ホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「FAQ」
(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)

SDカードにバックアップ

操作の前に

- 地点データの移行操作時は、他の操作はできません。
- 使用できるSDカードの仕様は、**「SDカードの仕様」**（→P.180）をご覧ください。

パスワードを設定する

操作の前に

- 地点データを読み込むときや移行するときにはパスワードが必要です。
- パスワードを忘れた場合、初期化すると再度パスワードを設定できますが、本機に登録している地点データも消去されますのでご注意ください。

操作手順

MENU ➡ **設定** ➡ ナビ ➡ **メモリ地点登録・編集** ➡ **メモリ地点移行** ➡ **パスワードの 設定**

- **初期化**：パスワードを初期化

▼

数字4桁のパスワードを入力 ➡ 完了

- すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力後に新しいパスワードを入力します。

▼

もう一度、パスワードを入力 ➡ 完了 ➡ OK

地点をSDカードに移す

⚠ 重 要

SDカードにデータを移行中は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。
データが破損するおそれがあります。

操作の前に

- 地点をSDカードに移すと、本機に登録しているメモリ地点と迂回メモリ地点は消去され、パスワードも初期化されます。
- すでに地点データを保存しているSDカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。
消去されたデータは補償できませんのでご注意ください。

操作手順

MENU ➡ EJECT ➡ 地図 /AV

▼

SDカードを音楽用SD差し込み口に差し込む ➡

MENU 、または 現在地

▼

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ メモリ地点移行 ➡ 保存の SD ➡ パスワードを入力 ➡ 完了

▼

保存する ➡ OK

- すでにSDカードにメモリ地点が保存されている場合は、メッセージが表示されます。
上書きする にタッチすると、保存されているデータに上書きされます。

SDカードに保存した地点を本機に移す

操作の前に

- 地点データを移すと、本機に登録していた地点データは、すべて置き替えられます。
- 地点データを移すと、SDカードに保存していた地点データはすべて消去されます。

操作手順

MENU ➡ EJECT ➡ 地図 /AV

▼

SDカードを音楽用SD差し込み口に差し込む ➡

MENU 、または 現在地

▼

MENU ➡ 設定 ➡ ナビ ➡ メモリ地点登録・編集 ➡ メモリ地点移行 ➡ 読み込みの SD ➡ 保存したときに使用したパスワードを入力 ➡ 完了

▼

削除する ➡ OK

ワンポイント

- 保存できる地点の件数は、ナビにより異なります。保存できる地点の件数や、SDカードへの保存方法などは、データを移すナビの説明書をご覧ください。

サーバーにバックアップする

操作の前に

●本サービスのご利用にあたっては、事前に「My Page」登録が必要となります。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ バックアップ ➡ 保存する

ワンポイント

●２回目以降にバックアップデータを保存する場合、前回作成したデータを上書きして保存します。

バックアップデータを取り出す

操作の前に

●バックアップデータを取り込むと、本機に保存されていたデータ（メモリ地点／目的地履歴／ルート学習）はすべて上書きされます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ バックアップ ➡ データを読み込む ➡ 取り込みたいデータを選択

ワンポイント

●最大登録数や容量を超えるデータがある場合は、メッセージが表示されます。

・ ダウンロードする ：データを取り込む（容量を超えたデータは取り込めません。）

・ キャンセル ：データを取り込まない

04 配信データをダウンロードする

施設情報をダウンロードする

つながるサービスを使って施設情報をダウンロードして、本機に追加できます。
追加した施設は、目的地に設定したり施設マークを表示できます。

©（株）トヨタマップマスター

操作手順

MENU ➡ 追加施設 ➡ データ追加 ➡ 追加したい施設情報を選択

- 続きを読む：コメントの続きを表示

▼

ダウンロードするエリアを選択 ➡ ダウンロード

- すべて選択：全国を選択
- すべて解除：選択した地域を削除
  - ・各都道府県にタッチして解除することもできます。

ダウンロードした施設情報を削除する

施設情報を指定して削除する

操作手順

MENU ➡ 追加施設 ➡ データ削除 ➡ 削除したい施設情報を選択 ➡ 削除する

すべての追加施設を削除する

操作手順

MENU ➡ 追加施設 ➡ データ削除 ➡ すべて削除 ➡ 削除する

自車位置マークをダウンロードする

つながるサービスを使って自車位置マークをダウンロードして、本機で使用できます。
ダウンロードした自車位置マークは、自車位置マーク変更（→P.36）で切り替えることができます。

操作手順

MENU ➡ 設定 ➡ ⌠デザイン⌡ ➡ 自車位置マーク設定 ➡ ダウンロード

- 続きを読む：コメントの続きを表示

▼

ダウンロードしたいデータを選択

05 システムチェック画面を確認する

操作の前に

- 本機の取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示できません。
- パーキングブレーキをかけてからシステムチェック画面を確認してください。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ SYSTEM CHECK ➡ 確認する項目を選択 ➡ 各項目を確認する

● 次の項目を確認できます。

項目			内容
GPS	GPSアンテナ接続	OK	GPSアンテナが接続されている状態
		NG	GPSアンテナが接続されていない状態
	測位レベル	3D測位	緯度・経度・高度の3次元で測位している状態
		2D測位	緯度・経度の2次元で測位している状態
		NG	測位していない状態
	GPS受信強度		GPSの受信強度レベル
	みちびき受信強度		準天頂衛星みちびきからの受信強度
車両信号	車速パルス	ON	走行している状態
		OFF	停車している状態
	推定速度		速度の表示
	距離補正学習状態		自動で行われる距離補正の学習状況
	パーキング信号	ON	パーキングブレーキがかかっている状態
		OFF	パーキングブレーキがかかっていない状態
	リバース信号	ON	バックギアにシフトしている状態
		OFF	バックギア以外にシフトしている状態
	イルミ信号	ON	車のライトが点灯している状態
		OFF	車のライトが消灯している状態
メディア	地図SDカード	OK	地図用SDが挿入されている状態
		NG	地図用SDが挿入されていない状態
	音楽用SDカード	OK	音楽用SDが挿入されている状態
		NG	音楽用SDが挿入されていない状態
	ドライブレコーダー用SDカード※	OK	ドライブレコーダー用SDカードが挿入されている状態
		NG	ドライブレコーダー用SDカードが挿入されていない状態
	USBメモリ/iPod接続状態	NG	USBメモリやiPod/iPhoneが接続されていない状態
	USBメモリ接続状態	OK	USBメモリが接続されている状態
	iPod/iPhone接続状態	OK	iPod/iPhoneが接続されている状態

項目			内容
カメラ	フロントカメラ接続	OK	フロントアイカメラが接続されている状態
		NG	フロントアイカメラが接続されていない状態
	バックカメラ接続	OK	バックアイカメラが接続されている状態
		NG	バックアイカメラ/カメラ機能拡張BOXが接続されていない状態
	カメラ機能拡張BOX	OK	カメラ機能拡張BOXが接続されている状態
	ドライブレコーダー用カメラ接続※	OK	ドライブレコーダー用カメラが接続されている状態
		NG	ドライブレコーダー用カメラが接続されていない状態
その他	ETC/ETC2.0（DSRC）ユニット	NG	ETCユニット/ETC2.0（DSRC）ユニットが接続されていない状態
	ETCユニット	OK	ETCユニットが接続されている状態
	ETC2.0（DSRC）ユニット	OK	ETC2.0（DSRC）ユニットが接続されている状態
	マイク＆スイッチ	OK	マイク＆スイッチが接続されている状態
		NG	マイク＆スイッチが接続されていない状態

※ AVN-D10/AVN-D10Wのみ

ワンポイント

●表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。

01 ナビのソフトウェアを更新する

ソフトウェアを更新する

購入後のナビの性能改善・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

次の2つの方法で更新できます。

- PCでソフトウェアをダウンロードして更新する（→P.168）
- Wi-Fi接続で更新する（→P.169）

⚠ 注 意

- ソフトウェアの更新は、安全な場所に停車して行ってください。

操作の前に

- ESNの設定をしている場合、ソフトウェア更新を行うと、ロックがかかりますのでESNの設定を解除してください。（→P.34）
- ソフトウェアの更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、SDカードとSDカードリーダーが必要です。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。
- 地図用SDは使用できません。
- 地図データ、Gracenoteデータベース（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。
- ドライブレコーダーのソフトウェア更新については、**「ソフトウェアを更新する」**（→P.137）をご覧ください。
- 音楽用SDが差し込まれている場合は、本機より取り出しておいてください。（→P.12）
- 使用できるSDカードについては、**「SDカードの仕様」**（→P.180）をご覧ください。

PCでソフトウェアをダウンロードする

更新データを準備する

更新データのダウンロード方法については、「My Page」（https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/）でご確認ください。

操作の前に

- 「My Page」への登録が必要になります。

ソフトウェアを更新する

⚠ 注 意

- ソフトウェア更新中は、SDカードを抜いたり、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ソフトウェア更新 ➡ SDカードを挿入する ➡ SDカードを音楽用SD差し込み口に差し込む

▼

ディスプレイを閉じる ➡ ソフトウェア更新を実施する ➡ 開始する

- 更新ソフトがインストールされます。インストール中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。
- 更新中は操作できません。

▼

更新準備完了のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、もう一度ACC、またはONにする

- プログラム読み込み中画面が表示されているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

▼

本機が起動したらSDカードを取り出す

- SDカードの取り出しについては**「メディアの出し入れ」**（→P.12）をご覧ください。

Wi-Fiでソフトウェアをダウンロードする

テザリングに対応しているWi-Fi通信機器を使ってソフトウェアをダウンロードし、本機に挿入したSDカードにデータを書き込むことで、ナビのソフトウェアを更新できます。

操作の前に

- Wi-Fiでデータをダウンロード中は、Bluetooth通信が切断されます。
- お客様のWi-Fiの環境によっては通信料金が高額となりますので、ご注意ください。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ ソフトウェア更新 ➡ SDカードを挿入する ➡ SDカードを音楽用SD差し込み口に差し込む ➡ ディスプレイを閉じる

▼

最新のソフトウェアを確認する ➡ ダウンロードする ➡ ソフトウェアのダウンロード開始

- Wi-Fiの通信速度によっては、ダウンロードに時間がかかります。
- ダウンロード中は操作しないでください。

▼

ソフトウェアのダウンロード完了 ➡ ソフトウェアを更新する ➡ 開始する

- 更新ソフトがインストールされます。インストール中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。
- 更新中は操作できません。

▼

更新準備完了のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした後、もう一度ACC、またはONにする

- プログラム読み込み中画面が表示されているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

▼

本機が起動したらSDカードを取り出す

- SDカードの取り出しについては「メディアの出し入れ」（→P.12）をご覧ください。

ソフトウェアのライセンス情報を確認する

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ オープンソフトウェア情報 ➡ ソフトウェアのライセンス情報を確認する

01 地図データを更新する

本機は次の方法で地図データを更新することができます。

- **自動地図更新（→P.170）**
- **地図データ年度更新サービス（→P.171）**

自動地図更新について

つながるサービス（通信サービス）を使って、全国の道路の差分地図データ（更新が必要な部分のみを収録したデータ）を配信し、本機の地図データを更新するサービスです。

- Wi-Fi機器を使用して、差分地図データをダウンロードして更新することができます。

  ※ Wi-Fi環境をお持ちでないお客様には、有償での地図更新サービスもございます。

  詳細についてはECLIPSEホームページ（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/）をご覧いただくか、弊社お客様相談窓口までお問合せください。

「お客様相談窓口」
通話料無料 0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。
受付時間　午前9:30～午後5:30
（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

更新の仕組み

- データをダウンロード後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にして最大10分間書き換え作業を行います。
- 次回起動時から更新したデータが利用できます。

更新タイミングとデータ容量

- 1ヶ月ごとに差分データを配信します。
- 1ヶ月分の差分データ容量の目安は約10MB～30MBです。

操作の前に

- サービス内容は予告なく変更されることがあります。最新のサービス情報は、ECLIPSEホームページ（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/）に掲載していますのでご確認ください。

ワンポイント

- ダウンロード中も本機の操作ができます。
- ダウンロードにかかる時間はWi-Fi接続機器の通信速度により異なります。
- 全国の道路が更新対象となります。
- 施設情報は更新対象ではありません。
- 更新が終わると、更新道路情報のメッセージが次のように配信されます。
  - **自宅を登録している場合**：自宅のある都道府県と隣接する都道府県の更新情報
  - **登録していない場合**：全国の更新情報

Wi-Fi接続で差分地図データをダウンロードする

メッセージからダウンロードする

Wi-Fi接続をすると、地図の差分更新データの有無を確認して、更新できるデータがあると、メッセージが表示されます。

操作手順

メッセージを確認 ➡ ダウンロードする

地図データ画面からダウンロードする

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 地図データ ➡ ダウンロードする ➡ ダウンロード完了後、メッセージを表示

ワンポイント

- すでに最新の地図データの場合は、「お使いの差分地図データは最新です」のメッセージが表示されます。

地図データ年度更新サービスについて

全国の道路、および施設データを更新するサービスです。(有償)
詳細については、ECLIPSEホームページ(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/)をご覧ください。

地図SDカードコードを確認する

パソコンで地図を更新するには、現在ご使用中の地図SDカードコード情報が必要です。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 地図データ ➡ 携帯電話のキャリアを選択 ➡ コードを確認

地図データの情報を表示する

地図用SDに収録されている地図データの情報を確認することができます。

操作手順

MENU ➡ 情報 ➡ 地図データ ➡ 確認する

01 対応メディア・データの仕様

再生できる圧縮ファイルと対応メディア

次の表に「○」が表示されているデータを再生できます。

＜音楽ファイル＞

音声形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD ± R/RW	USB	SD
MP3	mp3	○	○	○	○
WMA※1	wma	○	○	○	○
AAC-LC※2、※3	m4a	○	○	○	○

※1　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
※2　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。
※3　iTunesで作成されたAACファイルのみ再生できます。

＜動画ファイル＞

動画形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD ± R/RW	USB	SD
WMV	wmv	×	×	○	○
AVI	avi	×	×	○	○
MPEG4	mp4 m4v	×	×	○	○

ワンポイント

- 音楽、または動画以外のファイルに次の拡張子をつけないでください。
  - mp3/wma/m4a/wmv/avi/mp4/m4v
    ファイルを誤認識して再生し、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。

再生できる圧縮ファイルの仕様について

音楽ファイル

操作の前に

●再生可能なファイル容量は、1ファイルにつき2GBまでです。

■ MP3ファイル

フォーマット	MPEG1 Audio LayerⅢ、MPEG2 Audio LayerⅢ
サンプリング周波数（kHz）	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32/44.1/48 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ：16/22.05/24
ビットレート※（kbps）	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ：32 ～ 320 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ：8 ～ 160
チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、 デュアルチャンネル、モノラル

※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。

ワンポイント

●安定した音質で再生するために、96 ～ 192kbpsの固定ビットレート、
44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。

■ WMAファイル

フォーマット	WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
サンプリング周波数（kHz）	32/44.1/48
ビットレート※（kbps）	・ Ver. 7/8：48 ～ 192 ・ Ver. 9（9.1/9.2）：48 ～ 320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

※ VBR（可変ビットレート）に対応しています。
※ ステレオ（2ch）再生のみ対応しています。

ワンポイント

●可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。

●DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルや
プロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

■ AACファイル

フォーマット	AAC-LC（AAC Low Complexity）
サンプリング周波数（kHz）	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート（kbps）	16 ～ 320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

- DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたAACファイルは再生できません。
- iTunesで作成されたm4aファイルのみ対応しています。

タグ情報

次の表に「○」が表示されているファイルには、タグ情報と呼ばれる付属文字情報を入力でき、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。

		ID3				WMA	AAC
		Ver.1.0	Ver.1.1	Ver.2.2	Ver.2.3	Ver.9 まで	iTunes-TAG
入力できる項目	TITLE	○	○	○	○	○	○
	ARTIST	○	○	○	○	○	○
	ALBUM	○	○	○	○	○	○
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）				英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode UTF-8)

動画ファイル

操作の前に

●再生可能なファイル容量は、1ファイルにつき4GBまでです。

■ 画像サイズ

対応画像サイズ	サイズ（pixel）
SQCIF	128×96
1/16VGA	160×120
QCIF	176×144
QVGA	320×240
SIF	352×240
CIF	352×288

対応画像サイズ	サイズ（pixel）
VGA	640×480
D1 NTSC	720×480
D1 PAL	720×576
HD	1280×720
フルHD	1920×1080

■ オーディオコーディック

種類	動画形式	サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）	チャンネルモード
MP3 ※1	WMV AVI MPEG4	MPEG1 Audio LayerⅢ： 32/44.1/48 MPEG2 Audio LayerⅢ： 16/22.05/24	MPEG1 Audio LayerⅢ： 32～320 MPEG2 Audio LayerⅢ： 8～160	・ステレオ ・ジョイントステレオ ・デュアルチャンネル ・モノラル
WMA ※1、※2 Ver.7/8/9	WMV AVI	32/44.1/48	Ver.7/8：48～192 Ver.9（9.1/9.2）：48～320	・ステレオ ・モノラル
AAC-LC ※1、※3、※4 (AAC Low Complexity)	AVI MPEG4	11.025/16/22.05/24/ 32/44.1/48	16～320	・ステレオ ・モノラル

※1　VBR（可変ビットレート）に対応しています。
※2　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）された WMAファイルは再生できません。
※3　DRM：Digital Rights Management（デジタル著作権管理）システムのAACファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）された AACファイルは再生できません。
※4　iTunesで作成されたm4aファイルのみ対応しています。

■ ビデオコーディック

種類	動画形式	対応プロファイル
WMV9	WMV AVI	・Simple Profile ・Main Profile
MPEG4	AVI MPEG4	・Simple Profile ・Advanced Simple Profile
H.264/AVC	AVI MPEG4	・Baseline Profile ・Main Profile ・High Profile

ディスクの仕様

次のディスクを再生できます。

項目	種類	内容
サイズ	12cm	―
CD	音楽CD	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO の表示があるディスク
	CD-R/RW※	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable の表示があるディスク ・ 再生できるデータの仕様については次をご覧ください ・ 再生できる音楽ファイルについて（→P.172） ・ ファイルフォーマットについて（→P.178）
	CD-TEXT	・ COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT の表示があるディスク
	CD-EXTRA/CD Plus	音楽CDとして再生可能
	Mixed-Mode CD	音楽トラックのみ再生可能
	スーパーオーディオCD (SACD)	ハイブリッドディスクのCD層のみ再生可能
DVD	DVD-VIDEO	次のロゴマーク表示があるディスク ・ DVD VIDEO ・ **NTSC** ：NTSCカラー方式 ・ ALL 2 ：地域番号（リージョンコード）

項目	種類	内容
DVD	DVD-R/RW※	・ の表示があるディスク ・ ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理をしたデータのみ再生可能 ・ CPRM対応 ・ 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 　・ 再生できる音楽ファイルについて（→P.172） 　・ ファイルフォーマットについて（→P.178）
	DVD+R/RW※	・ の表示があるディスク ・ ビデオモード、VRモードで記録し、ファイナライズ処理をしたデータのみ再生可能 ・ 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 　・ 再生できる音楽ファイルについて（→P.172） 　・ ファイルフォーマットについて（→P.178）

※ インクジェットプリンタでレーベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。
ディスクを取り出せなくなる可能性があります。

再生できないディスクについて

次のディスクは故障の原因となりますので、使用しないでください。

- ひびがはいったり、そりが大きいディスク
- シールやテープ、ノリが付着しているディスク
- ハート形など円形以外の特殊形状のディスク
- ディスク保護用のアクセサリー（スタビライザー、保護シール）やCDラベルを使用したディスク
- 音質向上や防振用のアクセサリー（CDリング・プロテクターなど）を使用したディスク

ディスクのファイルフォーマット

■ ディスクフォーマット

フォーマット	CD-ROM MODE1、 CD-ROM XA MODE2（Form1）
書き込み方法	ディスクアットワンス、セッションアットワンス、 トラックアットワンス

■ ファイルフォーマット

ファイル システム	ISO9660		拡張フォーマット		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	ROMEO形式	JOLIET形式	2.01
フォルダ名 （最大文字数）	半角 8文字	半角 31文字	半角 32文字	半角 32文字※1	半角 32文字
ファイル名 （最大文字数）	8.3形式	半角 31文字	半角 32文字※2	半角 32文字	半角 32文字
表示できる文字	英数字 （ASCIIコード）		英数字 （ASCIIコード） 日本語 （S-JISコード）	英数字 （ASCIIコード） 日本語 （Unicode）	英数字 （ASCIIコード） 日本語 （Unicode）
最大 ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）				
1枚のディスクに 書き込み可能な フォルダ数	256個（Rootフォルダ含む）				
1枚のディスクに 書き込み可能な ファイル数	999個				

※1　区切り文字“.”含む
※2　区切り文字“.”、拡張子含む

ワンポイント

●CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。

USBメモリの仕様

使用できるUSBメモリは次のフォーマットです。

対応クラス	マスストレージクラス
対応USB Ver.	USB2.0
最大消費電流	500mA（規格準拠） ※充電電流に関しては1.5A対応（BC1.2）

- USBメモリ以外は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- 市販の USB充電コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。

USBメモリのファイルフォーマット

ファイルフォーマット	FAT16 ／ FAT32
フォルダ名（最大バイト数）※	255バイト
ファイル名（最大バイト数）※	255バイト(拡張子含む)
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に保存可能なファイル数	1024個

※ パス名全体の長さの上限は1023バイトです。

SDカードの仕様

次の SDカードが使用できます。

項目	ソフトウェアバージョンアップ用	音楽用		メモリ地点の移行用	オープニング画像の登録用	ドライブレコーダー録画用※
		本機で録音	パソコンで記録			
SDカード	—					—
SDHCカード						
容量	4GB ～ 32GB		SDカード：8MB ～ 2GB SDHCカード：4GB ～ 32GB			8GB ～ 16GB
SDスピードクラス	Class 2 ～ 10	Class 4 ～ 10	Class 2 ～ 10			Class 10

※ AVN-D10/AVN-D10Wのみ

ワンポイント

- Panasonic製のSDカードのご使用を推奨します。
- ドライブレコーダー映像録画用は、同梱、または別売のドライブレコーダー用SDをご使用ください。
- miniSDHCカードやmicroSDHCカードを使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。

SDカードのファイルフォーマット

＜パソコンで録音した場合＞

ファイルフォーマット	FAT16/32
フォルダ名（最大バイト数）※	255バイト
ファイル名（最大バイト数）※	255バイト（拡張子含む）
最大ディレクトリ階層	8階層（Rootフォルダ含む）
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に保存可能なファイル数	1024個

※ パス名全体の長さの上限は1023バイトです。

＜本機で録音した場合＞

ファイルフォーマット	FAT32
アーティスト名（最大文字数）	半角32文字
マイベスト名（最大文字数）	半角32文字
アルバム名（最大文字数）	半角32文字
トラック名（最大文字数）	半角32文字
保存可能な曲数	9999曲
保存可能なアルバム数	3000個
1つのアルバムに保存可能な曲数	99曲

iPodの仕様

対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「iPod/iPhone適合情報」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)

Bluetooth®の仕様

動作確認済みの携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Bluetooth携帯電話適合情報」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)

対応 Bluetooth仕様/プロファイルについて

ハンズフリー

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1以上※1
プロファイル	・ HFP Ver.1.0以上※2 (Hands Free Profile) ・ OPP Ver.1.2を推奨 (Object Push Profile) ・ PBAP Ver.1.1を推奨 (Phone Book Access Profile)

※1　Ver.3.0を推奨
※2　Ver.1.6を推奨

Bluetooth Audio

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1以上※1
プロファイル	・ A2DP Ver.1.0以上※2 (Advanced Audio Distribution Profile) ・ AVRCP Ver.1.0以上※3 (Audio/Video Remote Control Profile)

※1　Ver.3.0を推奨
※2　Ver.1.2を推奨
※3　Ver.1.4を推奨

オープニング画像用データの仕様

次の画像データが使用できます。

画像容量	10MB以下 (1ファイル当たり)
画素数	最大2000万画素
ファイル拡張子	.jpg、 .jpeg (JPEG2000は非対応)
最大ディレクトリ階層	8階層 (Rootフォルダ含む)
保存可能なフォルダ数	3000個
保存可能なファイル数	9999個
1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数	3000個
1つのフォルダ内に保存可能なファイル数	1024個

Wi-Fi®の仕様

対応のスマートフォン機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Wi-Fiテザリング適合情報」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)

対応 Wi-Fi規格

- 規格：IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）
- 対応チャンネル：1 ～ 13ch

対応暗号化方式

- WEP
- WPA2-PSK（TKIP）
- WPA2-PSK（AES）
- WPA/WPA2 mixed PSK（TKIP）
- WPA/WPA2 mixed PSK（AES）

02 知っておいていただきたいこと

道路管理者等からのお知らせとお願い

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0及びITSスポット対応カーナビ※1からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

※1　製品により、ITS車載器、DSRCユニット、DSRC車載器等と呼ばれていることがあります。

1. プローブ情報

(1)ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0及びITSスポット対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポット（DSRC路側無線装置）※2と無線通信を行うことによりETC2.0及びITSスポット対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。プローブ情報として収集する情報は次の通りです。

- ETC2.0及びITSスポット対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※2　道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※3　車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の４桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川500あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4　走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2.プローブ情報の利用目的

(1)道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5　例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2)道路管理者は、(1)の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3.プローブ情報の収集

(1)道路管理者は、道路管理者が管理するITSスポット※2によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0及びITSスポット対応カーナビ利用者は、設定により、**1.**(1)で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6
選択の方法は、**「割込情報を設定する」**(→P.61)をご覧ください。

※6 カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

(3) ETC2.0及びITSスポット対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4.プローブ情報の第三者への提供

(1)道路管理者は、**2.**(1)の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2)道路管理者は、ETC2.0及びITSスポット対応カーナビ、ITSスポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3)道路管理者は、(1)及び(2)以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5.プローブ情報の取り扱い

(1)道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2)道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3)道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6.問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室
03-5253-8111(代)
東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

次のホームページでも説明をご覧いただけます。
国土交通省ホームページ：
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
2015年7月（国土交通省発表）

GPSの測位について

- GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。
- お買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。

準天頂衛星みちびきについて

本機は、準天頂衛星みちびきからの受信に対応しています。準天頂衛星は、日本のほぼ天頂（真上）を通る軌道を持つ人工衛星による衛星システムです。

山間部や高層ビル街などGPS信号が届きにくい場所でも受信しやすいため、測位精度の向上に効果を発揮します。ただし、時間帯によっては受信できない場合があります。

本機で使用するデータについて

- 本システムではエラーコード等の情報を記録しています。取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよびSDカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。
- 地図データ更新時に必要な場合などを除き、本機以外の製品で地図用SDを使用しないでください。データが破損するおそれがあります。

免責事項

- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- 本機を使用中にメディアや機器のデータなどが消失した場合、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- なお、次のような場合、補償はいたしかねますので、予めご了承ください。
  - 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDカード内のデータ等が変化・消失した場合。
  - お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDカード内の地図データや基本プログラム、お客様がSDカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。
  - 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDカード内のデータ等が変化・消失した場合。

※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

再生時の注意事項について

- 寒いときや雨降りのときは、本機内部に結露が発生することがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD読み取り部のレンズに結露が発生することがあります。このような場合は1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じるとプレーヤーは自動で停止します。画面のメッセージにしたがって操作しても動かない場合は、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

液晶パネルについて

- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

電装品の使用について

- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響で画面の乱れ、タッチ操作不能、雑音などの異常が発生する場合があります。その場合、電気機器を遠ざけるか、ご使用を控えてください。
  例）インバータ、イオン発生器など

Bluetooth®機器使用上の注意事項について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は10m以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

操作の前に

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth®とWi-Fi®の同時使用について

Bluetooth機器やWi-Fiが使用する2.4GHz帯はさまざまな機器で使用されています。
他の機器の影響やBluetooth機器とWi-Fiを同時に使用することにより、通信速度や通信距離が低下したり、ネットワークが切れることがあります。
BluetoothとWi-Fiは、同時に使用できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面に触れないように持ってください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- ディスクが汚れた場合は、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。
- 新しいディスクには、センターホールや外周部に“バリ”があることがあり、そのまま使用すると、正常に作動しない場合があります。
  ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

03 お手入れについて

本機のお手入れについて

- タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとす場合は、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってからふきとり、乾いた布でしあげてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- 掃除をする場合は、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。

ワンポイント

- アンテナ部からコードを取りはずさないでください。
  無理に取りはずすと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

04 バッテリーの交換について

バッテリーの交換時について

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。
プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

バッテリーの交換について

本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報が初期化されます。車の点検やバッテリーの交換、地図データ年度更新サービスを行う際は、ご注意ください。

操作の前に

- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESNのロックがかかります。ESN のロックを解除する方法については、**「ロックを解除する」**（→P.34）をご覧ください。

初期化されない情報

項目	内容
地図デザイン設定	地図色・案内ルート色の設定
目的地	記憶された目的地履歴
ルート学習	ルート学習結果
メンテナンス	各種項目
メモリ地点	登録したメモリ地点(自宅を含む)
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタルTV放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
ラジオ	プリセットスイッチに記憶された放送局

項目	内容
電話帳	登録した電話帳データ
お気に入り	ハンズフリーで設定したお気に入り
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
オープニング画	オープニング画の設定
バックアイカメラ	バックアイカメラのガイド線表示設定・調整したガイド線
ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの設定
Bluetooth	Bluetoothの設定
Wi-Fi	Wi-Fiの設定
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチの設定

ワンポイント

- 一度初期化された内容は元に戻せません。ご注意ください。

05 地図収録データについて

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。
なお、このGPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社トヨタマップマスターが製作したものです。
地図用SDに収録されているデータベースなどの情報は、**「地図データの情報を表示する」**（→P.171）でご確認いただけます。

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高 モデル)及び基盤地図情報を使用しました。
(承認番号 平30情使 第907号-002号)
この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。
この地図作成に当たっては、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法 第44 条に基づく成果使用承認 01-0040)
ⓒ 2013-2019 一般財団法人 日本デジタル道路地図協会
ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタマップマスター

交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点について

この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

JARTIC/VICSの情報を使用しています。

統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC ／ VICSの情報を使用しています。

ボトルネック踏み切りデータについて

この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータをもとに作成しました。

スマートIC（ETC専用）について

スマートICはETC専用のインターチェンジのため、実際の走行の際にはETCを使用できる状態でなければご利用頂けません。また、スマートICは乗降方向（上り下り）や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

道路交通情報データについて

道路交通情報データは、公益財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

高速道路料金データについて

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2019年3月現在のものです。（一部新設道路を除く）

個人宅電話番号・名称データについて

この地図に使用している個人宅電話番号・名称データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」（発行年月：2018年6月）のデータを使用しています。

市街図収録都市リスト

北海道
札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町

青森県
青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市

岩手県
盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、奥州市、滝沢村

宮城県
仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、大崎市、七ヶ浜町、利府町

秋田県
秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市

山形県
山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市

福島県
福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、南相馬市、西郷村

茨城県
水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、筑西市、坂東市、神栖市、つくばみらい市、大洗町、東海村

栃木県
宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市

群馬県
前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、玉村町

埼玉県
さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町、松伏町

千葉県
千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町

東京都
千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町

神奈川県
横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

新潟県
新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市

富山県
富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、射水市

石川県
金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、野々市市、内灘町

福井県
福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市

山梨県
甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、甲州市、中央市

長野県
長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、下諏訪町

岐阜県
岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、下呂市、岐南町、笠松町、坂祝町、富加町

静岡県
静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、牧之原市、清水町

愛知県
名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町
三重県
津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、玉城町、度会町
滋賀県
大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、東近江市
京都府
京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
大阪府
大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県
神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、たつの市、猪名川町、稲美町、播磨町
奈良県
奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市
和歌山県
和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市
鳥取県
鳥取市、米子市、倉吉市、境港市
島根県
松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市
岡山県
岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
広島県
広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町
山口県
下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町
徳島県
徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市
香川県
高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市
愛媛県
松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市
高知県
高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市
福岡県
北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、嘉麻市、朝倉市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、吉富町
佐賀県
佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市
長崎県
長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、長与町、時津町、波佐見町
熊本県
熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、天草市
大分県
大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市
宮崎県
宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市
鹿児島県
鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市、伊佐市
沖縄県
那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南風原町

※ 上記のエリア内でも市街図データが収録されていない場合があります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

ＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和２５年法律第１３２号）第１４７条の規定に基づき、このＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりＶＩＣＳ情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第２条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のＶＩＣＳ情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) ＶＩＣＳサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、ＦＭ多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) ＶＩＣＳサービス契約
当センターからＶＩＣＳサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとＶＩＣＳサービス契約を締結した者
(4) ＶＩＣＳデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（ＶＩＣＳサービスの種類）
第４条 ＶＩＣＳサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（ＶＩＣＳサービスの提供時間）
第５条 当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のＶＩＣＳサービスを提供します。

第3章 契 約

（契約の単位）
第６条 当センターは、ＶＩＣＳデスクランブラー１台毎に１のＶＩＣＳサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第７条 ＶＩＣＳサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねＮＨＫ－ＦＭ放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりＶＩＣＳサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条 ＶＩＣＳサービスは、ＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機（ＶＩＣＳデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（ＶＩＣＳサービスの種類の変更）
第９条 加入者は、ＶＩＣＳサービスの種類に対応したＶＩＣＳ対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示すＶＩＣＳサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がＶＩＣＳサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がＶＩＣＳデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するＶＩＣＳデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条
1　当センターは、加入者が第１６条の規定に反する行為を行った場合には、ＶＩＣＳサービス契約を解除することがあります。また、第１７条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、ＶＩＣＳサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第１１条又は第１２条の規定により、ＶＩＣＳサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、ＶＩＣＳサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、ＶＩＣＳサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりＶＩＣＳサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するＶＩＣＳサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりＶＩＣＳサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、ＶＩＣＳサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、ＶＩＣＳサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　ＶＩＣＳサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるＶＩＣＳサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、ＶＩＣＳサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

Wi-Fi®連携サービス利用規約

■ Wi-Fi連携サービス利用規約■

本利用規約は、株式会社デンソーテン（以下「弊社」といいます）が提供するWi-Fi連携サービス（以下「本サービス」といいます）の利用にかかわる一切の関係に適用します。

第1条（本利用規約の変更）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本利用規約を変更することがあり、利用者はこれに異議を述べないものとします。

第2条（サービスの内容）

本サービスは通信またはインターネットを経由して、新しい施設情報、自車マーク、および弊社製カーナビゲーション製品（以下、「車載端末」といいます）の本体ソフトウェア更新用データをダウンロードし、車体端末上で利用するサービスです。

第3条（サービスの利用）

1. 利用者が利用できるサービス内容は、車載端末の取扱書およびウェブ等において、別に定めるものとします。弊社は、利用者に通知をすることなく、サービス内容の一部または全部を変更することがあり、利用者はこれを承諾します。
2. 本サービスの利用にあたっては、注意事項・説明文等に同意していただくものとします。

第4条（車載端末および情報通信端末の用意）

利用者は、本サービスを利用しようとする場合には、車載端末、情報通信端末ならびにこれに付随する機器、ソフトウェアおよび情報通信端末用の通信回線等を、自己の責任と負担において用意するものとします。

第5条（サービスの終了）

弊社は、利用者の承諾を得ることなく本サービスの提供を終了することができるものとします。

第6条（本サービス提供の一時的な中断）

弊社は、次のいずれかに該当する場合には、利用者へ通知することなく、本サービスの提供を一時的に中断することがあります。

(1) 本サービスのシステム保守を定期的に、または緊急に行う場合
(2) 火災、停電、戦争、暴動、騒乱、労働争議などにより本サービスの提供ができなくなった場合
(3) 地震、噴火、洪水、津波などの天災により本サービスの提供ができなくなった場合
(4) 通信サービスが停止された場合
(5) 車載端末および情報通信端末の使用環境その他の事情により通信障害が生じた場合
(6) その他、運用上または技術上、弊社が本サービス提供の一時的な中断を必要と判断した場合

第7条（損害賠償）

1. 弊社は、本サービスの利用またはそのサービス提供の有用性および正確性についていかなる保証もせず、その内容、遅延または中断などにより発生した利用者の損害に対しては、弊社に重大な過失があるときを除いてはいかなる責任も負わないものとします。
2. 利用者が本サービスの利用によって第三者に対して損害を与えた場合、利用者は自己の責任と負担をもって解決し、弊社には一切の迷惑をかけないものとします。
3. 利用者が本利用規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって弊社に損害を与えた場合、弊社は当該利用者に対して損害賠償を請求することができるものとします。

第8条（免責）

通信回線や情報機器等の障害によるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失等により生じた損害、その他本サービスに関して利用者に生じた損害について、当社は一切責任を負わないものとします。

第9条（私的利用）

利用者は、本サービスを通じて入手した情報を、自己の車載端末に利用する利用者個人の私的利用の範囲内において利用することができるものとします。

第10条（禁止事項）

1. 本サービスの著作権その他の権利は、法令または条約で保護されており、利用者は、著作権者その他知的財産権の権利者（以下、「著作権者等」といいます）の承諾を得ることなく、本サービスを通じて入手した情報を、複製、改ざん、改変、頒布等してはならず、また、これらの権利を侵害する恐れのある行為もしてはならないものとします。
2. 利用者は、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等の手法により解析する行為はしてはならないものとします。
3. 利用者は、本サービス用設備に過度の負担をかける行為など、本サービスの運営を妨げることや、弊社または本サービスの信用を毀損することはしてはならないものとします。
4. 利用者は、本サービスの利用権その他本利用規約に基づく権利の全部または一部を第三者に貸与、譲渡、承継させ、または担保に供することはできないものとします。
5. 利用者は、営利、非営利に関わらず、本サービスおよび本サービスを通じて入手した情報を、第三者に貸与、譲渡その他いかなる方法においても、使用させてはならないものとします。
6. 利用者は、法令または公序良俗に反して本サービスを一切利用することができないものとします。

第11条（管轄裁判所）

利用者と弊社との間で訴訟が生じた場合、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

Gracenote®データベースについて

地図SDカードに収録されているデータベース情報は、Gracenote データベースを使用しています。

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:
copyright © 2000-present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/ またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

Gracenote®データベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。
Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

商標・著作権について

■ 商標について

- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- DVD is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.

DOLBY AUDIO

- Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

Made for iPhone | iPod

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- iTunes is a trademark of Apple Inc.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetooth®

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社デンソーテンは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
- VICSおよび本機に付与された VICS のマーク・ロゴタイプは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- Microsoft, Windows ,Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- The Wi-Fi Logo is a certification mark of the Wi-Fi Alliance.

Wi Fi CERTIFIED　Wi-Fi PROTECTED SETUP

- Googleマップ およびGoogle Earth は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Google Play is a trademark of Google Inc.
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- The typefaces included herein are solely developed by DynaComware Taiwan Inc.
- その他記載されている会社名・商品名等は、各社の商標および登録商標です。

■ 著作権について

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- MP3/WMA/AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- iPod およびiTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音したSDカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。

07 お問い合わせ先について

修理に関するお問い合わせ

本機の修理は、販売店にて受け付けています。保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検は行っていません。
- 製品の機能を維持するために必要な“補修用性能部品”は、製造打ち切り後も最低6年間は保有しています。

ワンポイント

- 修理や点検の際にかかる本機の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- 「お客様サポート」→「お問合せ」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/inquiry/agree.html）

故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、本機を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。

ECLIPSE のお客様サポートページには、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。修理や点検を申し込む前に、お客様サポートページの内容をご確認ください。

「お客様サポート」→「FAQ」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）

VICS・ITSスポットのお問い合わせ先について

- VICS車載機、ETC2.0（DSRC）ユニットの調子や使用方法、受信の可否に関して
- 地図表示（レベル3）の内容に関して
- VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して
- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- ETC2.0サービスにて提供される道路交通情報、ETC2.0サービス安全運転支援案内に関して
- VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、VICS センターお客様相談窓口までご連絡ください。

【窓口】VICS センター お客様相談窓口
【電話番号】0570-00-8831
（PHS、IP 電話等を除く）
【受付時間】9：30 ～ 17：45
（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
【FAX 番号】03-3562-1719（24時間受付）
【URL】https://www.vics.or.jp/
ホームページからも連絡先をご覧いただけます。
連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがありますのでご了承ください。

- VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、ホームページでご覧いただけます。
  なお、お問い合せ先の判断に迷うような場合には、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

08 仕様

<GPSアンテナ>

寸法	53.3(W) × 14(H) × 8.5(D)mm (突起部を除く)
重量	約68(g)
電源電圧	4.7±0.5V
消費電流	9mA以上　30mA以下

<ディスプレイ>

液晶パネル	7型ワイド低反射パネル
画素数	1,152,000画素 (800(H) × 480(V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
バックライト	LED

<ラジオ>

受信周波数	・ AM 522 ～ 1,629kHz ・ FM 76 ～ 95MHz
実用感度	・ AM 14dBμV (S/N20dB) ・ FM 12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)

<CD・DVD>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz)
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S／N比	97dB（1kHz)
ダイナミックレンジ	105dB

<地上デジタルTV>

受信チャンネル	473.14～710MHz (UHF:13～52ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	フロント4ch

<SDカード>

高調波歪み率	0.01%
周波数特性	40～16,000Hz
S/N比	90dB

<ドライブレコーダー機能> ※AVN-D10/AVN-D10W

映像録画時間	高画質モード ：100分 標準モード ：120分 長時間モード：240分
映像フレーム数	28フレーム／秒
録画保護件数	衝撃検知：10件／本体スイッチ操作：5件
時計	GPS にて補正
動画圧縮方式	MP4(H.264 + ACC)

<ドライブレコーダー用カメラ> ※AVN-D10/AVN-D10W

動作温度範囲	-20～+65℃ ※湿度20～ 90%RH、結露なきこと
保存温度範囲	-30～+85℃ ※湿度20～ 90%RH、結露なきこと
外形寸法	26(W) × 26(H) × 39.58(D)mm（背面突起物を除く）
撮影素子	1/2.7型カラー CMOS
有効画素数	約200万画素
画角	水平117° × 垂直70°

< 共通部 >

高調波歪み率		0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性		20 ～ 20,000Hz
S／N比		97dB(1kHz)
定格出力		16W×4（1kHz、歪1%、4×4Ω負荷）
最大出力		MOS-FET 49W×4
適合負荷インピーダンス		4Ω（各チャンネル）
電源電圧		DC13.2V（10.5-15.8V）アース専用
動作温度範囲		-20℃～ +65℃
保存温度範囲		-40℃～ +85℃
消費電流		・ 0.5W×4出力時　約 2.5A ・ 最大約 12A
外形寸法	・AVN-R10 ・AVN-D10	・ 横幅 180mm ・ 高さ 100mm ・ 奥行 165mm
	・AVN-R10W ・AVN-D10W	・ 横幅 205.5mm ・ 高さ 104mm ・ 奥行 165mm
質量（重量）	・AVN-R10 ・AVN-D10 ・AVN-R10W	約2.4kg
	・AVN-D10W	約2.5kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

09 さくいん

アルファベット

AUX 114
Bluetooth® オーディオ 116
　機器の接続 116
　操作画面 117
Bluetooth® 機器の設定 48
　機器の接続を切る 49
　機器の設定確認・変更 51
　機器の登録 48
　接続する機器の変更 49
　登録した機器の削除 49
　登録した機器の情報確認・変更 50
DVD 98
　VIDEO モード 98
　VR モード 100
ESN 33
　設定 34
　設定解除 35
　ロック解除 34
ETC 129
　設定 61
ETC2.0 サービス 130
　割込情報の設定 61
　割込情報の表示 131
iPod 112
　操作画面 113
SD カード 105
　音楽 105
　動画 106
USB メモリ 103
　音楽 103
　動画 104
VICS 84
　VICS WIDE 84
　VICS 交通情報の表示 86
　VICS 交通情報の表示設定 85
　VICS 文字情報・図形情報の表示 85
　気象・災害情報エリアの表示 87
　緊急情報の表示 87
　受信する放送局の変更 88
　統計データ 84
VTR 114
Wi-Fi® 52
　ON/OFF の切り替え 53
　簡単設定 54
　仕様 182
　接続するネットワークの選択 53
　接続するネットワークの追加 54
　設定変更 55

あ

インターチェンジの指定 77
迂回メモリ地点の登録 41
迂回メモリ地点の編集 83
　削除 83
　修正 83
エコ機能 161
　燃費の計算 58
　燃費の設定 58
オーディオ 89
　Bluetooth® の仕様 181
　iPod の仕様 181
　SD カードについて 89
　SD カードの仕様 180
　USB メモリについて 89
　USB メモリの仕様 179
　再生できないディスクについて 177
　再生できる圧縮ファイルと
　　対応メディア 172
　再生できる圧縮ファイルの仕様 173
　ディスクについて 89
　ディスクの仕様 176
オーディオの設定変更 42
　DVD 初期設定の変更 44
　テレビのホームプリセット設定 42
　ラジオアンテナの上げ／下げ 42
　録音設定の変更 42
お問い合わせ先について 197
音楽ディスク 91
音質の調整 45
　BAL/FAD（音量バランス）の設定 47
　イコライザーの選択 45
　音質効果の設定 47
　車両の設定 45
　ポジションの設定 46
音量の設定 31
　オーディオの音量調整 31
　音声案内の音量調整 31
　スイッチの操作音調整 32
　ハンズフリーの音量調整 32

か

カメラ機能拡張BOX 126
　設定 60
画面の設定 28
　映像画面への時刻表示 29
　オープニング画像の設定 30
　角度の調整 28
　画質の設定 28
　テーマカラーの設定 28
　ピクチャーインピクチャーの表示 29
　ライト点灯時の画面設定 28
カンタン初期設定 16
クイックガイド 10
故障とお考えになる前に 197

さ

座標表示 20
システムチェック画面の確認 166
施設マークの表示 67
　施設表示画面の項目変更 68
　施設の情報を見る 68
仕様 199
情報画面 23
ステアリングスイッチ 154
　設定 63
セキュリティ 33
　設定 34
　設定解除 35
　ロック解除 34
設定画面 24
設定の初期化 64
ソフトウェアの更新 168
　PC でソフトウェアを
　　ダウンロード 168
　Wi-Fi® でソフトウェアを
　　ダウンロード 169
　ライセンス情報の確認 169

た

地図画面 20
地図収録データについて 190
地図データの更新 170
　自動地図更新について 170
　年度更新サービスについて 171
地図の表示切り替え 66
　案内図の切り替え 67
　拡大図の解除 67
　市街図の表示 66
　地図の縮尺の切り替え 66
　地図の向きの切り替え 66
地点の登録 40
地点の編集 83
通過する道路の指定 78
つながるサービス 157
　Q&A 160
　配信メッセージ 158
　有効期限の確認 157
　ログイン 157
ディスプレイの設定 28
　映像画面への時刻表示 29
　オープニング画像の設定 30
　角度の調整 28
　画質の設定 28
　テーマカラーの設定 28
　ピクチャーインピクチャーの表示 29
　ライト点灯時の画面設定 28
テレビ 107
　TV メニュー画面の操作 110
　各種切替画面の操作 109
　こんなメッセージが
　　表示されたときは 107
　緊急警報放送（EWS）を
　　受信した場合 107
　番組を選ぶ 111
　見る 108
デモ走行 26
電話帳の転送 120
　お気に入りの登録 122
　電話帳・履歴データの編集 121
電話をかける・切る・受ける 123
　着信中の操作 124
　通話中の操作 125

ドライブレコーダー 132
Q&A 150
クイックガイド 22
初期設定の設定・確認 62
スマートフォン用ビューアー
アプリの利用 137
設定の変更 62
ソフトウェアの更新 137
ドライブレコーダー用SD の
フォーマット 149
パソコンへのバックアップ 146
パソコン用ビューアーソフトの
操作方法 138
バックアップしたデータの消去 147
ヘルプの表示 149
本機の設定変更 147

な

ナビの基本機能 26
ナビの設定変更 36
自車位置マークの設定 36
地図デザインの設定 36
ナビ詳細設定の変更 37
ナビのソフトウェア更新 168
PC でソフトウェアを
ダウンロード 168
Wi-Fi® でソフトウェアを
ダウンロード 169
ライセンス情報の確認 169

は

ハイウェイモード画面の見方 69
配信データのダウンロード 165
サーバーへのバックアップ 164
自車位置マークのダウンロード 165
施設情報の削除 165
施設情報のダウンロード 165
バックアップデータの取り出し 164
バックアイカメラ 126
ガイド線の調整 59
バックアップ機能 162
SD カードにバックアップ 162
保存した地点を本機に移す 163
ハンズフリー 118
手動接続 119
着信中の操作 124
通話中の操作 125
電話をかける・切る・受ける 123
フロントアイカメラ 128
自動表示の設定変更 60

ま

メニュー画面 18
メモリ地点の登録 40
メモリ地点の編集 83
削除 83
修正 83
メンテナンス機能の設定 56
項目の設定 56
時期の更新 57
設定の消去 57
販売店の修正・消去 57
販売店の設定 57
目的地案内の中断／再開 81
目的地検索 70
緯度経度から検索 74
施設／ジャンルから検索 73
自宅に帰る 75
住所から検索 70
地図画面から検索 77
追加データから検索 73
提携駐車場の検索 75
電話番号から検索 71
フリーワード検索 74
マップコードから検索 74
名称から検索 70
メモリ地点から検索 72
目的地周辺の駐車場検索 76
履歴から検索 71
目的地の順番並べ替え 78
目的地の削除 81
目的地の追加 78
目的地の履歴削除 81
文字の入力方法 25

ら

ラジオ **90**
交通情報放送 90
ルート探索 **80**
全ルートの再表示 81
到着予想時刻／残距離表示の切り替え 80
ルート情報の表示 80
ルートの再探索 **82**
区間ごとの探索条件の変更 82
探索条件の変更 82
録音する **93**
SDカードの容量確認 97
SDカードへの録音 94
タイトル情報の取得 95
マイベストの作成 97
マイベストの編集 97
録音ができないCD 93
録音した音楽情報の編集 96
録音した音楽の削除 96
録音についての注意 93
録音の仕様 93

VICS マーク一覧

VICS 情報を受信した場合、次のマークが表示されます。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止

表示	情報内容
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
(青色)	駐車場 空 / 臨時駐車場 空
(赤色)	駐車場 満 / 臨時駐車場 満
(橙色)	駐車場 混雑 / 臨時駐車場 混雑
(黒色)	駐車場 不明 / 臨時駐車場 不明
(赤色)	駐車場 閉鎖 / 臨時駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行

表示	情報内容
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30 km/h
(青色)	SA PA 情報 空
(赤色)	SA PA 情報 満
(橙色)	SA PA 情報 混雑
(黒色)	SA PA 情報 不明
	イベント
	気象速報
	災害速報
	特別警報

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

施設表示の凡例

表示	内容
(緑色)	高速・都市高・有料道路
(橙色)	国道
(黄色)	主要地方道
(黄色)	県道
(灰色)	その他の道路（巾5.5m以上）
(灰色)	その他の道路（巾3.0m以上）
------	トンネルまたは整備計画区間（上記各道路で表示あり）
++++	私鉄
	JR
(青色)	水域
----	都道府県界
(緑色)	緑地
(紫色)	駅舎・敷地
	踏切
	ボトルネック踏切※
	事故多発地点

表示	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村・東京以外区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	インターチェンジ
IC	スマートインターチェンジ
SA	サービスエリア
PA	パーキングエリア
IN	駐車場入口
OUT	駐車場出口
	信号機
P	駐車場
	駅

表示	内容
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
幼	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
H	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社

表示	内容
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマークで表示することがあります。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

株式会社デンソーテン「お客様相談窓口」

通話料無料 **0120-022210**
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前9:30～午後5:30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

お客様サポートサービスのご案内

製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどが
ご利用になれます。

https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/

オンラインマニュアル・取扱説明書（PDF版）のご案内

取扱説明書はホームページからもご確認いただけます。

■ **オンラインマニュアル**
スマートフォンやパソコンを使って閲覧することができます。
やりたいことを検索しやすく、より詳細な情報を掲載しています。

■ **取扱説明書（PDF版）**
本書をPDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/manual/

株式会社デンソーテン

〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

©株式会社デンソーテン　2019

1908HP(F)